

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —2000年—
Author(s)	
Journal	イペロアメリカ研究, 23(2)
Issue Date	2002-02-08
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9504
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌－2000年－

月 日	国名	記事
01 . 03	アルゼンチン	近藤四郎元駐アルゼンチン大使、ラテン・アメリカ協会副会長が死去。享年85歳。(YU, NK)
01 . 05	ブラジル	東洋エンジニアリングがブラジル石油会社ペトロプラスが計画中のリファップ製油所近代化プロジェクトの基本設計業務を受注したと発表した。(NS)
01 . 06	ニカラグア	首都マナグアにおいて日本政府がニカラグア政府に対し「主要幹線道路橋梁架け替え計画」および同国の経済構造改善努力推進および債務問題を含む経済困難緩和に寄与することを目的としたノンプロジェクト無償資金協力を行なうことを明記した書簡の交換が行なわれた。(IL)
01 . 09	中南米	日本政府が本来アジア通貨危機で打撃を受けた国を対象に創設した「経済構造改革支援のための特別円借款制度」を大幅に拡充すると発表。中央アジアや中南米も対象にし、供与比率も総事業費の85%から100%に高められた。(YU)
01 . 10	アルゼンチン	CSデジタル放送などの音楽専門チャンネル「ミュージック・エア・ネットワーク」を運営するアトス・インターナショナルが、アルゼンチンのタンゴ専門チャンネル「ソロ・タンゴ」を運営するミュージック・メディア・プロダクションと番組供給契約を結んだことを発表。1時間枠で番組「ソロ・タンゴ」の放映が開始された。(NK)
01 . 11	ベネズエラ	日本政府は集中豪雨に見舞われたベネズエラ政府に対する追加的支援として、乾パン約40万食分の輸送に要する経費2100万円を供出することを決定した。(IL)
01 . 13	キューバ	アメリカのユニークな音楽プロデューサー・ミュージシャンのキップ・ハンラハンがプロジェクト「ディープ・ルンバ」による来日公演を行った。メンバーにはキューバ人ミュージシャンが参加。(AE)
01 . 15	キューバ	キューバの老音楽家たちの人生と音楽を描いた、ヴィム・ヴェンダース監督のドキュメンタリー映画「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」の日本公開開始まる。単館上映では記録的なヒットとなった。(YE)
01 . 17	アルゼンチン	南米最高峰アコンカグア山の標高約4200メートル地点で日本人登山者1人が死亡しているのが発見された。(YE)
01 . 17	エルサルバドル	日本政府は、ハリケーン・ミッチにより多大な被害を被ったエルサルバドル政府に対し、「乳幼児疾病対策計画」の実施に資することを目的として、5億8900万円を限度とする額の無償資金協力を行なうための書簡を首都サンサルバドル市で交換した。(IL)
01 . 17	ペルー	外務省人事。木谷隆国際協力事業団理事をペルー大使に任命。(YE, IL, AE)

01・18	ブラジル	東芝がブラジルで平面ブラウン管型カラーテレビの生産・販売を開始する。南米での平面型テレビの生産はソニーについて2社目。(NS)
01・22	アルゼンチン	現代タンゴの巨人、アストル・ピアソラの孫、ダニエル・ピアソラ・ジュニアが七重奏団を率いて初来日公演を行なった。(YE, LA)
01・27	ブラジル	ソニーが中南米最大の放送会社、テレビサ・グループ(メキシコ)から高品位テレビ放送用のデジタルHD製作システムを受注したと発表。(NS)
01・28	メキシコ	SMKがメキシコのグアダハラに営業事務所を開設したと発表。同地域に製造拠点を置く携帯電話端末メーカーに対しアンテナやコネクタなど主力製品の販売・サポートをする。(NS)
02・01	ベネズエラ	日本政府は集中豪雨により多くの死傷者が出ているベネズエラに対し、復旧計画立案に関わる助言を行なうことを目的とした専門家チームを編成、約2週間の予定で現地に派遣した。(IL)
02・02	メキシコ	1968年に行なわれたメキシコ・オリンピックで日本代表としてサッカーで銅メダルを獲得した宮本輝紀氏が死去。享年59歳。(AH)
02・07	ボリビア	日本政府がボリビア政府に対し、「サンタクルス北西部地方道路整備計画」の実施に資することを目的として、4200万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡が首都ラパス市において交換された。(IL)
02・09	メキシコ	自動車シートの大手中チエスが、米国とメキシコでシート事業を拡大すると発表した。メキシコは子会社を増資し生産能力を引き上げる。(NS)
02・10	ブラジル	グラッサ・リマ経済統合貿易担当副次官が来日した。(IL)
02・13	ドミニカ共和国	フェルナンデス大統領が来日。(-17日)(IL)
02・14	ドミニカ共和国	来日中のフェルナンデス大統領が小淵恵三首相と会談を行なった。日本の移住者に約束の土地が分配されなかった問題では、土地の無償譲渡を決断したことに対して感謝が表明され、経済協力実施のための調査団派遣が約束された。(AH)
02・14	メキシコ	グリア蔵相が来日。(IL)
02・15	ブラジル	本田技研工業が4月からブラジルに南米本部を設立することを発表。米州本部から南米本部を分離したことにより、世界5極統括体制に移行した。(NK)
02・17	ブラジル	富士通がブラジルのテレアマゾン(アマゾナス州)からSDH光伝送装置を約4億円で、テレパラ社(パラ州)からSDH無線装置を約5000万円で相次ぎ受注した。(NS)
02・17	ペルー	カゴメがペルーの大手食品メーカー、アリコープとの間でケチャップなどトマト製品の技術供与契約を締結したことを発表。原料となるトマトペーストの供給基地とすることがねらい。(NK)
02・18	メキシコ	日商岩井が海外の現地法人を再編、メキシコの現地法人を米国会社が全額出資する子会社に転換することを発表。(NS)
02・19	メキシコ	メキシコのロサリオ・グリーン外相が来日、記者会見で自由貿易協定の締結を急ぎたい考えを表明した。(IL, AH)

02・22	ブラジル	日本の伝統的な建築技術を取り入れて作られたブラジルの製茶工場「カザロン・ド・シャ」が老朽化、保存活動をしているブラジル在住の日本人陶芸家が来日、保存活動への協力を訴えた。(YE)
02・23	キューバ	キューバ出身でアメリカン・バレエ・シアターで活躍するホセ・カレーニョ率いる若手ダンサーのグループが来日公演を行なった。(YE)
02・23	中南米	米州開発銀行のイグレスィアス総裁が来日した。(IL)
02・24	中南米	カルピスが仏食品最大手のダノンと飲料・食品事業で包括提携することで合意したと発表。中南米でもダノングループの拠点を通じてカルピス製品が独占的に製造・販売されることになる。(NS)
03・01	ブラジル	日本曹達が3月末にブラジルに全額出資の販売小会社を設立し、果樹栽培などに使用する殺虫剤などの拡販を行なうと発表。(NK)
03・03	メキシコ	三菱商事がメキシコ政府との合弁による塩生産会社、エッサ社によるサン・イグナシオ地方における塩田の新規開発計画を中止したと発表。環境団体等の反対を考慮したもの。(YU, NS)
03・10	南米	武田薬品工業が糖尿病治療薬「アクトス」の南米での独占的な販売権を米アボット・ラボラトリーズ社に供与したと発表。(NS)
03・12	ブラジル	トヨタ自動車系部品メーカーの大豊工業が、年内にブラジルに新工場を建設し、カーエアコンの空気圧縮機向け部品の現地生産を始めると発表。(NK)
03・15	コスタリカ	日本政府がコスタリカ政府に対し、コスタリカ大学音楽科の楽器購入のため4330万円を限度とする額の文化無償協力を行なうことを決定、そのための書簡が首都サンホセで交換した。(IL)
03・16	ハイチ	日本政府がハイチ政府に対し、4億円を限度とする額の無償資金協力を行なうことが決定され、そのための書簡が首都ポルトープランスにおいて交換された。(IL)
03・16	ペルー	三菱商事がペルー政府からブルドーザーなど大量の建設機械を受注したと発表。契約額は132億円で、日本企業による海外向け建機の受注では過去最大。(NK)
03・21	グアテマラ	日本政府はグアテマラ政府に対し、経済構造改善努力推進および債務問題を含む経済困難緩和に寄与することを目的として10億円の無償資金協力を行なうことを決定、そのための書簡が首都グアテマラシティで交換された。(IL)
03・22	エルサルバドル	ブリスエラ外相が来日した。(24日)(IL)
03・22	グアテマラ	日本政府はグアテマラ政府に対して、「第三次国立病院医療機材整備計画」の実施に資するために9億9200万円、古文書保存機材他を購入するために3590万円をそれぞれ限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡が首都グアテマラシティで交換された。(IL)
03・22	コロンビア	コロンビアのフェルナンデス外相が来日。左翼ゲリラコロンビア革命軍(FARC)との和平交渉に関連して日本に協力を求めるのが目的。(IL, AH)

03・22	ブラジル	自動車のスズキが、ブラジル・サンパウロ州に四輪販売会社を設立したと発表。米ゼネラル・モーターズとの協力により南米市場の開拓を強化していく戦略の一環。(NS)
03・24	ブラジル	コヘア外務次官が来日した。(・29日)(IL)
03・24	ブラジル	松下電器産業グループが4月からブラジルでアルカリ乾電池の生産を始めると発表。南米市場でラジオやカセットデッキなどAV機器向けの需要が急増していることに対応したもの。(NS)
03・28	中南米	トミーが米玩具最大手ハスプロと提携、4月からベビー用品などをトミーブランドで発売すると発表。これによりそれまで中南米5カ国で結んでいた販売代理店契約は解消され、ハスプロを通じた販売に切り替え、拡大をねらう。(NS)
03・29	メキシコ	メキシコ・パハカリフォルニア沖のカリフォルニア湾で米国の生物学調査隊の乗ったボートが転覆、同乗していた日本人の学者2名が死亡した。(YE, AE, NK, NE)
03・29	メキシコ	日本政府がメキシコ政府に対し、総額221億4800万円までの円借款を供与することとし、このための書簡が交換された。(IL)
03・30	メキシコ	メキシコ人実業家マリオ・ディアス・ルゴ氏が、東天紅に対する株式公開買い付け計画を発表した。買い付け価格は1株2000円。目的は経営の参画、メキシコレストランの設立を手掛けるため。(NK)
04・04	キューバ	外務省人事。馬淵睦夫駐タイ特命全権公使を駐キューバ特命全権大使に任命。(IL, YU)
04・04	ニカラグア	外務省人事。戸田勝規在ポルト・アレグレ総領事を駐エクアドル特命全権大使に任命。(IL, YU)
04・05	中南米	外務省人事。福島教輝領事移住部邦人特別対策室長を中南米局中南米第一課長に任命した。(IL)
04・06	ハイチ	日本政府はハイチ政府に対し、4億円を限度とする額の食糧増産援助としての無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡が首都ポルトープランスにおいて交換された。(IL)
04・07	ペルー	在ペルー日本大使公邸人質事件の解決後に取り壊された旧公邸に変わる新公邸が完成、報道陣に内部が公開された。場所は旧公邸から南西に500メートルほど離れた高級住宅街の中で、鉄筋コンクリート地上2階建ての本館は日本企業が設計・施工を担当した。(NE)
04・08	ペルー	1997年10月にペルー・アマゾン川流域で早大探検部の学生2名がペルー軍兵士に殺害された事件に関連して、ペルー政府が見舞金を支払うことで遺族と和解していたことが発表された。(NK, YE)
04・10	メキシコ	メキシコ・シティおよびモンテレイで第23回日本・メキシコ経済協議会合同委員会が開催された。(・11日)(IL)

04・12	チリ	コマツの鉱山機械事業の統括会社であるコマツマイニングシステムが、コマツマイニングチリを通じて世界最大規模の銅鉱山を運営するチリのコデルコ社から超大型ダンプトラックを25台受注、出荷したと発表。受注金額は1億ドル強にのぼる。(NS)
04・15	キューバ	キューバのフェラダス観光相が6月2日より5日間の日程で行なわれる「ジャパンウィーク」への強い期待を表明した。(AH)
04・18	アルゼンチン	昨年に引き続き、世界各国で好評を得ているタンゴ・ショー「フォーエバー・タンゴ」が来日公演を行った。舞台監督はルイス・ブラボ、音楽監督はリサンドロ・アドロベル。(IL, YE, LA)
04・19	アルゼンチン	自動車のスズキは米ゼネラル・モーターズの南米子会社、GMアルゼンチンのロサリオ工場ですズキ車の生産を開始したと発表した。(NS)
04・29	グアテマラ	同国北西部トス・サントス・クチュマタンで、日本人観光客のグループが地元住民に襲われ、日本人1名とグアテマラ人1名が死亡、4名が負傷した。外国人が子供をさらいに来たと思ひこんだのが原因とされる。のちに9人の容疑者が逮捕された。(YU, YE, AH, AE, NK, NE)
04・29	中南米	春の叙勲で、在中南米の邦人5名、外国人3名に勲章などが授与された。(YU, AH, NK)
04・30	ブラジル	ブラジル音楽界注目の新星、カルリーニョス・ブラウンが東京で初の単独来日公演を行なった。(AE)
05・08	ニカラグア	アルノルド・アレマン大統領が来日した。(・13日)(IL)
05・11	ニカラグア	森喜朗首相がニカラグアのアレマン大統領と会談。日本からの無償資金協力によって得た利益を使って対地雷除去用の機材を購入することを、軍事転用しないことを条件に承認すると森首相が発表した。(AE)
05・11	ブラジル	ブラジルの映画運動「シネマ・ノーヴォ」の先駆者ともされる映画監督ペレイラ・ドス・サントスの作品7本の連続上映が東京で開始された。14日には来日したペレイラ・ドス・サントス監督を囲むシンポジウムも行なわれた。(YE)
05・18	チリ	2000年代最初のワインの新酒チリ産「サンタ カロリーナ チリ・ヌーボー 2000」が全国で一斉発売された。気候の関係で北半球よりブドウが早く収穫されるため、2000年最初の新酒となった。(YU)
05・23	ブラジル	三菱重工業がブラジルのボイラー生産子会社、アタ燃焼機工業を、デンマークのボイラー会社に売却することを発表した。(NK)
05・23	ペルー	アンデス文明最古の土器などを紹介する「クントゥル・ワシ神殿の発掘 アンデス最古の黄金美術」展が東京の美術館で開催された。この展示は大貫良夫東京大名誉教授を中心とする古代アンデス文明調査団によって10年以上に渡り続けられてきた発掘調査の集大成となる。(NK)
05・24	アルゼンチン チリ	日本水産が南米での水産事業の強化を発表。アルゼンチンの漁業、水産加工業、チリの養殖事業などを2～3倍に拡大、欧州向けの主要拠点とする考え。(NS)

05・25	アルゼンチン	NKKがシームレスパイプ世界最大手の南米テチント・グループ傘下のシデルカ(アルゼンチン)と合併会社を設立したことを発表。8月から合併事業を開始し、年間27万トンのシームレスパイプの生産を計画している。(NK)
05・25	エクアドル	住友商事、三菱製紙、電源開発など4社が、エクアドル北西部で2001年から製紙用チップの原料となるユーカリの植林事業を開始すると発表。(YU)
05・29	中南米	外務省が1950～60年代を中心とする外交文書を公開、東京・麻布の外交資料館で閲覧できるようになった。当時の南米への移民政策の問題点が明らかになった。(YU, AH, NK)
05・29	南米	日産自動車は南米のフランス・ルノーの工場から2002年から日産車の生産を開始すると発表。ブラジルに統括子会社を設立した後、ルノーの支援を受け、2005年までにブラジル、アルゼンチンなど南米4カ国で5車種の生産を予定。(YU, NK)
05・30	中南米	歌手で、ラテン、アンデスの音楽なども積極的に取り上げていた歌手・池真理子さんが死去。享年82歳。(AH)
06・09	キューバ	キューバの新進バンド、パスクアル&トゥンバオ・アバナと20人のダンサーが共演するレビュー「マンボ！マンボ！マンボ！」が来日公演を行なった。ダンサーは米国人と日本人によって構成された。(YE)
06・09	メキシコ	ソニーは携帯端末などに使用する極薄型のリチウムポリマー電池をメキシコで生産すると発表。現在リチウムイオン電池を現地生産しているソニー・ヌエボ・ラレードが生産拠点となる。(NS)
06・09	中南米	小淵恵三前首相の葬儀にブスタマンテ・ペルー首相、エスコバル・ニカラグア国会議長、キンタニージャ・エルサルバドル副大統領他中南米9カ国から特使が出席した。(YU)
06・11	ブラジル	ブラジルのロック歌手レニーニが来日、東京で3回目となる来日公演を行なった。(YE)
06・12	ブラジル	千葉県内の日系ブラジル人男性が、エイズウイルス感染を理由に解雇されたとして、プラスチック加工会社と検査結果を無断で会社に伝えた病院の経営者を相手取り、解雇の無効と慰謝料の支払いを求めた訴訟で、解雇を無効とし、会社と病院に慰謝料の支払いを命じる判決が出された。(AE)
06・16	ブラジル	サンパウロ近郊の動物保護地区で、テレビのドキュメンタリー番組収録中、作家のムツゴロウこと畑正憲さんがライオンに指先を噛み切られる事故に遭った。(YU)
06・19	ニカラグア	日本政府がニカラグア政府に対して、ハリケーン被災からの復興に寄与するべく、「第二次児童保健強化計画」および「リオ・ネグロ橋関連施設建設計画」の実施に資することを目的として計6億7000万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡が首都マナグア市で交換された。(IL)

06・20	ボリビア	日本政府はボリビア政府に対し、「サンタクルス北西部地方道路整備計画」および「アチャカチ地区農業開発計画」の実施に資することを目的として、計39億800万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡がラパス市において交換された。(IL)
06・20	メキシコ	ミツバがメキシコに自動車電装品生産の100%出資子会社を設立したと発表。同社のメキシコでの生産拠点は2箇所目。(NS)
06・24	ブラジル	伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、丸紅、住友商事の5商社が、ブラジルの石油公社ペトロプラスと組み石油開発事業に乗り出すことを発表した。5社は3グループに分かれ、共同出資会社を設立、2003年までに採掘設備などを建設し、生産に入る予定。(NK)
06・29	メキシコ	国際協力銀行がコンストラクタ・ジオサーモエレクトリカ・デル・パシフィコとの間で約総額7100万米ドルの貸し付け契約を調印した。(IL)
06・30	ホンデュラス	日本政府がホンデュラス政府に対し、「テグシガルパ市上水道復旧整備計画」の実施に資することを目的として、4年間の国家債務負担行為により総額31億3900万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、そのための書簡がテグシガルパ市において交換された。(IL)
07・01	ペルー	日本政府が、ユネスコ文化遺産保存日本信託基金を通じて、アンデス文明初期の遺跡「クントゥル・ワシ神殿」修復プロジェクトに86万ドルを拠出した。これは1999年フジモリ・ペルー大統領(当時)が来日した際に小淵恵三首相(当時)と合意したもの。(NK)
07・04	トリニダッド・トバゴ	西方正直元トリニダード・トバゴ大使が死去。享年79歳。(YU)
07・06	ブラジル	かつて薬害を招き、製造中止に追い込まれていた睡眠剤サリドマイドが骨髄腫に有効であることが判明、日本の患者会が窓口となってブラジルからサリドマイドが輸入された。現在製造を行なっているのがアメリカとブラジルだけで、アメリカはカナダ以外に輸出しないため、ブラジルから輸入されたもの。(YE)
07・06	メキシコ	作家でジャーナリストのエレナ・ポニアトウスカさんが来日。都内で公演などを行なった。(AE)
07・08	ホンデュラス	2年前に大型ハリケーンに襲われ多くの被災者を出したホンデュラスを支援するためのチャリティーコンサートが横浜女性フォーラムで開催された。ジャズやラテンの音楽家4人が出演。(AH)
07・14	コロンビア	九州・沖縄サミットの外相会合で非同盟諸国を代表してコロンビアのグスタボ・ベル副大統領が朝食会に参加、麻薬撲滅への協力を訴えた。(AH)
07・14	ブラジル	日本政府がブラジル政府に対し、462億8600万円までの円借款供与を決定、そのための書簡がブラジリアで交換された。(IL)
07・18	ドミニカ共和国	1950年代後半、日本政府の募集に応じてドミニカ共和国に渡った日本人移住者が、約束された土地がもらえず四十年以上も困窮した生活を強いられたとして、日本政府に対する損害賠償請求訴訟を起こした。(YE, AH)

07・21	キューバ	キューバのチャランガ・スタイルの名門オーケストラ、オルケスタ・アラゴンが30年ぶりに来日公演を行なった。(AE)
07・24	コスタリカ	外務省人事。松井靖夫フランス公使をコスタリカ大使に任命。(YU, AH)
07・25	コロンビア	日本政府がコロンビア政府に対して、「キンディオ県医療体制復旧計画」の実施に資することを目的として、5億2700万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡がサンタフェデボゴタで交換された。(IL)
07・31	ホンデュラス ニカラグア	日本政府がホンジュラス、ニカラグア両政府に対して、「グアサウレ橋架け替え計画」に資することを目的として、それぞれに2700万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をそれぞれテグシガルバとマナグアで交換した。(IL)
08・01	キューバ	日本航空による日本-ハバナ間の直行チャーター便が運航開始。キューバ観光の需要増加を反映したもので、8月中に限り、計4往復が運航された。(YE, AE)
08・01	トリニダード・トバゴ	トリニダード・トバゴのカリビアン・マジック・スティール・ドラム・オーケストラが初来日公演を行なった。民俗楽器スティール・ドラムのアンサンブルを中心にした18名編成。(YE)
08・01	パラグアイ	外務省人事。パラグアイ大使に伊藤庄亮ガーナ大使兼シエラレオネ大使を任命。(IL, YE, AE)
08・08	ブラジル	新日本製鉄がブラジルの高炉メーカー、アソミナス(ペロオリゾンテ市)から高炉改修工事を受注したと発表。受注金額は数十億円規模にのぼるとみられる。(NK, NS)
08・10	キューバ	映画「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」のヒットを受けて、その出演者であるエリアデス・オチョアがクアルテート・パトリアを率いて初来日公演を行った。(AE)
08・10	メキシコ コロンビア	金融機関で現金を引き出した人の気をそらして、そのすきに現金を盗む手口でメキシコ人とコロンビア人5人が川崎市で現行犯逮捕された。(YU, AH)
08・11	グアテマラ	日本政府はグアテマラ政府に対して、「医療従事者訓練校改修計画」の実施に資することを目的として2億1300万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をグアテマラ市において交換した。(IL)
08・18	キューバ	映画「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」の出演ミュージシャンを中心としたグループ「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」が来日、日本公演を行った。イブライム・フェレル、ルベーン・ゴンサレス、オマーラ・ポルトゥオンドラが参加。(AH)
08・23	ブラジル	日本の経団連が、低迷しているブラジル向け投資の再開の企業への呼びかけを開始。(NK)
08・26	コロンビア	名画「最後の晩餐」を描いたグラスファイバー製のレリーフにコカインを溶かし込み、コロンビアから密輸したとして日本在住のコロンビア人1人を逮捕した。(AE)

08・27	コスタリカ	同国北部の活火山の火口に墜落した小型機が発見され、乗員10人全員の死亡が確認された。乗客名簿に日本人の名前があったが、その前に立ち寄った場所で無事が確認された。(AH)
08・28	ボリビア	日本政府はボリビア政府に対して、「小学校建設計画」の実施に資することを目的として8億5100万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をラパス市において交換した。(IL)
08・30	アルゼンチン	丸紅がアルゼンチンの大手ワイン・メーカー、ビーニャス・アルヘンティーナスに40%出資したことを発表。年内にも同社のワインを日本で販売する予定。日本企業がアルゼンチンのワイン・メーカーに出資するのは初めて。(YU, NK)
08・30	エルサルバドル	日本政府はエルサルバドル政府に対して、「主要幹線上橋梁緊急復興計画」に資することを目的として4億1100万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をサンサルバドルにおいて交換した。(IL)
08・30	ニカラグア	日本政府はニカラグア政府に対して、「グアサウレ橋架け替え計画」に資することを目的として、総額6億8500万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をマナグアで交換した。(IL)
09・01	メキシコ	外務省人事。黒沢秀樹中央アフリカ大使館参事官兼医務官を在メキシコ大使館参事官兼医務官に任命。(IL)
09・04	ブラジル	元サッカー選手のラモス瑠偉さんが日本のスポーツ選手としては初めてブラジル政府から「リオ・ブランコ勲章」を贈られた。日本とブラジルとの国際交流に多大な貢献をしたのが受章理由。(YU)
09・04	ベネズエラ	国際協力銀行が、チャベス大統領臨席のもと、ベネズエラ石油公社との間で総額690億円のアンタイドローンの貸付契約書に調印した。(IL)
09・04	ペルー	日本政府はペルー政府に対し、貧困撲滅への努力を支援するため「山岳地域社会開発計画」など4つの計画について総額448億7200万円までの円借款を供与することとし、そのための書簡をリマで交換した。翌日、借款契約の調印が行われた。(IL)
09・04	南米	トヨタ自動車の中南米地域でのカローラの生産能力を、2万台から2002年までに約6万台に増強することを発表。ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラでの生産体制を充実させる。(YU, NS)
09・06	チリ	デメトリオ・インファンテ・フィゲロア駐日チリ大使が天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
09・06	ホンデュラス	日本政府はホンデュラス政府に対して、「グアサウレ橋架け替え計画」に資することを目的として、総額6億8500万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をテグシガルパで交換した。(IL)
09・07	アルゼンチン	1970年に当時の皇太子ご成婚を記念してアルゼンチンから贈られ、その後横浜市の「子供の国」で飼育されていたファラベラポニーのピンセンが老衰で死亡した。32歳だったが、人間で言えば120歳ほどの高齢だった。(AH)

09・07	キューバ	国連ミレニアムサミット開催中のニューヨークで、日本政府が島国や内陸国の首脳を招いて行なったレセプションに突然キューバのカストロ議長が登場、森喜朗首相とスポーツ談義などを行なった。(YE, AE)
09・07	キューバ	キューバ生まれのミュージカル・レビュー「ハバナ・ナイト」が来日公演を行なった。製作はデンマーク生まれのドイツ人で、オーディションで選ばれた65名のキューバ人ダンサーがショーに参加した。(YE)
09・10	ブラジル	毎年恒例の浅草サンバカーニバルが行なわれ、約50万人がサンバのリズムに熱狂した。沖縄サミットの警備との関連で例年よりも遅い時期の開催となった。(YU)
09・14	ブラジル	NECがブラジルで通信事業者から局用交換機システムなど総額500億円程度の大型プロジェクトを受注したと発表。(NS)
09・16	ペルー チリ	ヤクルト本社が2001年度にペルーとチリに現地子会社を設立し、南米での乳酸菌飲料の製造・販売事業の拡大を目指すことが発表された。(NK)
09・29	ブラジル	8月31日、伊勢崎市のコンビニエンスストアに押し入り現金を奪ったとしてブラジル国籍を持つ4人の少年が強盗の容疑で逮捕された。(AH)
09・30	アルゼンチン	アルゼンチンの作家、ホルヘ・ルイス・ボルヘスの愛好家によって「ボルヘス会」が発足、第1回大会が立教大学で行なわれた。(AE)
09・30	カリブ地域	プエルトリコ出身のアメリカのスター歌手、リッキー・マーティンが初来日公演を行なった。(YE)
10・01	ペルー	日本工営がペルーに事務所を設立、年内に現地法人化し、中南米の技術コンサルタント事業への本格進出をはかる。(NS)
10・03	キューバ	キューバのラヘ国家評議会副議長が来日、森喜朗首相と会談した。(IL, YU, AH)
10・04	エルサルバドル	外務省の招きでエルサルバドルの首都、サンサルバドル市のエクトル・リカルド・シルバ・アルゲーニョ市長が来日、国際交流に熱心な板橋区役所を訪れ意見交換を行なった。(YU)
10・12	アルゼンチン	日本でも人気の高い、「リズムの王様」フアン・ダリエソの生誕100周年を記念したフアン・ダリエソ楽団の来日公演が行なわれた。(AH)
10・16	ドミニカ共和国	日本政府の募集に応じて1950年代にドミニカ共和国に渡った人々に約束の土地が譲渡されなかった件で国に賠償を求めた裁判の第1回口頭弁論が行なわれ、それに合わせてドミニカ移住者50人が来日した。その後移住者を交えたシンポジウムなども開かれた。(AE)
10・20	ブラジル	ブラジルの消費者保護局が、本田技研工業のブラジル法人が輸入・販売した大型バイク「CBR900RR」をリコールするよう同社に命じたことが明らかになった。燃料系統の不具合によって適正な混合比率で燃料供給できなくなる可能性があるため。(NE)

10・22	ペルー	ペルーの反政府系紙リベラシオンがアルベルト・フジモリ前大統領の父が日本領事館に出生届を提出していたことが裏付けられたと発表。掲載された文書によれば「熊本県飽託郡河内村 藤森直一 男謙也出生届」と記されていた。(NK)
10・24	キューバ	映画「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」にも出演したフアン・デ・マルコス・ゴンサレス率いるアフロ・キューバン・オールスターズが初来日公演を行った。(AE)
10・24	ペルー	日本政府がペルー政府に対して、国立交響楽団の楽器購入費用として4110万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡がリマにおいて交換された。(IL)
10・31	パラグアイ	日本政府がパラグアイ政府に対して、エンカルナシオン青年交響楽団の楽器購入費用として4170万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡がアスンシオンにおいて交換された。(IL)
10・31	ホンデュラス	日本政府はホンデュラス政府に対して、食糧増産に資することを目的として3億5000万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡をテグシガルバにおいて交換した。(IL)
11・01	南米	日本郵船や商船三井などコンテナ船各社が日本・極東発ブラジルなど南米東岸向けコンテナ運賃を約10%引き上げた。チリなど西岸向けも20日から値上げとなる。(NS)
11・03	アルゼンチン ブラジル	秋の叙勲で、ブラジルとアルゼンチン在住の邦人5人、ブラジル人1人に叙勲が行なわれた。(AH)
11・05	メキシコ	東京を中心に開催されていた「第13回東京国際映画祭」が閉幕、メキシコのアレハンドロ・ゴンサレス監督の作品「アモーレス・ペロス」がグランプリを受賞した。(YU, YE, AH)
11・07	ブラジル	日本からブラジルへの投資促進や貿易拡大を話し合う「第9回日本ブラジル経済合同委員会」がサンパウロで開かれた。(AE)
11・08	アンティグア・ バーブーダ	日本政府はアンティグア・バーブーダ政府に対して、零細漁業復興計画の実施に資することを目的として8億5700万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡を東京において交換した。(IL)
11・09	セントクリスト ファー・ネイビス	日本政府はセントクリストファー・ネイビス政府に対して、バセテール漁業複合施設建設計画の実施に資することを目的として3億8100万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡を東京において交換した。(IL)
11・09	セントビンセント・ グレナディーン諸 島	日本政府がセントビンセントおよびグレナディーン諸島政府との間で、青年海外協力隊の派遣に関する取り決めに関して合意に到達、この締結のための書簡の交換が東京で行なわれた。(IL)
11・11	ドミニカ共和国	野球チーム広島カープの応援団体「カープ・ドミニカ選手後援会」がドミニカ共和国で中南米初となる原爆展を開催した。(AE)
11・12	ペルー	ペルー・フォルクローレを代表するギタリストの一人、ラウル・ガルシーア・サラテが初来日公演を行った。(IL)

11・17	キューバ	キューバの伝統音楽「ソン」を現代化させた人気グループ、アダルベルト・アルバレス・イス・ソンが初来日公演を行なった。(YE, AE)
11・19	ペルー	ブルネイでのアジア太平洋経済協力会議に出席後、日本に立ち寄ったフジモリ・ペルー大統領が電話でサラス首相に辞任を表明した。その後フジモリ大統領は日本に滞在し続けた。(YU, YE, AH)
11・22	ペルー	平塚市の国道で計6台が関わる玉突き事故があり、3人が死亡した。死亡した3人が乗っていた車の中からペルー政府が発行した国際免許証が見つかっている。(AE)
11・23	ブラジル	三井物産と古河電気工業が、ブラジルで高速大容量の通信基盤の整備事業に乗り出すことを発表した。共同出資で新会社を設立し、通信会社などから設計・敷設工事の受注をねらう。(NK)
11・23	ペルー	ペルー外務省が、フジモリ前大統領が国会で罷免されたことを受けて、ビクトル・アリティ駐日ペルー大使が辞任したことを明らかにした。日系2世のアリティ氏はフジモリ前大統領の妹ロサさんの夫で、10年近く駐日大使を務めてきた。(NK)
11・28	アルゼンチン	東京で行なわれた毎年恒例のサッカー・クラブチーム世界一決定戦、第28回トヨタカップでアルゼンチンのボカ・ジュニアーズがスペインのレアル・マドリードを2対1で破り優勝した。(YU)
11・28	ペルー	日本政府が、辞意を表明したが国会で罷免され、そのまま日本に滞在し続けているアルベルト・フジモリ・ペルー前大統領が日本国籍を持っていることを確認、発表した。(YU, AH)
11・30	ブラジル	インドネシア石油と日商岩井が、ブラジル国営石油会社ペトロプラスとリオデジャネイロ沖合の油田開発に着手することで合意した。(NK)
12・01	カリブ地域	三菱商事がオランダ領キュラソーで発電事業に参画することを発表。独立系発電事業者(IPP)の米ネイションズエナジー、現地の政府系企業との共同出資で事業会社を設立、2003年4月までに出力9万キロワットの火力発電所を建設する。(NK)
12・02	ペルー	栃木県那須町の山林で男性の焼死体が見つかり、その後のDNA鑑定の結果、ペルー国籍の中古車販売業の男性であることがわかった。(YU)
12・04	ブラジル	本田技研工業の部品メーカー、ケーヒンがブラジルで二輪車用の気化器(キャブレター)の生産に乗り出すと発表。約10億円を投じて工場を建設、2002年初めの生産開始を目指す。(NK)
12・05	メキシコ	高砂香料工業はメキシコで飲料や加工食品向けの食品香料(フレーバー)を増産すると発表。中南米市場の需要が10%前後伸びていることに対応。(NK, NS)
12・07	ボリビア	日本政府がボリビア政府に対して、食糧増産に資することを目的として4億5000万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡の交換がラパスにおいて行なわれた。(IL)
12・07	メキシコ	日産自動車と同社のメキシコ・クエルナバカ工場で資本提携先の仏ルノーのミニバン「セニック」の生産を開始したと発表。(YU)

12 . 09	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴ、フォルクローレ界で活躍するギタリスト、フアンホ・ドミンゲス・トリオの来日公演が行なわれた。(IL)
12 . 12	ペルー	日本政府が、ペルー政府などからの、日本にとどまり続けているアルベルト・フジモリ前ペルー大統領の身柄引き渡しの要請に応じないことを正式に発表した。(AE)
12 . 13	ブラジル	東京税関成田署と千葉県警がコカイン約3.3キロをスーツケースに隠し密輸しようとしたボリビア国籍の容疑者を逮捕した。(NE)
12 . 14	ドミニカ共和国	ファウスト・シカール・モヤ駐日ドミニカ共和国大使が天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
12 . 14	ベネズエラ	カルロス・ビベロ・ガルシア駐日ベネズエラ大使が天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
12 . 14	ペルー	ペルー外務省筋がパニアグア新政権の駐日大使として、ルイス・マキヤベロ元駐日大使を再起用すると発表した。(NK)
12 . 16	ボリビア	アンデスの先住民グループを長年描き続けている映画製作グループ・ウカマウ集団の近作「鳥の歌」「地下の民」の二編が都内の映画館で公開された。(AH, NE)
12 . 20	ホンデュラス	日本政府はホンデュラス政府に対して、債務救済措置の債務繰延条件の細目について合意に達し、そのための書簡の交換がテグシガルパで行なわれた。(IL)
12 . 31	エクアドル	日本人夫妻がエクアドルの首都キトから36年間に渡って短波放送を行ってきた日本語番組「アンデスの声」が現地での放送を終了した。同番組は中南米の日系移民に広く聴かれており、世界でも珍しい短波の長寿番組だった。番組は引き続き日本製作で継続される。(AH)

(以上175項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞・雑誌の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

雑誌名
ラテン・アメリカ時報 IL

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌—2001年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 24(2)
Issue Date	2003-02-07
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9518
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

〈資料〉

日本・ラテンアメリカ関係日誌 - 2001年 -

月日	国名	記事
1. 5	メキシコ	NECは国際競争力強化のため、生産体制の転換を発表、携帯電話工場のテクノロジーNECメキシコの売却を決定した。4月6日に正式に解散、精算手続きに入った。(NK)
1. 6	ベリーズ メキシコ	外務省人事。メキシコ兼ベリーズ大使に堀村隆彦中南米局長を任命。(YU, AE)
1. 6	中南米	外務省人事。総合外交政策局兼中南米局審議官に河野雅治北米局参事官を任命。(AE)
1. 6	南米	ベアリング国内最大手の日本精工は、ニードルローラーベアリング事業で2年後をメドに韓国・南米などの海外拠点を新設すると発表した。(NK)
1. 10	アルゼンチン	フランスから日本へ送られる高レベル放射性廃棄物を積んで南米沖を航行している英国の輸送船について、プエノスアイレスの行政裁判所は領海内の航行を禁止する決定を下した。ブラジル、アルゼンチン、チリ、ウルグアイの4ヶ国は前年12月にも「懸念」を表明していた。(AE)
1. 11	チリ ペルー	食品加工メーカーのホテイフーズコーポレーションが「焼きさざえ」の缶詰の原料としてチリ産やペルー産の巻貝、アカニシを使用していた問題で、公正取引委員会は同社に警告を行なった。(NK)
1. 11	ドミニカ	政府はドミニカ国政府に対し、「沿岸漁業開発拡充計画(1/2期)」の実施に資することを目的として、5億9400万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡の交換が行なわれた。(IL)
1. 11	ドミニカ	政府はドミニカ国政府との間で、合意に達した同国に対する青年海外協力隊の派遣に関する取り決めを締結するための書簡の交換が行なわれた。(IL)
1. 13	メキシコ キューバ	綿貫民輔衆院議長、親善のためメキシコとキューバを訪問。(-21日)(AH)
1. 15	エルサルバドル	13日に発生した中米大地震の救助活動に参加するため、政府の国際緊急援助隊医療チームがエルサルバドルに向けて出発した。(YU, AH, NK)
1. 15	エルサルバドル	政府はエルサルバドル政府に対し、同国で発生した地震災害の緊急無償資金援助として50万ドルおよび約2500万円相当の緊急援助物資からなる総額約7750万円の緊急援助を行なうことを決定した。(IL)
1. 15	キューバ	キューバのソンの名バンド、グルーポ・シエラ・マエストラが13年ぶり2度目の来日公演を行なった。(YE, AE)
1. 15	ブラジル	KDDIは、出資先であるブラジルの携帯電話会社、グローバル・テレコム(GTEL)の保有株式を現地企業に売却すると発表した。KDDIは現在同社の48%を出資している。(AH, NK, NS)
1. 19	ブラジル	前年9月、京都府内の牧場でサラブレッド26頭が、敷き藁代わりに使われたブラジルからの輸入広葉樹カセツガが混ざった木くずを食べて中毒を起こし、うち2頭が死亡したことが判明した。(YE)

1・23	ブラジル	資生堂は、ブラジルの全額出資子会社、資生堂ブラジルが3月から営業を始めると発表した。これまで現地代理店を通しての販売を、子会社経由に切り替え強化するのが目的。中南米地区における資生堂初の子会社。(NK, NS)
1・23	メキシコ	日本とメキシコ両政府は、投資保護協定を3ヶ月以内にまとめることで合意した。(AH, NK)
1・25	エクアドル	政府はエクアドル政府に対し、「ロハ州地下水開発計画」の実施に資することを目的として、6億8500万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡の交換が行なわれた。(IL)
1・25	カリブ地域	ジャマイカなどカリブ共同体14ヶ国は翌年中に、日本で初の合同見本市を開くことを発表した。ジャマイカ訪問中の平沼経済産業相がジャマイカ・パターソン首相との会談で合意。(NE)
1・29	ペルー	ペルーに医薬品を送るなどの支援活動を続けている民間のボランティア団体が、声優や舞台俳優など4名を招いて「語りの会」を開いた。スラム地区に住む子どもたちに、みどりのある遊び場を作る資金の調達を目的。(YU)
1・29	メキシコ	東京・上野動物園のジャイアント・パンダ「リリリン」が、メキシコ市のチャプルテペック動物園に繁殖用に貸し出されるため出発した。約3ヶ月間を現地で過ごし、4月25日に帰国。残念ながら自然交配、人口授精ともに失敗に終わった。(YU, YE)
2・1	ペルー ブラジル	前年12月、栃木県の林道でペルー国籍の男性が殺された事件で、黒磯署捜査本部はブラジル国籍の容疑者2名を逮捕した。(AH)
2・1	メキシコ	千代田区永田町にあるメキシコ大使館から、館内に飾られていた油絵、ガストン・デ・ヒベス画「太陽たちの娘」が感謝を込めて千代田区に寄贈された。(YU)
2・1	メキシコ	近畿日本鉄道系のテーマパーク、志摩スペイン村は、3月からこれまでスペインに限定していたテーマを拡大、メキシコにまつわる物販コーナーを設けることを発表した。(NK)
2・1	メキシコ	射出成型機最大手の日精樹脂工業は、メキシコ・グアダハラに事務所を開設、メキシコ国内の拠点を3つとし、営業体制を強化した。(NK)
2・5	ブラジル	JUKIは中南米市場での工業用ミシンの販売・サービス拠点を数ヶ所新設し、米国の販売会社に駐在している技術者を中南米の拠点に移す方針を発表した。(NS)
2・7	ジャマイカ	政府はジャマイカ政府に対し、ジャマイカ国家遺産保護委員会が視聴覚機材を購入するための費用として3790万円を限度とする額の文化無償協力をを行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)
2・9	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府に対し4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行なうこととし、このための書簡の交換が行なわれた。(IL)
2・13	エクアドル	環境省は、エクアドル領ガラパゴス諸島の石油流出事故に対して、学識経験者ら9人の調査団を現地に派遣することを決定した。(AH)
2・13	チリ	チリ最南端に近いダルマシアで、日本人観光客19人を乗せた観光バスが約30メートル下の崖下に転落、日本人5人が骨折などの重傷を負った。(YU, AH)
2・13	ブラジル	群馬県は、前年12月末時点の県内の外国人登録者数が過去最多の40,167人であることを発表した。一番多かったのはブラジル人で15,717人。(NK)

2・15	エルサルバドル	政府はエルサルバドル政府に対し、同国において2月13日に発生した地震災害の深刻さに鑑み、約1300万円相当の緊急物資の支援を行なうこととした。(IL)
2・15	ブラジル	外務省人事。津嶋冠治大臣官房考査・政策評価官をポルトアレグレ総領事に任命。(IL)
2・15	ブラジル	茨城県は前年末の外国人登録者数が初めて40,000人台を突破したと発表した。一番多かったのはブラジル人で11,312人。(NK)
2・16	チリ	大王製紙はチリで進めてきた自社の植林木から、製紙原料となるチップの供給を始めると発表。大王製紙は1989年にフォレストアル・アンチレを設立し、6万ヘクタールの土地を所有している。(NS)
2・16	ブラジル	ギター・ドゥオ、アルジオ&オダイルのアサド兄弟が東京で来日公演を行なった。(YE)
2・20	エルサルバドル	政府はエルサルバドル政府に対し、約213万ドルの資金供与および支援活動を行なっている日本赤十字社に対する約4000万円の資金供与からなる総額2億6400万円の緊急援助を行なうこととした。(IL)
2・20	ブラジル	日商岩井、丸紅、住友商事の3社は、ブラジル政府から総額184億円の医療関連機器の受注があったと発表した。費用の85%にあたる157億円を国際協力銀行が民間金融機関と共にブラジル政府に協調融資することになっている。(NK)
2・21	ジャマイカ	外務省人事。大塚功国際協力銀行理事をジャマイカ大使に任命。(IL, YE, AE)
2・22	コロンビア	ボゴタにある自動車部品大手「矢崎産業」の現地合弁会社「矢崎シーメル」副社長・村松治夫さんが左翼ゲリラ・コロンビア革命軍の一部隊によって誘拐された。多額の身代金が要求された。(YU, YE, AH, AE, NK, NE)
2・22	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジル政府に対して新規融資の供与を決定し、総額約157億円の貸し付け契約に調印した。(IL)
2・23	ペルー	世界遺産に指定されているマチュピチュ遺跡が地滑りによる崩壊の危機にあることが、京都大学防災研究所の調査で判明した。「地滑り災害軽減のための国際連合」を設立し防止策を講じる予定。(YU)
2・26	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国における「予防接種拡大計画」の実施に資することを目的として、国連児童基金(ユニセフ)に対し、3億9900万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
2・26	中南米	ギタリストでラテン歌手のアントニオ古賀、還暦を迎えた祝賀会を開催。古賀は現在日本ラテンアメリカ音楽協会理事長。(YE)
2・27	アルゼンチン	NECのアルゼンチン法人NECアルゼンチンは、コンピューター用ソフトウェアの開発センターをブエノスアイレスの自社工場敷地内に新設したことを発表。国内向けと周辺諸国向けのソフト開発を試みる。(NS)
2・28	ウルグアイ	カルロス・クルロウ駐日ウルグアイ大使は天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
2・28	ペルー	ルイス・J.マキアペロ・アモロス駐日ペルー大使は天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
2・28	メキシコ	三井造船は三井物産と共同で、メキシコの国営化学会社ペトロキミカ・モレロスがベラクルス州に所有するプラントの改造工事を受注したと発表。受注金額は約20億円。(NS)

3・1	ペルー	福田官房長官は、ペルーでフジモリ前大統領に対する刑事訴追が始まったことに関連して、身柄引き渡し要求が届いていないこと、身柄引き渡し要求があっても応じるのは難しいとの認識を示した。2日にも高村法相が同様の見解を示した。(YU, YE, AH)
3・5	ブラジル	外務省人事。岡紀麿在チリ日本国大使館参事官をレシーフェ総領事に任命。(IL)
3・5	ペルー	日本に滞在中のフジモリ前ペルー大統領は、前年11月から身を寄せていた作家・曾野綾子さん宅から東京都千代田区に転居したとの声明を発表した。(LA)
3・6	キューバ	来日中のフェリペ・ベレス・ロケ外相は在日キューバ大使館で記者会見、米国の経済制裁解除の可能性に悲観的な見通しを示した。(YU)
3・7	ペルー	1997年のリマの日本大使公邸占拠・人質事件で、4月にペルー軍特殊部隊が武力突入した際、左翼ゲリラメンバーが違法に射殺された疑惑をめぐり、同国検察当局から人質だった元日本大使館員に事情を聞きたいという要請があったことが明らかになった。(YU)
3・8	中南米	外務省と米州開発銀行駐日事務所の共催で「中南米石油資源セミナー」が開催された。(IL)
3・9	ニカラグア	外務省人事。清水訓夫ストラスブール総領事をニカラグア大使に任命。(YU, AE)
3・9	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対し、「チョロマ川洪水対策強化計画」の実施に資することを目的として、2億6600万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)
3・9	メキシコ	九州電力は、メキシコで計画中の天然ガス方式による発電事業「トゥクスパンプロジェクト」の建設資金として、三菱商事と共同で約1億ドルを出資すると発表。(NK, NS)
3・13	コロンビア	政府はコロンビア難民(隣国エクアドルへの避難民と国内避難民)の窮状を救済するため、赤十字国際委員会(ICRC)等に対し、総額118万ドルを緊急無償援助として拠出することを決定した。(IL)
3・13	ベネズエラ	日揮と千代田化工建設はベネズエラの首都カラカスの東約300キロのプエルトでラクルスにある製油所の近代化プロジェクトを総額350億円で共同受注すると発表。(NK)
3・15	ボリビア	東京入国管理局から強制退去命令を受けたボリビア国籍の女性が、在住特別許可を認めなかったのは不当だとして、法務大臣らに処分の取り消しを求めている訴訟で、退去命令を取り消す判決が言い渡された。この女性は上海生まれで中国語以外話せず、ボリビアへの強制送還に異議を唱えていた。(YU, AH)
3・16	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、「職業訓練センター機材整備計画」の実施に資することを目的として、6億8900万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)
3・16	ペルー	政府は4月8日に行なわれるペルー大統領及び国会議員選挙の円滑な実施を支援するため、選挙監視を行なう米州機構に対し、20万ドルを拠出することを決定した。(IL)
3・19	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)
3・20	ニカラグア	政府はニカラグア政府に対し、8億円の無償資金協力(ノンプロジェクト無償資金協力)を行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)

3・21	エルサルバドル	政府はエルサルバドル政府に対し、10億円の無償資金協力(ノンプロジェクト無償資金協力)を行うこととし、そのための書簡の交換が行なわれた。(IL)
3・27	アルゼンチン	米州開発銀行駐日事務所主催で講演会「メルコスールとFTAAに関するアルゼンチンの政策」が行なわれた。(IL)
3・27	南米	北海道の大学、農協、農家、食品メーカーが共同で南米アンデス地方原産の根菜「ヤーコン」の栽培技術・商品化などの研究に乗り出すことを発表した。「ヤーコン」は生活習慣病に効果がある成分を多く含む。(NK, NS)
3・29	中南米	日本を含む東アジアと中南米諸国など27ヶ国による「東アジア・ラテンアメリカ・フォーラム」の初の外相会議がサンティアゴで開幕した。(YU)
3・29	中南米	近鉄エクスプレスはコスタリカとパナマにあった現地法人を解散したと発表。また米フロリダ州にある中継子会社キンテツワールドエクスプレス・ラテン・アメリカを米国法人キンテツワールドエクスプレスUSAに吸収合併したことも発表した。(NS)
3・31	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴのリサンドロ・アドロベル率いるフォーエバー・タンゴ・オーケストラと葉加瀬太郎の共演コンサートが行なわれた。(YE)
4・1	ブラジル	外務省人事。高橋利弘大臣官房審議官を在リオデジャネイロ総領事に任命した。(IL)
4・1	中南米	外務省人事。西林万寿夫前在シンガポール日本国大使館公使を中南米局参事官に任命。(IL)
4・1	中南米	外務省人事。高瀬寧経済局国際機関第一課サービス貿易室長を、中南米局中南米第二課長に任命。(IL)
4・2	エクアドル	マルセロ・アビラ駐日エクアドル大使は天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
4・4	コスタリカ	ロドリゲス大統領が来日、森首相と首脳会談を行なった。(YU, AH)
4・4	ブラジル	ホンダのブラジル現地法人、ホンダ・アウトモベイス・ド・ブラジル(HAB)がサンパウロ郊外の自社工場内に現地部品メーカーの新規開拓や市場調査などを担当する研究所を6月に新設すると発表した。(NS)
4・4	メキシコ	カルロス・デ・イカサ駐日メキシコ大使は天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)
4・4	メキシコ	帝人は、メキシコのポリエステル、ナイロン繊維の製造販売会社アクラテイジンの株式を25%買い増すことで合弁相手のアルペック社と合意したと発表した。(NS)
4・4	南米	日本国内の学校やクラブチームのサッカー指導者が南米のクラブチームなどを訪問する視察研修ツアーが行なわれた。ヴァリグ・ブラジル航空の主催で今回で9回目となる。(YE)
4・5	コロンビア	コロンビア治安当局は、「矢崎産業」現地法人の副社長誘拐に関与したとみられるコロンビア革命軍の上級幹部を逮捕したと発表。(YU)
4・6	チリ	日本の国立天文台、米国の科学財団(NSF)、欧州の南天天文台は、チリ北部のアタカマ砂漠に巨大な電波望遠鏡を建設する計画に合意、発表を行なった。完成目標は2010年、総工費は1000億円。(NK)
4・11	チリ ペルー	水産用飼料に使われる輸入フィッシュミール(魚かす)の日本での価格が前年末から上昇していることが報告された。供給国のペルーが禁漁期に入り、チリではサーモンの養殖が好調なため、自国での消費が増え、輸出余力が低下した事が原因と考えられる。(NK)

4・11	メキシコ	メキシコへの投資促進や進出企業への支援を担当するメキシコ大使館商務部大阪事務所が開所式を開いた。1月末の在大阪メキシコ総領事館の閉鎖に伴い、大阪商工会議所内に開設した。(IL)
4・15	ウルグアイ	バジェ大統領来日、森首相らと会談を行なった。(-19日)(IL, YU, AH)
4・17	パナマ	常陸宮ご夫妻、皇族初のパナマ公式訪問に出発。モスコソ大統領主催の晩餐会に出席するほか、パナマ運河の視察等を行なう。(YE)
4・20	ブラジル	三井物産は、ブラジルの鉄鉱石大手カエミの全株式を取得した後、同国の鉄鉱石世界最大手リオドセに50%を売却すると発表。三井物産は現在カエミに40%出資しているが、リオドセとの折半出資会社とすることで経営基盤を固める目的。(NE)
4・25	ブラジル	米ボーイング社は高速旅客機「ソニック・クルーザー」の概要を発表、実現すれば東京-サンパウロ間の超長距離の直行路線が可能となる。(NE)
4・29	メキシコ	トヨタ自動車は、2001年度中にメキシコに販売会社を設立し、営業網を構築すると発表。メキシコで自動車生産を行っていないメーカーの完成車輸入を禁じる規制が2004年に撤廃される見通しを受けたもの。(AH, NK)
5・1	コロンビア	神奈川県警、金沢署、横須賀署などの捜査本部は、関東で前年秋から約350件の空き巣狙いを行なった犯人としてコロンビア人6人を逮捕した。被害額は2億円以上にのぼるとみられ、さらにコロンビア人の共犯者がいるとみて行方を追っている。(YU)
5・7	エルサルバドル	日本政府が食糧増産援助で供与した農業用肥料の確安が大量に紛失したことが明らかになった。国営の農牧振興銀行が管理する倉庫に保管していた分のうち、526トンが盗まれたと推測される。(AH)
5・8	ベネズエラ	公安当局の調べで、日本赤軍の重信房子が関与した1974年のオランダ・ハーグの仏大使館占拠事件で、ベネズエラ出身の左翼テロリスト、カルロスことイリッチ・ラミレス・サンチェス服役囚が武器調達をして実行犯に渡す計画だったことが明らかになった。実際にはカルロスは現場に現れなかった。(YU)
5・9	アルゼンチン	ジャバリーニ外相が来日した。(-12日)(IL)
5・9	ブラジル	水産会社最大手マルハは、水産物の輸入をめぐる、原産地を偽るなどして約4億円の関税を逃れていた疑いで捜索を受けた。前水産第二部長、ラスバルマス駐在事務所長、日系ブラジル人の同部水産第二課長の3名が逮捕された。(YE)
5・9	ブラジル	川崎重工業は、ブラジルのエンブラエル社の108人乗り小型旅客機ERJ190の開発に参加することを明らかにした。(NK)
5・15	グアテマラ	ポルティージョ大統領が来日した。(-21日)(IL)
5・18	ブラジル	ブラジル音楽界の大物、カエターノ・ヴェローゾの息子、モレーノ・ヴェローゾが都内で初来日公演を行なった。(YE)
5・20	ペルー	デクエヤル首相兼外相は記者会見の中で、日本滞在中のフジモリ前大統領の引渡し問題に言及し、日本側の対応次第では国交断絶の可能性もあることを示唆した。(YU)
5・21	アルゼンチン	北海道大学低温科学研究所の調査により、アルゼンチン・パタゴニア地方にあるウブサラ氷河が急速に後退していることが判明した。過去20年間で5キロメートルが後退、厚みも減ったとされる。(NK)

5・21	メキシコ	フォックス大統領は6月中旬からのアジア歴訪を前に、メキシコ市で記者会見を行ない、自由貿易協定を日本との間で締結するため、その準備作業を本格化させる意向を表明した。(YU)
5・22	アルゼンチン	日本のアルゼンチン・タンゴのアーティストが一堂に集ったコンサート「タンゴ・フェスタ2001」が行なわれた。(YE)
5・24	ブラジル	石油公団は、1998年に石油資源開発と丸紅が参加したブラジル・カンボス沖合油田開発に加わることを発表。石油資源開発と丸紅が設立した共同出資会社、ジャペックスブラジルに18億円を投資する。(NS)
5・25	パナマ	1月から3月にかけてパナマの国立がん病院で治療用の放射線を28人の患者に過剰放射し、6人が死亡する事故があり、国際原子力機関は同国保健省の求めに応じ専門家の派遣を決定、日本からも放射線医学総合研究所から1名が派遣されることになった。(YU)
5・29	ブラジル	アマソンの森林保護と先住民支援を目指すNGO「熱帯森林保護団体」と女子美大の共催で「アマゾン・インディオの生活アート展」が女子美大杉並キャンパスで開催された。(YU)
5・31	ブラジル	自動車メーカー、スズキのブラジル法人の社長が27日サンパウロ郊外バルエリで何者かに誘拐され、翌日無事解放されたとサンパウロの日本領事館が発表。のちに身代金75,000レアルを支払っていたことが判明。(YU, YE, AH, AE, NK)
5・31	南米	衛星放送のWOWOWは、7月にコロンビアで開催されるサッカーの南米選手権全26試合を生中継で放映することを発表した。(NK)
6・1	ブラジル	外務省は、海外に永住したり、長期滞在している日本人の数が初めて80万人を超えたと発表。一番多い国は米国の20万人で、2位はブラジルの7万人。(AH)
6・5	パナマ	川崎海上保安署は、川崎区扇町の東洋埠頭岸壁に接岸していたパナマ船籍の冷凍運搬船の機関長を海洋汚染および海上災害防止法違反で逮捕した。タンカーから燃料を補給していた際に重油を流出させた容疑。(AH)
6・5	ブラジル	ホンダ系自動車部品メーカーの武蔵精密工業は、タイとブラジルにある生産子会社に鍛造機などを追加導入し、ミッションギアの増産を行なうと発表。(NK)
6・5	メキシコ	フォックス大統領が来日、天皇・皇后両陛下との昼食会、小泉首相との会談などを行なった。自由貿易協定研究会の設置で合意した。(6日)(IL, YU, AH, NK)
6・5	メキシコ	日産自動車はフランス・ルノーとの連携を強化して、中南米市場を開拓することを発表。ブラジルのルノー工場の日産のピックアップトラックを組立生産し、メキシコの日産工場でもルノーの小型車の受託生産を開始する。(NK)
6・5	中南米	トヨタ自動車はアジア・南米市場専用の戦略車を開発、2004年に生産・販売を開始すると発表。また、2002年後半からメキシコで車両整備スタッフの教育プログラムを開始することも発表した。(NK, NS)
6・12	キューバ	1987年から91年に務めた元駐キューバ日本大使が在任中、大使公邸用として公費で購入した高額の備品を横領し私財としていたことが発覚、その金額は数千万円にのぼるとされた。元大使は横領額の一部にあたる300万円を弁済しているが、外務省はこの事実を公表せず隠蔽し、それ以上の処分も行なっていなかった。(YU)
6・12	グアテマラ	外務省人事。上野景文メルボルン総領事をグアテマラ大使に任命。(IL, YE)
6・12	ホンデュラス	外務省人事。竹元正美ヒューストン領事をホンデュラス大使に任命。(IL, YE)

6・18	中南米	日本興業銀行は南米開発のための国際機関、米州投資公社(IIC)向けに1億ドルを単独融資すると発表、そのための調印が行なわれた。この資金は中南米の中小企業などに投融資される。(NK)
6・20	トリニダード・トバゴ	政府はトリニダード・トバゴ政府に対して、国立高等教育機関の語学学習用機材購入のため3010万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
6・21	ハイチ	政府はハイチ政府に対して、総額3億6000万円を限度とする額の無償資金協力(食糧援助)を行なうこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
6・22	ベネズエラ	外務省人事。伊藤昌輝ホンデュラス大使をベネズエラ大使に任命。(IL, YE)
6・22	メキシコ	松下電器産業は、メキシコ・ヌエボレオン州に家電製品の製造会社「メキシコ松下電化機器」を設立した。松下の米国法人が全額出資したもので、当面は低価格タイプの掃除機を北米向けに生産する。(NK)
6・23	メキシコ	三菱自動車工業は、2003年をめぐりに米国の製造子会社で生産した乗用車やレクリエーショナル・ビークルのメキシコでの販売を始めると発表した。三菱自動車の筆頭株主、独ダイムラークライスラーとの連携で参入を要請する。(NK)
6・25	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行なうこととし、このための書簡が交換された。(IL)
6・25	ブラジル	国際協力銀行はブラジル法人テレマール社との間で、総額3億ドル相当円(国際協力銀行が70%、民間金融機関が30%を融資)のアンタイドローンを行なう議定書に調印した。(IL)
6・26	ペルー	政府は地震により被害を受けたペルー政府に対し、50万ドルの緊急無償援助および先方の要請に応じた緊急援助物資として毛布とテント(約1000万円相当)の供与を行なうこととした。(IL)
6・28	エクアドル	政府はエクアドル政府に対し、「ロハ州地下水開発計画(第2期)」および「南部国境地方道路整備用機材強化計画」の実施にすることを目的として、計13億100万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
6・29	アルゼンチン	外務省人事。渡邊俊夫社会福祉・医療事業団常任顧問をアルゼンチン大使に任命。(IL, YU, AE)
7・3	ブラジル	王子製紙など製紙14社、伊藤忠商事などが出資する日伯紙パルプ資源開発は、ブラジルの植林・パルプ大手、セニブラの株式を買い増し、完全子会社化する方針を発表。買い取り金額は約800億円。9月14日付で完全子会社化した。(AH, NK, NS)
7・4	ドミニカ共和国	日本政府の募集に応じて1950年代後半にドミニカ共和国に渡った移住者が、約束に見合う土地の譲渡を受けられなかったとして国に損害賠償を求めている訴訟で、新たに移住者やその遺族21人が提訴した。(AH)
7・4	メキシコ	ナブコは、自動車用ブレーキを手がけるメキシコ子会社、ナブコヒカーナを独ポッシュグループの米国法人、ロバート・ポッシュに売却すると発表した。(NS)
7・5	メキシコ	ホンダ系自動車部品メーカーのエフテックとニチメンは、共同出資でメキシコにプレス部分や金型を生産する新会社を設立したと発表。2002年4月をめぐりに生産を始める。(NS)
7・5	メキシコ	東洋エンジニアリングは、硫黄など不純物の多い原油の製油プラントの実用化でメキシコ国営石油会社と協力すると発表した。(NS)

7・11	セントクリストファー・ネビス	政府はセントクリストファー・ネビス政府に対し、「バセテール漁業複合施設建設計画(2/2期)」の実施に資することを目的として、5億6700万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
7・12	アンティグア・バーブーダ	政府はアンティグア・バーブーダ政府に対し、「零細漁業復興計画(2/2期)」の実施に資することを目的として、7億9800万円を限度とする額の資金協力をを行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
7・13	パナマ	愛媛県北条市沖の瀬戸内海で、パナマ船籍の貨物船と日本の貨物船が衝突、日本船が沈没、乗組員3人がけがをした。(AE)
7・13	メキシコ	デンソーのカーエアコン生産子会社GACは、メキシコ北部のフロンテラ市にデンソーと生産子会社を設立すると発表した。スポットクーラーとカーエアコン用ホースを生産する。(NK, NS)
7・15	南米	無線端末によるデビットカード決済代行のアクセスは、在日南米人向けの通信サービスのテレグローボと組み、在日南米人向け市場の開拓に乗り出す。移動販売業者など50店に端末を設置した。(NS)
7・16	メキシコ	国際協力銀行はメキシコ第2位の民間商業銀行であるバナメックスとの間で総額50億円を限度とするバンクローンの貸付契約に調印した。(IL, NK)
7・17	ドミニカ共和国 ハイチ	外務省人事。野上武久エチオピア兼エリトリア大使をドミニカ共和国大使に任命。また同日同氏を兼ハイチ大使にも任命。(YU)
7・17	ベネズエラ ガイアナ	外務省人事。伊藤昌輝ベネズエラ大使を兼ガイアナ大使に任命。(YU)
7・17	メキシコ	トヨタ自動車は、2002年からメキシコ向けの自動車輸出を約40年ぶりに再開すると発表。(YU)
7・18	アルゼンチン	アルゼンチン政府が日本で発行した円建て外債(サムライ債)の流通利回りが急上昇。アルゼンチンの金融市場の混乱を受けたもの。(NK)
7・18	ペルー	政府は、フジモリ前ペルー大統領の義弟で日本滞在中のビクトル・アリティ前駐日ペルー大使の日本帰化申請を認めたことを発表。これによりペルー政府からの身柄引き渡し要請があっても応じない見通しとなった。(YE, AH)
7・18	メキシコ	松下電工は、メヒカリ市にマッサージいすと充電式電動工具の生産棟を新設したと発表。(NS)
7・19	チリ	アサヒビールはチリのカリテラ社のワインを輸入・販売することを発表。(NK)
7・24	ブラジル	長野県軽井沢の県道で、主婦が後ろから来た二人組の男にハンドバッグを奪われそうになり、右腕を刺される事件が発生、その後検問を突破した後追突事故を起こした車に乗っていたブラジル国籍の6人の男を、もう一つの強盗傷害容疑と合わせて逮捕した。(YE)
7・24	ブラジル	ブラジル政府は、8月に大型の円建て外債(サムライ債)を発行することを発表。発行額は1800億円で、途上国の政府や企業が発行するサムライ債としては過去最大。(NK)
7・26	メキシコ	自動車部品メーカーのタツミはメキシコに初めての海外生産拠点を開設する。親会社のミツバが前年メキシコに設立した現地法人コルポラシオン・ミツバ・デ・メヒコに資本参加し、工場敷地内に別棟の新工場を建設、プレーキを生産する。(NK, NS)
7・27	ブラジル	イヴァン・オリヴェイラ・カナバラーヴァ駐日ブラジル大使は天皇陛下に信任状を奉呈した。(IL)

7・29	アルゼンチン	サッカー日本代表FWの高原直泰が、アルゼンチン1部リーグのボカ・ジュニアーズに移籍することが明らかになった。(YU, AE)
8・1	ブラジル	宮城県大衡村の携帯電話部品製造会社の工場内で爆発があり、ブラジル人作業員2名が重傷を負った。部品を磨く作業で出るマグネシウムの粉塵に引火したとみられる。(YE)
8・2	ペルー	ペルーの最高裁は職務放棄罪で起訴中のフジモリ大統領を被告不在と認定し、逮捕命令を出すとともに、国際刑事警察機構に対して同氏の身柄拘束を要請したことを発表。しかし4日、より重罪での訴追を目指すため、逮捕状の執行は見送られた。9月13日、あらためて特別殺人罪で逮捕命令が出された。(YE, AE)
8・2	中南米	戦後を代表するラテン歌手の一人、宝とも子さんが肺炎で死去。享年79歳。(YU, AH)
8・7	ブラジル	味の素は年内に1800万ドルを投資してブラジル南部の2工場を増強、調味料生産の強化に乗り出すことを発表した。(NS)
8・8	ブラジル	成田税関支署と千葉県警は、大麻草22.3キロを密輸しようとしたとして、ブラジル人女性を大麻取締法違反などの容疑で逮捕した。(AE)
8・10	エルサルバドル	政府はエルサルバドル政府に対し、国営教育・文化テレビ局の番組制作機材購入のため、4100万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
8・10	パナマ	外務省人事。松津光威メダ総領事をパナマ大使に任命。(IL, AE)
8・12	アルゼンチン	ダイキン工業はアルゼンチンの現地メーカーを買収、販売子会社「ダイキン・エアコンディショニング・アルゼンチン」を設立し、中南米数ヶ国でエアコンの販売に乗り出すことを発表した。(NK)
8・14	ペルー	政府はペルー政府に対し、5億円を限度とする額の無償資金援助(食糧増産援助)を行なうこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
8・16	ブラジル	パウラ&ジャクス・モレレンバウムと坂本龍一による、ボサノヴァの巨人アントニオ・カルロス・ジョビンの作品を中心にしたコンサートが東京で開催。(YE)
8・20	メキシコ	自動車・OA機器の部品製造を手がける清水工業は、メキシコでの金型事業を本格化すると発表。コマツの現地法人と提携し自動車部品を量産する。(NK, NS)
8・21	ブラジル	ブラジル・サンパウロ市に日系人の現代美術作家、大竹富江さんの名を冠した文化センターの建設が進んでいることが明らかになった。大竹さんの作品展示スペースの他、一般の展示室、劇場などを備える複合施設で、民間の文化施設としては最大級のもの。(NE)
8・23	ブラジル	パイア音楽を独自のスタイルで聞かせるカルリーニョス・ブラウンの初来日公演ツアーが東京でスタートした。(YE)
8・23	ブラジル	新日本製鉄は、ブラジル・ペロオリゾンテ市の高炉メーカー、アソミナスの高炉改修を完工したと発表。アソミナスはブラジル第5位の高炉メーカー。(NS)
8・25	ブラジル	人材派遣大手のパソナと米アテントホールディングが共同出資するテレマーケティング会社アテントパソナは、10月をめどにブラジルのコールセンターで在住日系人を使って日本向けのサービスを始めることを発表した。(NK)

8・28	ウルグアイ	同国郵便庁は日本との外交関係樹立80周年を機に同国を訪問される紀宮さまを記念し、紀宮さまの写真、桜とセイボの花をデザインした切手1万枚を発行すると発表。(YE)
8・28	ジャマイカ	荒川区の小学校で子供たちが使ってきた机といす1000組がジャマイカに寄贈されるため、運び出しが行なわれた。1997年、98年には同様にドミニカ共和国に2920組、99年、2000年には2930組が既に送られている。(YU)
8・30	メキシコ	平沼経済産業相、世界貿易機関の非公式閣僚会議に出席するため、メキシコへ出発。(YU)
9・3	メキシコ	クレジットカード最大手のJCBと米総合金融サービス大手のアメリカン・エキスプレスは、日本とメキシコで加盟店を相互開放すると発表した。2000年6月に合意した世界規模での加盟店相互開放に基づくもの。(NS)
9・4	ブラジル	システム開発のプラステックは、ブラジル出身の日系人技術者を派遣する事業を始めると発表した。情報技術分野の技術者不足に対応して、日本語が話せる日系人技術者への需要に応えようとするもの。(NS)
9・8	キューバ	映画「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」への参加で改めて注目を浴びるキューバの歌手、オマーラ・ポルトゥオンドの単独公演が東京で行なわれた。(AE)
9・11	ガイアナ	政府はガイアナ政府に対して、5億円を限度とする額の無償資金協力(ノンプロジェクト無償資金協力)を行なうこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
9・11	トリニダード・トバゴ	外務省人事。トリニダード・トバゴ大使に高木量インド公使を任命。(YU)
9・11	中南米	米国で同時多発テロ発生。中南米諸国出身者も多数犠牲となる。(YU, YE, AH, AE, NK, NE)
9・18	ペルー	東京地裁の裁判官が、ペルーのフジモリ元大統領に対し、側近の不正蓄財疑惑などに関連して囑託尋問を行っていたことが明らかになった。(AH)
9・19	中南米	宮内庁は21日から予定されていた紀宮さまのホンデュラスとウルグアイへの公式訪問を延期すると発表した。米国の同時多発テロで状況が緊迫していることに配慮したものの。(YU)
9・20	南米	95年8月、ブラジル、ペルーなどを巡るツアーに参加した女性が両足を虫に刺され、しびれなどの障害が残ったとして海外旅行傷害保険を結んでいた会社に保険金の支払いを求めた訴訟で、虫刺されと障害の因果関係を認め、支払いを命じる判決が下された。(YU)
9・23	ブラジル	NHKのドキュメンタリー番組の取材中だった作家、沢木耕太郎さんら5人の乗った小型飛行機が西部リオ・ブランコ付近の牧草地に不時着。全員が軽いけがをした。(YU)
9・24	メキシコ	日本・メキシコ両政府は、メキシコ市で自由貿易協定を柱とする経済関係強化に向けた共同研究会を開始した。(-25日)(YU)
9・25	中南米	政府は日本政府の特使として橋本元首相をキューバなど中南米数ヶ国に派遣することを決定、同氏に要請した。テロ根絶の国際協調に貢献する姿勢を示すのがねらい。(YU)
9・28	ブラジル	大東銀行はブラジル最大の民間銀行であるブラデスコ銀行と同国向けの送金業務で提携したと発表した。これにより他の金融機関より安い手数料でブラジルへの送金が可能になる。大東銀行はブラジル向けの送金業務で100億円前後の取り扱い実績を持つ。(NK)

10・1	アルゼンチン	狂牛病の感染源とされる肉骨粉について、国内での流通と海外からの輸入が全面停止された。これによりアルゼンチンからの肉骨粉の輸入も停止された。(NK)
10・1	コロンビア	元山梨県議の志村昭郎さんがボゴタ郊外で8月下旬に武装集団によって誘拐されていたことが警察当局により発表された。志村さんは98年にも誘拐されている。その後18日にボゴタ南東部で解放された。(YU, YE, AH, AE, NK, NE)
10・1	ブラジル	経団連が10月23日から予定されていた財界首脳によるブラジル訪問施設団の派遣中止を検討していることを明らかにした。米同時多発テロの影響で安全が確保できないと判断したため。(YU)
10・1	ブラジル	外務省人事。赤阪清隆国際連合日本政府代表部大使をサンパウロ総領事に任命。(IL)
10・2	アルゼンチン	海外で好評を博し続けているタンゴ・ショウ「フォーエバー・タンゴ」が2001年バージョンで4回目の来日公演を行った。(AE)
10・4	ブラジル	海外に住む被爆者への援護のあり方を協議する厚生労働省の検討会が開かれ、ブラジル、韓国、米国に住む被爆者が窮状を訴えた。(NK)
10・4	ブラジル	富士通ゼネラル、ブラジル・マナウスにある電子レジスター事業の子会社を翌春までに閉鎖し販売を中止すると発表。(NK)
10・5	キューバ	政府はキューバ政府に対し、ハバナ・グラン劇場の音響機材購入のため、4460万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
10・8	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対して、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
10・8	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対して、サン・ペドロ・スーラ児童博物館のプラネタリウム機材購入費用として、5000万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
10・10	コロンビア	政府はコロンビア政府に対し、文化省の楽器購入費用として5000万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
10・11	ブラジル	2000年6月に東京都葛飾区のアパートで起こった殺人事件に関連して、殺害依頼者と仲介者が逮捕され、実行犯はブラジル人3人であることが判明した。実行犯は犯行後帰国したとみられている。(YU)
10・12	カリブ地域	外務省人事。高木量トリニダード・トバゴ大使を兼アンティグア・バーブーダ兼セントクリストファー・ネイビス兼ドミニカ大使に任命。(YE, AE)
10・12	ベネズエラ スリナム	外務省人事。伊藤昌輝ベネズエラ大使を兼スリナム大使に任命。(YE, AE)
10・12	ペルー	政府の閣議で、在ペルー日本大使公邸人質事件が発生した際の駐ペルー大使だった青木盛久特命全権大使が退職することが決まった。(YU, AE)
10・12	メキシコ	トヨタ自動車は、2004年をメドにメキシコに部品工場を建設する方針を固めたと発表。メキシコに生産拠点を建設するのは初めて。(YU)
10・15	ベリーズ	政府はハリケーン災害に見舞われたベリーズ政府に対して、テントおよび毛布の緊急援助物資(総額約1000万円相当)を供与することを決定した。(IL)

10・16	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府に対して、「都市近郊初等教育施設建設計画」の実施に資することを目的として、10億1100万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
10・16	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府に対して、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
10・16	ブラジル	中堅人材派遣のクリエイティヴは、システム開発を手掛けるプラスチックと外国人技術者の派遣事業で業務提携したと発表。プラスチックがブラジル出身の日系人技術者を募集、クリエイティヴが企業に派遣する。(NS)
10・16	ボリビア	外務省人事。ボリビア大使に佐々木肇クリチバ総領事を任命。(YE)
10・17	バハマ	米国でも人気あるバハマの音楽バンド、バハ・メンが来日公演を行なった。(YE)
10・18	ブラジル	東京高裁は、2000年6月、長女を折檻で死亡させたとして傷害致死等の罪に関われ、一審で無罪判決を受けたブラジル国籍男性を職権で拘留することを決定した。無罪となった被告の拘留は異例。(AH)
10・25	エルサルバドル	国際協力銀行はエルサルバドル政府に対し、「ラウニオン港開発事業」の所要資金として総額112億3300万円を限度とする円借款の貸付を行なうことを決定し、借款契約に調印した。(IL)
10・25	ブラジル メキシコ	KDDIは海外でも同じ携帯電話が使える国際ローミング(相互接続)協定をブラジルの携帯電話事業社テレースペルラー、メキシコのユーサセルと締結したことを発表した。(NS)
10・25	南米	オーディオ・メーカーのアイワはAV(音響・映像)機器の製造・販売でソニーと協力すると発表、AV機器の一部生産をソニーのブラジル工場に委託する方針が発表された。(NS)
10・31	ブラジル	豊田通商とキムラユニティーは、ブラジル・サンパウロに物流サービスの合併会社「ティー・ケー・ロジスティカ・ド・ブラジル」を設立すると発表。(NK, NS)
11・1	アルゼンチン	アルゼンチン政府が発表した経済対策で、政府債務を借り換える方針が示されたことにより、円建て外債(サムライ債)に対する債務不履行の不安が拡大した。(NK)
11・1	ブラジル	三井物産は、傘下におさめた現地資源会社カエミ社を通じ、約400億円を投じてブラジルの鉄鉱石世界最大手CVRD社が保有する鉱山会社を買収すると発表。(NK)
11・1	ブラジル ボリビア	伊藤忠丸紅鉄鋼は、ブラジルの鋼管メーカー、コンファブと組んで、ブラジル石油公団(ペトロプラス)からボリビア国内に敷設する全長434キロメートルの天然ガスパイプラインを受注した。(NK)
11・3	ブラジル	日商岩井と国際石油開発は、米テキサス等と共同でブラジル・カンポス沖合のフレンジ鉱区の油田開発に着手、2005年をメドに商業生産を始めると発表した。日本企業がブラジルで石油を商業生産するのは初めて。(NK)
11・3	中南米	秋の叙勲でラテンアメリカ在住の在外邦人8名、ラテンアメリカ人3名が受章。(YU, AH)
11・5	ブラジル	ブラジルのアマラル開発商工相が来日、平沼経済産業相らと会談し、両国間の貿易投資の活発化のために日本の協力を求め、自由貿易協定の締結を求めた。(NK)
11・5	メキシコ	メキシコの名門トリオ・ロス・パンチョスの来日公演が東京で行なわれた。トップ・ボイスはジョニー・アルビーノ。(YE)

11・7	南米	日商岩井は、鋼材製品の副原料に使用するフェロニオブ製造で世界最大手のCBMM(ブラジル)から南米5ヶ国での独占販売権を取得したと発表。(NS)
11・10	ブラジル	静岡県浜松市で10月25日、ブラジル銀行浜松出張所に強盗が押し入り現金560万円と米ドル7万ドルが奪われた事件で、浜松市在住のブラジル人工員を逮捕した。(NK)
11・13	カリブ地域	外務省人事。高木量トリニダッド・トバゴ大使を、兼セントルシア兼アンティグア・バーブーダ兼グレナダ兼セントクリストファー・ネイビス兼ドミニカ大使に任命。(YU)
11・19	ボリビア	政府は、1996年のリヨン・サミットの合意を受けて策定された「重債務貧困国イニシアティブ」に基づき、ボリビア政府に1億7584万2000円の無償資金協力(債務救済のための無償援助)を行なうこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
11・19	ボリビア	政府はボリビア政府に対して、食糧増産に資することを目的にして、4億5000万円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行なうこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
11・19	ボリビア	政府はボリビア政府に対して「コチャバンバ母子医療システム強化計画」の実施に資することを目的として、1億1600万円の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
11・19	メキシコ	クラリオンは4月に発表した経営再建計画の追加策をまとめ、メキシコの生産子会社4社を1社に統合することを発表した。(NK)
11・23	キューバ	「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」関連のほとんどの企画に参加しているベース奏者、カチャイト・ロペスが自己のグループによる来日公演を行なった。(AE)
11・27	アルゼンチン	サッカー・第22回トヨタ・カップで、欧州代表のバイエルン・ミュンヘンと南米代表のボカ・ジュニアーズが東京国立競技場で対戦、延長戦の末、1-0でバイエルンが勝利した。(YU, AH)
11・27	ジャマイカ	政府はジャマイカ政府に対して、ジャマイカ・ライブラリー・サービスの移動図書館車購入のための費用として、4990万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
11・29	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対して、「第二次地方浄水場改修計画(1/2期)」の実施に資することを目的として、4億3300万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
11・30	メキシコ	住友電気工業は自動車用ワイヤーハーネスの米国での生産を翌年末で終了、2003年以降米国子会社の持つメキシコの4工場で生産することを発表した。(NK)
12・3	パナマ	政府はパナマ政府に対して、パナマ国立劇場の照明・音響機材購入のため4990万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
12・4	メキシコ	同和鉱業は、メキシコで現地企業と共同運営している亜鉛・鉛鉱山のレイデプラタ鉱山の操業を一時停止すると発表した。亜鉛の国際価格が低迷したことが原因。(NE, NS)
12・5	ブラジル	電源開発は、開発途上で地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を減らした分だけ自社の二酸化炭素削減に算入できる「クリーン開発メカニズム」事業に乗り出すことを明らかにし、第1弾としてブラジル・サンパウロ州の州立小学校約300校で省エネ化を行なうと発表した。(YU)

12・5	ブラジル	食品輸入などを手がけるブラネットは、サッカー元ブラジル代表の名選手ペレの名前を冠したカフェ「クラブ・ペレ」の展開を始めたことを発表した。コーヒー豆はすべてブラジル産を使用する。(NK)
12・6	ベネズエラ	政府はベネズエラ政府に対し、カラカス市立劇場が音響・照明・記録機材を購入するため、4260万円を限度とする額の文化無償協力を行なうこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
12・7	メキシコ	日産系列の自動車部品メーカー、ヨロズのメキシコ子会社ヨロズメヒカーナは仏ルノー向けの部品納入を開始した。(NS)
12・10	アルゼンチン	アルベルト・エドゥアルド・ハム駐日アルゼンチン大使は天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
12・11	カリブ地域	外務省人事。高木量トリニダッド・トバゴ兼セントルシア兼アンティグア・バーブーダ兼グレナダ兼セントクリストファー・ネイビス兼ドミニカ大使を、兼セントビンセント・グレナディーン大使に任命。(YU)
12・12	メキシコ	キッツは、2002年度末までに石油精製プラントなどに使う鋳鋼バルブの生産を伊那工場からメキシコ工場に順次移管すると発表。(NS)
12・17	チリ	青森県住宅供給公社総務部主幹が巨額横領事件で逮捕され、横領金のうち約5億円を青森市内のスナックで知り合い結婚したチリ人女性のもとへ送金したことが明らかになった。(YU, YE, AH, AE, NK)
12・18	ブラジル	2002年ワールドカップのキャンプ地としてブラジル・チームの誘致を進めている「ワールドカップキャンプ広島招致委員会」に対して、同国は代理人を通じて選手のギャラなど400万ドルを要求したことが報告された。委員会は要求を拒絶することで合意、折衷案を提示した。(YU, AH)
12・18	メキシコ	デンソーは、メキシコ北西部の生産会社デンソー・メキシコの既設工場敷地内に、エンジン部品などを生産する新工場を建設すると発表した。総投資額は62億円、2003年2月から生産開始予定。(NS)
12・18	メキシコ	ヤクルトは、メキシコの現地法人メキシコヤクルトを翌年3月までに連結子会社化すると発表。メキシコヤクルトの持ち株会社であるテカオス社を吸収合併することで持ち株比率を高める。(NS)
12・19	メキシコ	国際協力銀行、メキシコ向けに総額50億円のバンクローンを提供すると発表。(NK)
12・20	ブラジル	日産自動車は、ブラジルで仏ルノーと共同で小型商用車を生産する工場が完成したと発表。新工場はクリチバのアイルトン・セナ工場に併設されたもので、生産能力は4万台。(NK)
12・24	アルゼンチン	アルゼンチン政府が公的対外債務の一部の返済を停止したことに関連して、日本で発行したサムライ債の未償還分の残高は1915億円にのぼることが判明した。利払いの停止、元本の一部が償還されない可能性が出てきた。(YU, AE, NK)
12・25	アルゼンチン	公的対外債務の一時支払いを停止したアルゼンチン政府の債務残高の各国通貨別内訳が明らかになり、日本国内で起債したサムライ債や民間融資などを合わせた円建て債務は約63億ドルで、3番目に多いことが判明した。(NK)
12・26	エクアドル	業務用食品卸のトーホーはガラパゴス諸島産のコーヒー豆を発売した。「大吉珈琲」として150グラム入り2500個の数量限定販売。(NK)
12・29	ブラジル	三井物産は、ブラジルのエタノール生産で6割以上のシェアを持つ4社から、燃料用バイオマスエタノールの製造装置を受注・納入することを発表。(NK)

12・31	メキシコ	<p>政府筋は、世界最大級の埋蔵量を持つメキシコのチコンテペック油田群の開発調査権を日本が単独で獲得したことを明らかにした。(YU)</p> <p style="text-align: right;">(以上244項目)</p>
-------	------	--

以上の記事は日経テレコンおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜き、雑誌記事から選んだものである。日付は原則として現地時間に従う。各新聞・雑誌の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
読売	YU	YE
朝日	AH	AE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	

雑誌名	
ラテン・アメリカ時報	IL

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌—2002年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 25(2)
Issue Date	2004-01-30
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9529
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

〈資料〉

日本・ラテンアメリカ関係日誌－2002年－

月 日	国名	記事
1. 1	メキシコ	世界最大級の埋蔵量を持つメキシコのチコンテペック油田群の開発調査権を日本が単独で獲得したことが明らかとなった。石油公団はこれから調査を開始し、5年後の生産に向け準備に入る予定。(YU, AH)
1. 3	ペルー	東京の拓殖大学が、日本滞在中のフジモリ元ペルー大統領を客員教授として迎えることを発表。1月10日に講演「テロリズムについての回想」を行った。今後の講演予定については未定。(YU, AH, NK)
1. 4	メキシコ	トヨタ自動車は、米国との国境に近いメキシコ北東部ティファアナに小型トラック向けの荷台を生産する工場を新たに建設すると発表した。春に着工し、2004年に稼働させる予定。(YE, NE, NS)
1. 6	コロンビア	コロンビアの有力週刊誌「エルエスペクトドル」は、2001年2月に首都ボゴタ近郊で誘拐された矢崎総業現地邦人副社長、村松治夫さんの身代金要求額が2700万ドルにのぼると報じた。(YE, NE)
1. 7	ハイチ	政府はハイチ政府に対し、食糧増産援助として3億円を限度とする無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
1. 7	メキシコ	住友電鉄は、メキシコ・コアウイラ州に自動車用ワイヤハーネスの製造・販売を手がける新会社「アウトシステムス・デ・サンペドロ」を設立、トヨタの米生産拠点向けにワイヤハーネスを増産することを発表した。(NS)
1. 7	メキシコ	九州電力が三菱商事との共同出資でメキシコのベラクルス州トゥクスパンで建設をすすめてきた火力発電所が、メキシコ電力庁から認定を受け、営業運転を始めたと発表した。(NS)
1. 10	ニカラグア	政府はニカラグア政府に対し、8億円の無償資金協力(セクタープログラム無償資金協力)、および「太平洋側地域医療センター整備計画」の実施に資することを目的とした4億5700万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、そのための書簡を交換した。(IL)
1. 18	ブラジル	ワールドカップ日韓大会で、ブラジル代表のキャンプ誘致を進めている広島招致委員会が、ブラジル側から求められている宿泊費と移動費には地元チームとの練習試合の収益金約5000万円を充て、警備などの諸経費6000万円を別に拠出するとした最終条件を決定・提示した。(YU)
1. 18	中南米	外務省人事。島内憲在英国日本大使館特命全権大使を中南米局長に任命。(AE, IL)
1. 19	メキシコ	ワールドカップ日韓大会に出場するメキシコ・チームのキャンプ地が福井県三国町に内定した。(YE)
1. 24	ブラジル	川崎重工業が、三井物産と共同でブラジルの独立系発電事業社(IPP)からガスタービンを動力源とする火力発電所を受注したと発表した。(NS)

1・25	パラグアイ	元パラグアイ日本人連合会会長の笠松尚一氏がアスンシオンで死去。享年91歳。(YE)
2・4	中南米	外務省が2001年度の海外在留邦人数調査報告を発表、最多は米国、2位はブラジルだった。地域別では中南米は減少傾向にある。(NK)
2・5	ベネズエラ	東洋エンジニアリングは、ベネズエラ国営石油会社から、ガソリンを増産するため製油所の能力増強工事を受注したと発表した。現地企業3社との共同受注で、受注金額は約120億円。(NK,NS)
2・8	アルゼンチン	サッカーの高原選手がアルゼンチン一部リーグのボカ・ジュニアーズを退団し、帰国した。Jリーグ1部の磐田に復帰する。(NK)
2・8	ブラジル	富山県が外国人登録国別人員調査を発表。国籍別で最も多いのはブラジル人で3946人。(NK)
2・10	コスタリカ	丸紅とNECが、コスタリカの国営電力通信公社から電話局向け通信システムを受注した。受注額は6400万ドル。(NK)
2・12	アルゼンチン	東京都品川区の外郭団体「品川文化振興事業団」が2000年に資金運用のため購入したアルゼンチンの国債1億6000万円分が、同国の対外債務不履行の宣言により回収困難となっていることが明らかになった。4月に区長が監督責任をとって辞任した。(YU, YE, AE, NK)
2・13	アルゼンチン	東京都の外郭団体「財団法人東京防災指導協会」が資金運用のため購入していた円建てアルゼンチン国債300万円分の回収が困難になっていることが明らかとなった。都は前年8月、外債での財産運用を改めるように指導していた。(AH)
2・14	アルゼンチン	段ボールなどの製造業者が加入する「紙器段ボール箱工業健康保健組合」が2000年に購入したアルゼンチン国債16億円分が回収困難となっていることが判明した。(YU)
2・14	チリ	日本水産がチリに養殖サケ・マスの生産加工拠点に配合飼料工場を新設した。(NS)
2・15	アルゼンチン	新潟県文化振興財団が、英国の証券会社から購入したアルゼンチン国債とリンクした私募債約1億円分が償還できない状態になっていることが判明した。(NK)
2・16	アルゼンチン	横浜市の外郭団体「港北ニュータウン生活対策協会」と、第三セクター「横浜交通開発株式会社」の2団体が、資金運用のためにアルゼンチン国債計1億7000万円分を購入、回収困難になっていることが明らかになった。(AH, NK)
2・18	アルゼンチン	県内の教職員を対象に福利厚生事業を行なっている「財団法人青森県教育厚生会」が1996年から2001年までに購入したアルゼンチン国債約33億3000万円分が回収困難に陥っていることが明らかになった。(YE, AE, NE)

2・21	アルゼンチン	社団法人「岩手県農業共同組合職員退職金共済会」が1995年から2000年に購入したアルゼンチン国債約99億円の回収が難しくなっていることが判明した。(YU, AH)
2・21	ブラジル	日本のふる里を描き続ける画家、原田泰治氏の展覧会が、ブラジル・リオデジャネイロ市の国立美術館で開催した。(AE)
2・22	ボリビア	政府は集中豪雨の被害を受けたボリビア政府に対し、緊急援助物資として毛布、プラスチック・シートおよびテント(合計約700万円相当)の供与を行うことを決定した。(IL)
2・26	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジル石油公社(ペトロブラス)が実施するヘプラン製油所近代化プロジェクト向けに供与される、総額3億ドルを限度とする民間シンジケートローン(三井住友銀行他7行が貸付)に対し、保証を供与することとし、金融機関との間で保証契約を調印した。(IL)
2・27	メキシコ	西北部バハカリフォルニア州エンセナダ市で、路上で炎上する車の中から日本人の焼死体が発見された。頭蓋骨に外傷が認められており、州検察当局は殺人事件とみて捜査を開始した。(YE, AH, NE)
2・28	チリ	青森県住宅供給公社を舞台にした巨額横領事件で、業務上横領罪に問われた千田被告の初公判が行なわれ、冒頭陳述でチリ人妻アニータ・アルバラードさんに送金した額は約8億1000万円と確定された。(YU)
2・28	メキシコ	メキシコのスペリア下院墨日友好議員連盟会長、ラミレス下院議員が来日。関係者と意見交換を行なった。(3月10日)
3・1	コロンビア	茨城県ひたちなか市が、不要となった消防車2台をコロンビアに寄贈することを発表した。(NK)
3・6	エクアドル	政府はエクアドル政府に対し、5億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・6	メキシコ	キャノンがメキシコ・ティファアナ市にある消費者向けプリンター製造の子会社について、5月末で生産を停止し、解散すると発表した。(AH)
3・8	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、国立プエルト・バリオス病院建設・医療機材整備計画およびノンプロジェクト無償資金協力の実施に資することを目的として、合計6億8100万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・8	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、グアテマラ国立造形美術学校が教育機材を購入する資金として、4130万円を限度とする額の文化無償協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・12	アルゼンチン	福井県の調査で同県の4外郭団体がアルゼンチン国債に合計13億8000万円を投資していることが明らかになった。(NK)
3・12	アルゼンチン	岩手県農業協同組合役職員連盟が、アルゼンチン国債約12億8000万円分を保有していることが明らかになった。(NK)
3・12	キューバ	政府はハリケーン・ミッシェルにより甚大な被害を受けたキューバ政府に対し、国連開発計画(UNDP)を通じ、48万ドルの緊急援助(無償資金協力)を行なうことを決定した。(IL)

3・13	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府に対し、低開発地域上水道施設改修計画の実施に資することを目的として、5億6800万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・14	アルゼンチン	アルゼンチンが発行した円建て外債の社会管理会社である東京三菱銀行、新生銀行、富士銀行は、債務不履行(デフォルト)宣言を見送ることを発表した。(NK)
3・16	コスタリカ	作家の早乙女勝元さんが企画し、コスタリカ市民の暮らしぶりを紹介した作品「軍隊をすてた国」が一般公開された。(YU, AE)
3・18	ドミニカ共和国 ハイチ	国立感染症研究所と米疾病対策センターなどが、2000年から2001年にかけてハイチとドミニカ共和国で流行した感染症のポリオが、予防接種で使用したワクチンウイルスから広まった可能性が高いことを突き止めた。(NS)
3・22	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国における「予防接種拡大計画」の実施に資することを目的として、国連児童基金(ユニセフ)に対し、6億900万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・22	ブラジル	鈴鹿医療科学大学教授らのグループが、ブラジルのアマゾン流域に原生するガラナに、アルツハイマー病のぼけ症状を和らげる効果があることを発見、26日の日本薬学会で発表することを明らかにした。(NK)
3・22	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対し、5億円の無償資金協力(ノンプロジェクト無償資金協力)を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・23	アルゼンチン	北海道の網走信用金庫と釧路信用金庫がアルゼンチン国債をそれぞれ27億円分と13億円分購入し、回収不能になっていることが明らかになった。両信金はこの損失を特別損失に計上する方針。(AH)
3・23	ブラジル	ブラジルの伝統ある都市音楽ショーロの名グループ「エポカ・ヂ・オウロ」が来日、「カフェ・ブラジル」と銘打ったコンサートを都内で行なった。(AE, NE)
3・24	カリブ地域	プロ野球の巨人軍は、米大リーグ、前フェリーズの選手で、プエルトリコ出身のフェリーペ・クレスポ外野手との間で入団の合意に達したと発表した。(NK)
3・24	パラグアイ	パラグアイのモレーノ外相が来日し、川口外相との会談などを行なった。(-30日)
3・26	アルゼンチン	アルゼンチン政府発行の円建て債権のうち、同日期日を迎えた元本15億円分の利払いが行なわれなかった。日本の投資家向けに販売された国債の利払いがストップしたのは初めて。(YU)
3・27	アルゼンチン	総務省が、地方自治体が出資する公益法人と第三セクターによるアルゼンチン債(円建て)保有状況を発表、全国で19法人が合計34億5938万円分を保有していることが明らかとなった。(NK)
3・27	エクアドル	エクアドルのノボア大統領が来日。(-30日)

3・27	チリ	政府はチリ政府に対し、チリ国立歴史博物館が写真修復機材を購入するため3200万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・27	ブラジル	ワールドカップに出場するブラジルチームのキャンプ招致を目指してきた「ワールドカップキャンプ広島招致委員会」は総会で招致断念を決定した。ブラジルは一次リーグを韓国で戦い、日本にベースキャンプ地を設けない方針を固めたため。(NK)
3・30	ブラジル	川崎重工業は、2003年をめどに、ブラジルの航空機メーカー、エンブラエル社と小型旅客機を共同生産する事を明らかにした。(NK)
3・31	メキシコ	メヒカーナ航空と全日空の両社は、ロサンゼルス経由運航便についてコードシェアサービスの契約を締結し、東京-メキシコ・シティおよびグアダハラ間の運行を開始した。(IL)
4・3	ブラジル	サンパウロ市南部パライン地区の集合住宅に短銃で武装した9人組の強盗が押し入り、三菱重工業の子会社、CBC重工の日本人役員らが負傷した。(NE)
4・7	パナマ	日本の海運会社が管理するパナマ船籍のタンカーで、台湾の公海上において日本人航海士が行方不明になり、2人の外国人乗組員による殺人の疑いが濃厚になったが、日本に管轄権がないため、兵庫県の姫路港に停泊を続けたままとなった。(YU, AE, NE)
4・8	ブラジル	KDDIと住友商事は、ブラジルで固定通信事業に共同で参入することを発表した。2003年にインターネット技術を使った安価な電話サービスを提供する予定。(NE)
4・9	ニカラグア	政府はニカラグア政府に対し、5億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行なうこととし、このための書簡の交換を行なった。(IL)
4・12	エクアドル	政府はエクアドル政府に対する債務救済措置に関し、同国政府との間で商業上の債務に関して金利などの条件の細目について合意に達したので、このための書簡を交換した。(IL)
4・16	中南米	三共は、2002年内に消炎・鎮痛剤をコロンビアやエクアドルなど6ヶ国で発売すると発表した。高血圧症治療剤を中南米で承認申請し、ブラジルやベネズエラで販売を開始する計画もある。(NS)
4・19	アルゼンチン	福井県文化振興事業団は、保有していたアルゼンチン国債を3月末ですべて売却したことを明らかにした。売却により5億400万円の損失が出たが、理事長の個人資産の寄付により補填された。同事業団は2000年9月に国債を購入、6億3000万円分を保有していた。(NK)
4・19	アルゼンチン	三重県信用漁協連合会が債務不履行状態にあるアルゼンチン国債を2億9900万円分保有していることが明らかになった。6月に発表する2001年度決算で1億8700万円の当期損失を計上する予定。(NE)
4・22	ブラジル	日産自動車は、フランス・ルノーのブラジル工場で、小型トラック「フロンティア」の生産を開始したと発表した。(NK)

4・23	コスタリカ	外務省人事。猪又忠徳神戸大学大学院教授をコスタリカ大使に任命。(AE, IL)
4・24	メキシコ	繁殖活動に協力するためメキシコに滞在していた東京・上野動物園のジャイアントパンダ「リンリン」が帰国した。残念ながら現地のメスとの人工授精には成功しなかった。(NK)
4・26	ブラジル	ブラジル銀行東京支店は、茨城県水海道市に県内初の出張所を開設した。これまで名古屋、浜松、太田に出張所を設けていた。(NK)
4・29	中南米	春の叙勲で、在ラテンアメリカの邦人7名と、チリ人2名、ペルー1名が受章した。(YU, AH, NK)
4・30	アルゼンチン	アルゼンチンの連邦警察が、ワールドカップ大会期間中の日本へ、フリーガン対策としてアルゼンチンの警察官12人を派遣することが明らかになった。(AE)
4・30	ブラジル	三井物産が、ブラジル最大の鉱山会社バレド・リオドセとの提携を拡大することを明らかにした。資源開発に加え、鉄道や通信分野にも協力分野を広げる。(NK)
5・3	キューバ	11月にチリで開催される予定のワシントン条約締約国会議において、貿易が禁止されているべっ甲の材料となる海亀のタイマイの輸出再開をキューバが提案していることが判明した。この提案はべっ甲の消費国である日本を唯一の相手国としたもの。(NK)
5・7	ブラジル	国営ブラジル銀行が日本で業務を拡大、年末までに新たに11支店を開く方針を明らかにした。日本に働きに来たブラジル人の送金業務で、年間10億ドル近くを取り扱っている。(YE)
5・8	パラグアイ	5月末に開幕するサッカーの世界カップ出場のため、長野県松本市で事前キャンプを行なうパラグアイ代表チームの主将チラベルト選手が来日。今大会ワールドカップ代表選手の来日第1号となった。(NK)
5・9	メキシコ	プリンターの生産を世界規模で再編しているセイコーエプソンが、アジアで生産しているプリンターの一部をEMS(電子機器の製造受託サービス)会社のメキシコ工場に委託することを発表した。(NK)
5・10	ブラジル	外務省人事。池田維元オランダ大使をブラジル大使に任命。(IL, YE, AH)
5・10	ブラジル	中南米最大の飲料メーカー、ブラジルのアメリカス飲料が、炭酸飲料水「ガラナ」の日本での販売を開始すると発表した。アメリカス飲料はW杯ブラジル代表チームのスポンサー企業でもある。(NS)
5・13	ドミニカ共和国	政府はドミニカ国政府に対し、マリゴット漁港整備計画の実施に資することを目的として、16億6300万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
5・13	メキシコ	東京現代美術館でメキシコの建築家ルイス・バラガンの作品を映像や模型で紹介する「ルイス・バラガン 静かなる革命展」が催された。(7月14日)(NE)

5・14	パナマ	4月にパナマ船籍タンカーで日本人航海士が殺害された事件で、法務省がパナマ政府の要請に基づき、容疑者とみられるフィリピン人乗組員2人の身柄を拘束するよう命じた。同日2人は拘束され、9月6日身柄がパナマ政府に引き渡された。(YU, NE)
5・15	メキシコ	メキシコのデルベス経済相と平沼経済産業相がパリで会談、自由貿易協定に関する両国政府間交渉を開始するかどうか、10月に再度会談して結論を出すことで一致した。(YU, AH, NK)
5・16	アルゼンチン	東京・渋谷でアストル・ピアソラ没後10周年企画として、ピアソラ作曲によるタンゴ・オペラ「ブエノスアイレスのマリア」が上演された。マリア役はイタリアの歌手ミルバで、伴奏はタンゴ・セイス・アンサンブル。(-19日) (YU)
5・16	アルゼンチン	ワールドカップ日韓大会出場のため、優勝候補であるアルゼンチン・チームが来日した。キャンプ地は福島県広野町。(YE)
5・18	エクアドル	ワールドカップ日韓大会に出場するエクアドル代表チームが来日。鳥取市でキャンプを行なった。(YU, NK)
5・21	ブラジル	王子製紙の大坪相談役に、ブラジル・ミナスジェライス州から州勲章が贈られた。現地のパルプ生産会社を通じて経済発展に貢献したことが理由。(NS)
5・22	ブラジル	ブラジルのラフェル外相が来日した。(-27日) (IL)
5・22	ペルー	政府はペルー政府に対し、エンリケ・グスマン・イ・バリェ国立教育大学がLL機材および視聴覚機材を購入するため、4770万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
5・22	メキシコ	オーディオ機器メーカーのケンウッドが、海外工場の閉鎖を柱とする再建計画を発表、2003年3月末までにメキシコなど4工場を閉鎖することを明らかにした。(NK)
5・23	パナマ	三井造船は、千葉事業所で建造していたパナマ社向けのばら積み運搬船を引き渡した。載貨重量は17万7493トン。(NS)
5・24	アルゼンチン	元アルゼンチン代表のマラドーナ氏がワールドカップ日韓大会に合わせた日本訪問を断念することを明らかにした。麻薬所持での逮捕歴を理由に日本側の入国許可が下りなかったため。(YE, AE)
5・25	パラグアイ	ワールドカップに出場するため来日しているパラグアイ代表チームが、キャンプ地である長野県松本市の松本少年刑務所を訪問した。(YU)
5・28	コロンビア	矢崎総業のコロンビアの現地合弁企業、矢崎シーメルの日本人副社長誘拐事件で、コロンビアの検察庁が副社長誘拐の罪で首都圏の犯罪組織幹部を主犯として逮捕した。(AE)
5・28	アルゼンチン	アルゼンチン経済財務省は、同国政府が前年末に支払停止を宣言した円建て外債を巡り、日本の債券管理会社と債務返済交渉に向けた会合を開いたことを明らかにした。(NE)
5・31	チリ	外務省人事。小川元外務政務次官をチリ大使に任命。(YU, AE, IL)
5・31	チリ	外務省人事。成田右文駐チリ大使を駐ペルー大使に任命。(IL)

5・31	メキシコ	政府はメキシコ政府に対し、「モンテ・アルバン、パレンケ、テオティワカンその他の地域における考古学活動用機材整備計画」の実施に資することを目的として、2億3190万円を限度とする額の文化遺産無償協力を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・6	コスタリカ	政府はコスタリカ政府に対し、ナショナル大学芸術研究教育普及センターが照明・音響・記録機材を購入するため、4480万円を限度とする額の文化無償協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・6	ブラジル	プロ野球チームのダイエーホークスは、新外国人選手としてブラジル出身のアンダーソン・ゴメス投手と正式契約を交わしたと発表した。(NK)
6・6	ベネズエラ	ベネズエラ政府が、同国の天然ガス(LNG)開発事業に英蘭ロイヤル・ダッチ・シェルと三菱商事が参加することを発表した。事業会社にシェルが30%、三菱商事が8%を出資する。(NE)
6・6	メキシコ	三菱電機は、米国向けのプロジェクション(投射型)テレビを、メキシコのメヒカリの製造拠点で増産することを明らかにした。(NS)
6・6	メキシコ	キーロックメーカーのアルファが、筆頭株主である日本ケーブル・システムと共同出資の生産会社をメキシコに設立、ケレタロ州の新工場を9月に稼働すると発表した。(NS)
6・7	アルゼンチン	日本入国のためビザ発給を申請していたマラドーナ元アルゼンチン代表の入国を、ワールドカップの開催に合わせて特例的に認めることが明らかになった。マラドーナは6月28日決勝戦観戦のため来日した。(YU, YE, AE, NK)
6・7	チリ	プルトニウム・ウラン混合酸化物(MOX)燃料の海上輸送に関し、チリ当局が日本と英国の大使を呼び、荒天のホーン岬沖の通過に懸念を表明した事が明らかとなった。この燃料は製造データ改ざんが発覚し、英国が日本から燃料を引き上げることになっているもの。(NE)
6・13	ブラジル	トヨタ自動車は、ブラジルの生産拠点インダイアツーパー工場の生産能力を約4倍に増強したと発表した。(NK)
6・13	中南米	東京都千代田区で、中南米系とみられる2名の男が、ATMから現金を引き出していたカナダ人から現金100万円を奪って逃走した。(YU)
6・14	メキシコ	メキシコのユニークな人気ロック・グループ、ロス・デ・アパーホが横浜で来日公演を行なった。(AE)
6・17	メキシコ	川口順子外相が、メキシコのカスタニェダ外相と外務省で会談、10月にメキシコで開催されるアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議に合わせて、両国間の自由貿易協定(FTA)交渉を開始し、翌年の協定締結を目指す意向を表明した。(IL, NK)
6・18	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、国立プエルト・バリオス病院建設・医療機材整備計画の実施に資することを目的として、合計14億3400万円(平成14年度および15年度)を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・19	南米	埼玉県鴻巣市の海藻加工業者が中国産や南米産のワカメなどを国産と偽って販売していたことが発覚した。(NE)

6・20	チリ	金融庁が、青森銀行とみちのく銀行に対し、青森県で起きた巨額横領事件とその横領金のチリ人妻への送金に関連して、マネー・ロンダリングの疑いがある取引の届出を怠ったとして業務改善命令を発令した。(YU)
6・20	メキシコ	旭硝子が、メキシコとロシアで板ガラスを生産することを発表した。投資額は総額230億円にのぼり、メキシコでは米国子会社のAFGインダストリーズと、メキシコのガラスメーカー、ピトロ・プラノがメヒカリに共同で工場を建設する。(NK, NS)
6・21	メキシコ	東京三菱銀行とみずほコーポレート銀行は、メキシコの資源開発事業への協調融資をとりまとめる主幹事になったことが明らかにされた。融資総額は1億9500万ドル。国債金融市場で邦銀が協調融資をまとめるのは稀。(NK)
6・23	エクアドル	エクアドルのモス貿易・工業化・漁業・競争力大臣が外務省の招きで来日した。関係者との意見交換や講演など行なった。(30日) (IL)
6・24	ブラジル	アイシン精機は、ドアロックなど車体部品の生産拠点をブラジルに設立することを発表した。2003年1月に生産を開始、トヨタ自動車のブラジル工場向けに供給する。(NS)
6・25	エクアドル	政府はエクアドル政府に対し、ロハ州地下水開発計画の実施に資することを目的として、3億3200万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・25	ニカラグア	政府はニカラグア政府に対し、太平洋側地域医療センター整備計画(2/2期)の実施に資することを目的として、6億5800万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・25	ハイチ	政府はハイチ政府に対し、総額3億円を限度とする額の無償資金協力(食糧援助)を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・25	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対し、第三保健地域病院網強化計画(1/2期)の実施に資することを目的として、9億7200万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・26	アルゼンチン	埼玉信用組合が、アルゼンチン国債約12億7000万円分を購入していたことが明らかになった。(AH)
6・26	キューバ	元キューバ代表の野球選手、オマール・リナレス内野手が、中日球団に入ることが明らかとなった。キューバ人選手が日本のプロ野球界入りするのは初めて。(YE, AE, NK)
6・27	アルゼンチン	人気タンゴ楽団フアン・ダリエンス楽団出身のバンドネオン奏者、カルロス・ラサリ率いる五重奏団「ロス・ソリスタス・デ・ダリエンス」が歌手とダンサーを加え来日公演を行なった。(AH)
6・27	ベネズエラ	情報技術関連機器の開発・設計受託業のウインズが、ベネズエラに現地法人を設立することを発表した。時差を利用した納期短縮を図る。(NS)

6・28	アルゼンチン	福岡県信用農業共同組合連合会(JA福岡信連)が、2002年3月期決算を発表、アルゼンチン債を簿価ベースで190億円あまり所有していたため、その処理で154億円の損失を計上した。(NK)
6・28	コロンビア	コロンビア・ボゴタ地方裁判所は、矢崎総業のコロンビア現地合弁企業の副社長、村松治夫さんが誘拐され人質になっている事件で、誘拐罪などで起訴された犯罪組織カルボスのメンバーら2人に禁固32年の刑を言い渡した。(NE)
6・28	ドミニカ共和国	プロ野球の中日は、米大リーグ、インディアン傘下の3Aから、ドミニカ共和国出身のマーチン・バルガス投手を獲得したことを発表した。(NK)
6・28	ボリビア	政府はボリビア政府に対して、コチャバンバ母子医療システム強化計画の実施に資することを目的として、総額18億3600万円(平成14年度および15年度)を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
6・30	アルゼンチン	警察庁がワールドカップ開催期間中の公務執行妨害などによる逮捕者数を発表。中南米ではアルゼンチン人2名が逮捕された。(NE)
6・30	ブラジル	ワールドカップ日韓大会の決勝戦が横浜で行なわれ、ブラジルがドイツを2対0で下し2大会ぶり5度目の優勝を果たした。(YU, NK)
7・5	パナマ	川崎重工業は、坂出工場で建造していたパナマ社向けの大型ばら積み運搬船を引き渡した。載貨重量は18万5820トン。(NS)
7・8	グレナダ	政府はグレナダ政府に対して、グレンビル水産物流通改善計画の実施に資することを目的として、14億100万円(平成14年度および15年度)を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
7・9	ブラジル	横浜市の外郭団体、港北ニュータウン生活対策協会が保有していたブラジル債1億5000万円分を含む4ヶ国の低格付け円建て債をすべて売却していたことが判明した。アルゼンチン債が流動性を失ったことで、横浜市は格付けの低い債権に投資しないよう通達していた。(NK)
7・12	キューバ	政府はキューバ政府に対して、キューバ国营テレビ・ラジオ協会が番組ソフト(教育番組およびドキュメンタリー番組)を購入するため、3600万円を限度とする額の文化無償協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
7・15	キューバ	元キューバ野球代表チームの主砲、オマール・リナレス内野手が中日に入団、1軍の練習に初参加した。19日ウエスタン・リーグでデビューを飾ったが、3打数0安打に終わった。(AH, NK)
7・16	ブラジル	システム開発のインテック・アンド・ゲノム・インフォマティクス(W&G)は3月の公募増資で調達した資金を活用し、海外事業を強化することを明らかにした。米国とブラジルの子会社の資本を合計で約3億円増強する。(NK)
7・16	メキシコ	メキシコの詩人で国際ペンクラブ会長のオメロ・アリディス氏が来日、東京で記念講演を行なった。(YE)

7・16	メキシコ	新ダイワ工業が北米向けの刈り払い機をメキシコで生産することを検討していることを発表した。(NK)
7・17	コロンビア	警視庁捜査第三課などが、東京都在住のコロンビア国籍の男女3人を窃盗の疑いで逮捕した。都内などでの約100件の犯行を自供している。(NE)
7・17	ブラジル	慶應大学医学部の学生団体「国際医学研究会」のメンバー4人がベラルーシ共和国とブラジルでの2ヶ月にわたる医療研修に出発することが明らかになった。ブラジルではアマゾン川での巡回診療船に同乗する。(YE)
7・18	ペルー	政府は寒波により被害を受けたペルー政府に対し、先方の要請に応じ緊急援助物資としてテント、毛布、プラスチック・シート(約1300万円相当)の供与を行なうことを決定した。(IL)
7・20	ブラジル	日本サッカー協会は理事会で、鹿島総監督のジーコ氏の日本代表監督への就任を正式に決めた。(AH)
7・23	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対し、第二次地方浄水場改修計画(2/2期)の実施に資することを目的として、8億8300万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
7・25	メキシコ	日本＝メキシコ間の自由貿易協定締結の可能性を検討していた両国産官学の「日墨共同研究会」が、「日墨の経済関係強化にはFTA締結が望ましい」として、両国政府にFTA締結を提言した。(YU, AE, IL)
7・29	ブラジル	東洋エンジニアリング(TEC)はブラジル石油公社から減圧残さ油熱分解装置を受注した。受注額は約60億円。2005年10月-12月に完成の予定。(NS)
7・31	ブラジル	広島あるいは長崎で被爆した後、ブラジルに移住した日本人7人が、出国を理由に打ち切られた健康管理手当て計1100万円の支払いを、国、広島県、愛知県、東京都、広島市に求め、広島地裁に提訴した。在ブラジルの被爆者の提訴は2件目となる。(YE)
8・1	中南米	外務省人事。石田仁宏在スペイン日本国大使館公使を中南米局参事官に任命した。(IL)
8・5	メキシコ	印刷機械製造の宇野製作所は8月から10月にかけて、メキシコなど4ヶ国にパスポート自動製造機を納入することを明らかにした。1984年以降、日本のパスポートはすべて同社製の自動製造機で製本されている。(NK, NS)
8・6	チリ	青森県住宅供給公社の元主幹による巨額横領事件で、同公社が主幹の横領金を受け取っていたチリ人妻アニータ・アルバラードさんを、チリの国内法に基づき、公正証書原本不実記載等容疑で、サンティアゴ地裁に告訴したことを明らかにした。(YE, AE)
8・8	コロンビア	フランシスコ・サントス副大統領が植竹外務副大臣とボゴタで会談、対テロ戦争に関する経済面での援助を求めた。(YU)

8・8	ブラジル	日本のJリーグ1部、柏レイソルの次期監督に、ブラジルのクルゼイロを率いるマルコ・アウレリオ氏が就任することが明らかになった。(NK)
8・9	ニカラグア	政府はニカラグア政府に対して、レオン市立劇場が音響機材を購入するため2470万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
8・14	メキシコ	自動車部品製造の清水工業が、10月からメキシコシティ近郊に販売会社を立ち上げ、金型販売を始めることを明らかにした。清水工業は1999年メキシコに工場を建設し、自動車部品を製造している。(NK, NS)
8・19	ベネズエラ	ダイハツ工業はベネズエラでの小型車「テリオス」の生産・販売を前年度比2倍にすることを明らかにした。税制面での優遇措置などがある「国民車」の指定を受け、販売が好調なため。(NS)
8・20	ガイアナ	政府はガイアナ政府に対して、ニューアムステルダム病院再建計画(1/2期)の実施に資することを目的として、総額7億300万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
8・20	ブラジル	外務省が大使館・総領事館の新設・統廃合3ヶ年計画をまとめて発表、ブラジルのポルトアレグレ総領事館が2005年度に廃止されることが決定した。(AH)
8・21	ブラジル	三菱商事のブラジル現地法人の子会社で、EDI(電子データ交換)サービスを手がけるアクセスステージ(サンパウロ市)は、同国初の港湾EDIを受注した。(NS)
8・21	ペルー	フジモリ元大統領の義弟で、元大統領の公金横領容疑に関わったとして逮捕状が出ていたビクトル・アリティ元駐日大使について、リマの裁判所は証拠不十分などを理由として刑事裁判には入らず、事実上無罪の決定を下した。(AH)
8・22	メキシコ	シャープが2005年までにメキシコのブラウン管テレビ工場で、液晶テレビの組み立て生産を開始すると発表した。スペイン・中国の工場ではすでに生産を開始している。(NK)
8・22	メキシコ	国際協力銀行は、メキシコ外国貿易銀行(BANCOMEXT)との間で、総額2億5000万米ドルを限度とするアンタイドローンの貸付契約に調印した。(IL)
8・24	メキシコ	アジア太平洋経済協力会議(APEC)中小企業相会合が、メキシコ・アカプルコで開催された。日本からは松あきら政務官が出席した。(-25日)(YU)
8・27	ブラジル	ブラジル政府が2001年に発行した第12回円建て外債の利払いを翌日に控えた債券管理会社であるUFJ銀行が、利払い分37億5000万円の入金を確認したことを明らかにした。(NK)
8・28	ベネズエラ	石油公団が、出融資先のニッポン・オイル・エクスプロージョンを精算すると発表した。新日本石油が中心となってベネズエラのラ・セイバ鉱区で原油生産を目指したが、事業で採算が見込めない事を受けたもの。(NK)

8・28	メキシコ	米製菓大手のシェリング・ブラウが、小野薬品工業の気管支ぜんそくとアレルギー性鼻炎の治療薬の販売をメキシコで開始したことが明らかになった。小野薬品工業は2000年に中南米での開発・販売権を供与していた。(NS)
8・29	チリ	青森県住宅供給公社の14億円着服事件で起訴された千田被告のチリ人妻、アニータ・アルバラードさんの自宅がサンティアゴ裁判所によって競売にかけられ、4億5000万ペソ(約7400万円)でチリ人の実業家によって落札された。(YU, AH)
8・31	ドミニカ共和国	東京税関成田支署と千葉県警は、ワシントン条約で取引が禁止されている海亀の一種、タイマイの甲羅をドミニカ共和国から航空宅配便で密輸しようとしたとして日本人3人を逮捕した。(NE)
8・31	ブラジル	島本要カトリック長崎大司教が死去。享年70歳。同司教はローマ教皇庁の外交官としてブラジルの教皇館に勤務していたことがある。(NK)
9・2	ブラジル	日本で就労する日系ブラジル人を取り巻く問題を話し合う国際シンポジウムがブラジル・サンパウロで開催され、労働条件改善や子弟に対する教育支援を盛り込んだ「サンパウロ宣言」を採択した。日本からは慶應大学の教授や浜松市長らが出席した。(NK)
9・4	ブラジル	丸紅と伊藤忠商事が、ブラジルの国営石油会社ペトロブラスの子会社トランスペトロにタンカーを貸与することが明らかになった。2社で中古船を購入し、10年間貸し出すもの。(NK)
9・6	パナマ	政府はパナマ政府に対して、小規模漁業開発計画の実施に資することを目的として、4億4900万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
9・9	ブラジル	自動車部品製造のミツバが、二輪車用部品の工場を運営する新会社「ミツバ・ド・ブラジル」をアマゾナス州マナウスに設立したと発表した。ブラジルのホンダ工場向けにスターターなどを供給する。(NK)
9・10	ブラジル	ホンダ系の自動車部品メーカーである武蔵精密工業が、ブラジルにミッション部品などを生産する工場を建設すると発表した。ホンダの現地生産拠点に販売する。(NS)
9・10	ペルー	ペルーで1980年から2000年までに軍などが起こした拷問や虐殺などの人権侵害事件をめぐり来日した、同国の「真相究明委員会」のサロモン・レルネル委員長が、記者会見でフジモリ元大統領と会見できなかったことを明らかにした。(AH)
9・11	メキシコ	村田製作所は、電子部品の販売子会社「ムラタ・エレクトロニクス・トレーディング・メキシコ」をメキシコに設立、10月から営業を開始すると発表した。(NK, NS)
9・13	コロンビア	アルバロ・ウリベ大統領が国連本部で小泉首相と会談、自由貿易協定の締結を提案した。(YU, NE)
9・17	ブラジル	二輪車用計器のトップメーカー、日本精機が全額出資する生産会社ニッポンセイキ・ド・ブラジルを設立、生産を開始したことを明らかにした。ホンダなど日系メーカーに計器を販売する。(NS)

9・18	キューバ	キューバのエルネスト・メレンデス駐日大使、同国野球連盟のホセ・ロドリゲス・ヒメネス対日交渉担当が、コミッショナー事務局で川島コミッショナーらと会談し、両国間の選手協定作りに向けた交渉を行なった。(YU)
9・19	ブラジル	東京のブラジル大使公邸で、ピアニストの鈴木裕子さんにブラジル政府から贈られたリオ・ブランコ国家勲章の「カバレイロ位」の授与式が行なわれた。演奏会でブラジルのピアノ曲を積極的に取り上げたことが評価されたもの。(YU)
9・20	アルゼンチン	石原産業が、アルゼンチンの現地子会社石原アルゼンチナの農薬販売事業を年内に休止すると発表した。通貨ペソの急落により、売上高が減少したため。(NS)
9・20	ウルグアイ	外務省人事。中村義博通関情報処理センター監事をウルグアイ大使に任命。(IL, YU, AE)
9・20	メキシコ	トヨタ自動車は、2005年からメキシコ・ティファアナ市近郊に建設した新工場で小型トラック「タコマ」の生産を始めると発表した。(NK, NS)
9・25	ブラジル	オリンパス光学工業は、ブラジルに内視鏡や医療用顕微鏡など医療機器を販売する子会社「オリンパス・ブラジル」を設立したと発表。(NS)
9・25	ブラジル	オリンパス光学工業は、中南米市場向けに医療機器を販売する子会社「オリンパス・ラテンアメリカ」を設立したと発表。(NS)
9・26	ペルー	政府はペルー政府に対し、国立シカン博物館が研究・保存・保管機材を購入するため、4310万円を限度とする額の文化無償協力を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
9・27	エクアドル	外務省人事。平松弘行氏をエクアドル大使に任命。(AE)
9・27	ブラジル	丸紅は三菱重工業と共同で、ブラジルの大手製鉄会社、ツバロン製鉄所からガス発電設備を受注したと発表した。(NK)
9・27	メキシコ	国際協力銀行は、三菱商事および仏イー・ディー・エフ・インターナショナルの共同出資によるメキシコ法人エレクトリシダ・アギラ・デ・アルタミラとの間で総額1億9675万米ドルの貸付契約に調印した。(IL)
9・30	エクアドル	外務省人事。平松弘行バルセロナ総領事をエクアドル大使に任命。(IL, YE)
10・2	ペルー	ペルー政府が、ペルーに輸出した日本製のパトカー約1700台をめぐる、三井物産と丸紅に対し詐欺の疑いで捜査を開始していたことが明らかになった。両者は容疑を否定している。(AH)
10・8	グアテマラ	政府はグアテマラ政府に対して、国家文民警察学校機材整備計画の実施に資することを目的として、総額1億8900万円を限度とする額の無償資金協力を行なうこととし、このための書簡を交換した。(IL)
10・10	パラグアイ	首都アスンシオン近郊にある「ニホン学校」の児童、教諭ら23人が板橋区立大谷口小学校を訪問した。(YU)
10・11	チリ	三菱製紙は、国際的な環境NGOの森林管理協議会(FSC)から、チリの自社植林地が環境に配慮して管理している森林であるとの認証を取得した。(NS)

10・11	メキシコ	平沼経済産業相が、メキシコで開かれるアジア太平洋経済協力会議(APEC)の閣僚会合に出席しない方針をあきらかにした。東京電力の原発自主点検記録改ざん問題などに対する答弁を求められており、日程調整が困難なため。(YU)
10・12	チリ メキシコ	外務省が策定した「自由貿易協定(FTA)戦略」指針を発表。メキシコとのFTAの早急な交渉開始の必要、チリとの締結に対する好意的な評価などが盛り込まれた。(YU)
10・12	ブラジル	ダイキン工業が予定していたブラジルでの業務用空調機の生産開始をほぼ1年延期し、2004年から行なうことを発表した。政情不安や経済的混乱に対応したもの。(NK)
10・16	コロンビア	国際協力銀行は、コロンビア政府が実施するコロンビア太平洋鉄道リハビリプロジェクト向けの総額1億2000万ドルを限度とする民間シンジケートローン(みずほコーポレート他7行による貸付)に対する保証契約を調印した。(IL)
10・18	チリ	三菱電機が、グループ企業と共同で、チリに合弁のエレベーター販売拠点を設立することを発表した。(NS)
10・20	中南米	中南米を初めて巡演していた文楽一行が3週間に及んだ公演の千秋楽を迎えた。6都市で15回公演を行ない、観客はのべ約1万人にのぼる。(AH, NE)
10・21	チリ	リカルド・ラゴス大統領が日本の新聞との記者会見で、日本との自由貿易協定について政府間交渉に向けた強い意欲を表明した。(YU)
10・23	アルゼンチン	財団法人札幌交響楽団が基金運用の一環として、アルゼンチン国債3000万円分を保有していることが明らかになった。4億円の累積赤字を抱える同交響楽団の再建への影響が懸念される。(NK)
10・23	ベネズエラ	政府はベネズエラ・ボリバル政府に対して、ベネズエラ交響楽団が楽器を購入するため、4480万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
10・26	メキシコ チリ	メキシコ・ロスカボスでアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議が行なわれた。その後小泉首相はチリのラゴス大統領、メキシコのフォックス大統領とも会談、自由貿易協定(FTA)の2003年締結に向けた政府間交渉の開始で合意した。(IL, YU, AH, NE)
10・28	ベネズエラ アルゼンチン	帝国石油が、ベネズエラで天然ガスの探鉱・開発事業に参加すると発表した。首都カラカスの南西約200キロにある鉱区の権益の50%をアルゼンチンの石油開発会社から買い取ったもの。(AH, NS)
10・30	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国に対して、低開発地域上水道施設改修計画の実施に資することを目的として、5億5400万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
10・30	ブラジル	阪和興行が、2002年9月中間期に、ブラジル国債の評価損を約15億円計上したことが明らかになった。(NK)

11・1	ベネズエラ	東京都内各所で「ベネズエラ文化週間」が開催された。ダリラ・コロomboとエル・クアルテートのコンサート、ベネズエラ映画祭、オスバルド・ビーガス絵画展などが催された。(9日)(YE)
11・3	コスタリカ	1949年に憲法で常備軍を廃止したコスタリカの故フィゲレス元大統領の未亡人、カレン・オルセン元国連大使が来日、都内で対話集会が開かれた。(YU, AH)
11・3	中南米	秋の叙勲で、ブラジル、パラグアイなどの在中南米の邦人5人、ニカラグア人、アルゼンチン各1人が受章した。(AH, NK)
11・4	メキシコ	三菱電機と三菱商事が、欧米の鉄道車両メーカー2社と共同で、メキシコ市の地下鉄車両450両を受注した。受注総額は5億5000万ドル。(NK)
11・4	中南米	警視庁が、金融機関で客の足元に金をばら撒き、注意をそらして現金などを盗む「途中狙い」と呼ばれる窃盗事件について、訓練を積んだコロンビア系を中心に中南米系外国人30人を逮捕したと発表。メンバーは観光目的で来日し、千葉県内のアジトで訓練を重ねていた。(YU)
11・5	カリブ地域	第9回日・カリブ協議が東京で行われた。(6日)(IL)
11・5	パナマ	川崎造船は、パナマ社から受注し、坂出工場で建造していた液化天然ガス運搬船を引き渡した。(NS)
11・6	カリブ地域	日本貿易振興会(JETRO)が、カリブ共同体(CARICOM)との共催で、ジェトロ赤坂会場で「カリブ展」を開催した。11ヶ国、約50社が参加した。(YU)
11・6	チリ	チリのアルベアル外相が来日、外相会談などを行った。(9日)(IL)
11・7	コロンビア	コロンビアの警察当局は、首都ボゴタの国際空港から出国しようとした日本人男性がコカイン約1キロを所持していたとして、麻薬密輸の疑いで現行犯逮捕した。(AE)
11・7	ブラジル	東京税関成田支署と新東京国際空港署は、パラグライダーのパラシュート部分にコカイン約4.8キロを隠して日本に持ち込もうとしたブラジル人を麻薬取締法違反などの容疑で逮捕した。(NE)
11・8	キューバ	野球の第15回インターコンチネンタル杯がハバナのラテンアメリカ球場で開幕。日本も参加し、9日にドミニカ共和国と対戦した。(AE)
11・8	チリ	政府はチリ政府に対して、サンティアゴ市立劇場がモニタリング・音響・照明機材を購入するため、4940万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
11・13	ホンデュラス	政府はホンデュラス政府に対して、マヌエル・ボニージャ国立劇場が照明・音響機材を購入するため、4990万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
11・15	エクアドル	政府は大規模な火山噴火災害に見舞われたエクアドル政府に対し、約1290万円相当の緊急援助物資を供与することを決定した。(IL)
11・15	ブラジル	ブラジル政府が二輪車をテーマにした切手を発行、スズキ、ホンダ、ヤマハなどの代表的車種がデザインに使用されている。(NK)

11・17	ベネズエラ	ベネズエラの首都カラカスの南西約700キロのサンクリストバル在住の日系人と日本人の夫婦が、何者かに拉致された。翌日警察が監禁現場を突き止め銃撃戦となり、夫が巻き込まれて死亡、妻は誘拐されたまま所在がわかっていない。(YE, AE, NE)
11・17	メキシコ	メキシコ・ユカタン半島の鍾乳洞であるイクキル地底池で、新婚旅行中の邦人夫婦が遊泳中に落石を受け死亡した。(YE, NE)
11・18	メキシコ	日本とメキシコ両国は、自由貿易協定締結に向けた第1回政府間交渉を都内で開いた。(YU)
11・19	キューバ	キューバ野球連盟のカルロス・ロドリゲス会長が、次季以降日本のプロ野球球団に現役代表選手の派遣はありえないことを言及した。コミッショナー事務局長からの協定締結の申し入れに応えたもの。(NK)
11・19	ペルー	日本滞在中のアルベルト・フジモリ元ペルー大統領が、インターネットのホームページを通じて声明を発表。政界復帰に強い意欲を示し、2006年に予定される次期大統領選に出馬の意向を示した。(YE)
11・19	メキシコ	米国、カナダ、メキシコの各大使館が、都内で「北米自由貿易協定(NAFTA)と北米市場の統合」をテーマにした合同シンポジウムを開いた。(NK)
11・20	アルゼンチン	サッカーのキリンカップが行なわれ、日本代表とアルゼンチン代表が対戦、アルゼンチンが2対0で勝利した。(YE, AH)
11・24	ペルー	日本の天文学者らの協力で、ペルーに口径60センチの大型望遠鏡を設置する計画が進んでいることが明らかになった。完成後は日本との共同研究も計画されている。(NK)
11・26	アルゼンチン	大晦日に行なわれる第53回紅白歌合戦の出場者が発表され、白組としてアルゼンチンのアルフレド・カセーロが宮沢和史のTHE BOOMとの共演で初出場を果たすことが決まった。曲目はカセーロがアルゼンチンでヒットさせた「鳥唄」。(AH)
11・26	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国のメヒア大統領が来日、小泉首相との会談などを行った。(12月1日)(IL)
11・27	キューバ	フジテレビ系の子供向け番組「ボンキッキーズ21」で使用され、話題となったキューバのロス・コンパドレスが歌う「やきいもの歌」がCDで発売された。この曲は76年に来日したロス・コンパドレスが日本の焼き芋屋を見て作ったもの。(AH)
11・27	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府に対し、シバオ劇場が音響機材を購入するため、4030万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
11・28	ウルグアイ	棕本伊三郎元ウルグアイ大使が死去。享年84歳。(YU, AH)
12・3	パナマ	政府はパナマ政府に対して、パナマ大学芸術学部音楽学校が楽器を購入するため、3510万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)

12・6	ペルー	ペルーの働く子どもたちの団体「ナソップ」のメンバーである13歳から18歳までの4人の子どもたちが来日、フリースクール、東京シューレの施設で交流会が行なわれた。(AH)
12・10	ブラジル	外務省人事。長島浩平領事移住部企画官をポルトアレグレ総領事に任命。(IL)
12・11	ホンデュラス	カルロス・マヌエル・セロン新駐日ホンデュラス大使が、天皇陛下に着任状を捧呈した。(IL)
12・13	中南米	スペイン・中南米文学の翻訳者として知られる牛島信明琉球大学教授が死去。享年62歳。(YU, AE)
12・16	ドミニカ共和国	政府はドミニカ共和国政府の予防接種拡大計画の実施に資することを目的として、ユニセフに対し、2億4500万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
12・20	アルゼンチン	アルゼンチン政府が、計1915億円の円建て国債のうち、20日に償還期限を迎えた500億円分の返済に応じなかった。(YE)
12・20	エルサルバドル	外務省人事。細野昭雄元神戸大学教授をエルサルバドル大使に任命。(IL, AE, NE)
12・20	コロンビア	警視庁保安課は、1999年2月からコロンビア人女性約400人を日本全国30ヶ所のストリップ劇場に送りこんでいたとして、31歳の日本人男性を入管難民法違反(不法就労あっせん)の疑いで逮捕した。(YE)
12・20	ブラジル	日系ブラジル人三世が経営する浜松市のアイ・ビー・フォックスが、静岡県磐田市に食肉加工品の新工場を建設すると発表。日系ブラジル人向けのみならず日本人向け市場の開拓を試みる。(NK)
12・20	メキシコ	東京・初台の新国立劇場で、メキシコの女性画家フリーダ・カロを描いた2つのダンス作品が上演された。前田清実振り付けの「十二人のフリーダと三人のディエゴ」および岡田昌巳スペイン舞踊団による「フリーダ・カロ」の2作品。(-23日)(YE)
12・24	ベネズエラ	日本政府は、チャベス大統領の辞任を求めるゼネストと大規模なデモを懸念し、ベネズエラ在住の邦人に対して国外退去を勧告した。(YU)
12・24	ペルー	味の素が10月28日にリマ近郊のカヤオ工場で生産・販売を開始した即席麺事業が好評なのを受けて、2003年中にも製品の種類を3品目から6品目に拡大することを発表した。(NK, NS)
12・25	メキシコ	水産商社の道水が、メキシコ・エンセナーダに会社を設立、マグロの蓄養事業を開始したことを発表した。(NK)
12・25	メキシコ	東レ子会社の東レインターナショナルが、メキシコに全額出資の新会社を設立し、2003年2月から営業を始めると発表した。樹脂やフィルムなどを現地の自動車部品、家電メーカーに販売する。(NS)
12・25	メキシコ 中南米	メキシコ生まれでラテンアメリカ文学の研究者として知られたエクトル・ルエダ・デ・レオン青山大学教授が死去。享年66歳。(AH)

12 . 26	エクアドル コロンビア	サントリーの全額出資子会社サントリーフラワーズがエクアドルとコロンビアで生産した、遺伝子組換え技術を用いた青色系カーネーション「ベルベットブルー」を首都圏などで発売した。(NS)
12 . 30	チリ	住友ゴム工業は、2003年1月にチリの首都サンティアゴ市に駐在員事務所を開設すると発表した。住友ゴム工業は2002年7月に南アフリカダンロップから中南米地域の商標権を買い取っている。(NS)

(以上252項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞・雑誌の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

雑誌名
ラテン・アメリカ時報 IL

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌—2003年—
Author(s)	
Journal	イペロアメリカ研究, 26(2)
Issue Date	2005-01-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9544
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－2003年－

月 日	国名	記事
1 . 6	キューバ	日本政府および国連が、国連開発計画 (UNDP)が実施する「キューバ共和国のSTI(性感染症)／HIV／AIDS予防計画強化の支援」プロジェクトに対し、人間の安全保障基金を通じて、103万ドルの支援を行うことを決定した。(IL)
1 . 11	チリ	新日鉱ホールディングス傘下の日鉱金属は、2003年中にも銅精錬の試験プラントをチリに建設すると発表した。(NK)
1 . 12	メキシコ	通信・放送機構 (TAO)が、2004年度からメキシコの研究機関と共に、マヤ・アステカ時代の古文書をデジタル化して保存する共同研究作業を始めることが明らかになった。(NK)
1 . 14	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジル法人ツバロン製鉄との間で、総額3900万ドルを限度とする貸付契約に調印した。この融資はビー・エヌ・ピー・パリバ銀行東京支店との協調融資である。(IL)
1 . 15	ブラジル	川崎重工業と丸紅はブラジル最大の民間製鉄所、ツバロン製鉄所から転炉ガスの回収システムを受注した。受注額は約30億円。(NK)
1 . 17	チリ	チリ領イースター島南西部ピナブ地区で、日本人男性観光客がモアイ像に名前を彫り、地元警察に文化財法違反で逮捕された。裁判官の尋問を受けた後、釈放され帰国した。傷は修復不可能で、文化遺産審議会は日本政府に苦情を申し立てることを決定した。(YE)
1 . 19	メキシコ	メキシコ市東部の幹線道路で、メキシコ市在住の鮮魚卸売業の邦人従業員が銃撃され、即死した。(YE)
1 . 22	ブラジル	商船三井の現地法人MOLブラジルがパラナ州クリチバ市に支店を開設、営業を開始した。(NS)
1 . 22	メキシコ	同和鉱業は、メキシコで現地企業と運営する亜鉛・鉛鉱山のレイデプラタ鉱山を閉山すると発表した。亜鉛価格の低迷に伴い、2001年末から操業を休止していた。(NS)
1 . 24	メキシコ	日本政府はコリマ地方の地震で大きな被害の出たメキシコに対し、テント、毛布、寝袋など1200万円相当の物資を援助すると決めた。(IL, AE)
1 . 27	アルゼンチン	ディスカウントストアのダイゼンは、アルゼンチンから乾燥パスタなどの加工食品の直接買い付けに乗り出すと発表した。4月をめぐりに全9店で発売する。(NS)
1 . 27	メキシコ	上野動物園の雄のジャイアントパンダ「リンリン」が繁殖のため、メキシコシティに向け出発した。4月26日に帰国。(YU, AH)

1・31	ペルー	日本政府は、洪水により被害を受けたペルー政府に対し、1300万円相当の緊急援助物資の供与を行うことを決定した。(IL)
2・3	キューバ	オランダ・エルナンデス・ギジェン新駐日キューバ大使が国事行為臨時代行皇太子殿下に信任状を捧呈した。(IL)
2・8	グアテマラ	森純造元駐グアテマラ大使が死去。享年87歳。(YU, AH)
2・12	チリ	ラゴス大統領が来日し、小泉総理他と会談を行い、二国間の経済関係を強化することで一致した。(-15日)(IL, AH)
2・18	コロンビア	神奈川県警生活経済課と伊勢佐木署は、ストリップ劇場に出演していたコロンビア人の女性ダンサー1名を出入国管理法違反で東京入国管理局に引き渡した。(AH)
2・18	ブラジル	日本に住む日系ブラジル人に関する初の外務省主催の公開シンポジウムが東京で行なわれた。(AH)
2・18	ブラジル	東京税関成田支署と千葉県警は、合成麻薬MDMA約30000錠を密輸しようとしたとして、日系ブラジル人三世を逮捕した。(NK)
2・20	ブラジル	外務省人事。柴田進在ホンデュラス日本国大使館参事官をレシフェ総領事に任命。(IL)
2・20	ブラジル	外務省人事。青柳興政在バンクーバー総領事をベレン総領事に任命。(IL)
2・20	ブラジル	外務省人事。高橋勇在南アフリカ日本国大使館参事官をマナウス総領事に任命。(IL)
2・24	ベリーズ	愛知県は、ベリーズが2005年の愛・地球博(愛知万博)への参加を表明したことを明らかにした。(YU)
2・26	ブラジル	松下電子部品がブラジル・マナウス市にスピーカーなどを生産する新会社を設立し、4月に稼働すると発表した。(NK)
2・27	メキシコ	三菱電機はデスクトップ型パソコンのディスプレイ用ブラウン管を製造するメキシコのバハカルフォルニア州工場を翌年3月までに精算・閉鎖すると発表した。(YU)
2・27	メキシコ	三菱電機は、パソコンモニター用のブラウン管を生産するメキシコのグループ会社と米統括子会社を2004年3月末に清算すると発表した。(NK)
2・28	ブラジル	前川製作所がブラジル国営石油会社ペトロプラスから石油プラント用随伴ガス処理装置の運用事業を受注した。(NS)
3・1	キューバ	カストロ国家評議会議長が日本を訪問した。小泉首相との会談の他、広島も訪問した。(-4日)(IL, YU, AH)

3・8	ペルー	国際刑事警察機構(インターポール)が日本滞在中のフジモリ元ペルー大統領を、殺人容疑などで国際手配したことをアルバラド法相が明らかにした。(YE, AH)
3・12	アルゼンチン	アルゼンチン経済財務省のギジェルモ・ニールセン金融次官が来日、東京で投資家説明会を開いた。同国の円建て外債(サムライ債)について、5月の新政権発足までに返済案をまとめ6月に投資家に提示したいとした。(NK)
3・14	ボリビア	日本政府は、ボリビア政府に対し4億2000万円を限度とする額の無償資金協力(食料増産援助)を行うこととし、このための書簡の交換が行われた。(IL)
3・18	ブラジル	国際協力銀行が、ブラジルにおいてブラジル国立経済社会開発銀行(BNDES)との間で、総額3億ドルを限度とするアンタイトローンの貸付契約に調印した。この融資は民間金融機関7行との協調融資である。(IL)
3・18	ブラジル	国際協力銀行と東京三菱銀行などの民間銀行7行が、ブラジルの国立経済社会開発銀行に3億ドルを上限とする協調融資を実施する。(NK)
3・18	中米	東京・上野の国立科学博物館で「神秘の王朝 マヤ文明展」が開催された。(5月18日)(AH)
3・20	ニカラグア	日本政府はニカラグア政府に対し、「第三次児童保健強化計画」の実施に資することを目的として、4億3000万円を限度とする額の無償資金協力をを行うこととし、このための書簡の交換が行われた。(IL)
3・25	メキシコ	国際協力銀行は、ウニオン・フェノサ・インテルナシオナルが出資するメキシコ法人フェルサ・イ・エネルヒア・デ・トゥクспан(FET)の間で、総額約3億2000万ドル限度の貸付契約を調印した。(IL)
3・25	メキシコ	外務省人事。西村六善アフガニスタン支援調整担当兼地球環境問題担当大使をメキシコ大使に任命。(IL, YE, AE)
3・26	エクアドル	日本政府は、エクアドル政府に対し、5億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・26	ニカラグア	愛知県は、ニカラグアが2005年の愛・地球博(愛知万博)への参加を表明したことを明らかにした。(YU)
3・26	ホンデュラス	日本政府は、ホンデュラス政府に対し、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
3・27	メキシコ	国際協力銀行は、メキシコのテルメックス社との間で、総額6億ドルを限度とするアンタイトローンの貸付契約に調印した。この融資は、日本の民間金融機関8機関との協調融資である。(IL)

3・28	中南米	日本政府は、世界食糧計画(WFP)を通じ、99億3300万円の食糧援助を行うこととし、このための書簡が交換された。この中には中央アメリカ被災民への援助3億円、コロンビア国内避難民への援助2億円が含まれている。(IL)
3・29	メキシコ	神戸製鋼所はメキシコの溶接機器メーカー、インフラ社と、溶接材料の販売と技術協力で提携すると発表した。(NK)
3・31	アルゼンチン	松下電器産業がアルゼンチンの販売会社「パナソニックアルゼンチン」を解散し、ブラジル子会社の営業支店とすることを発表した。(NS)
3・31	コロンビア	外務省人事。林渉元千葉大学教授をコロンビア大使に任命。(IL, YU)
3・31	コロンビア	フランシスコ・ホセ・シエラ新駐日コロンビア大使は、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
4・1	メキシコ	三菱重工業はメキシコのモレロス石油化学からポリエチレン製造プラントを受注したと発表した。受注額は約130億円。(NS)
4・2	ボリビア	図書館を通じて子どもたちに読み書きを教えているボリビアの「シスター・ライブラリー」プロジェクトが第16回朝日国際児童図書普及賞に選ばれ、イタリアのポローニャで行なわれた国際児童図書展で授賞式が行なわれた。(AH)
4・8	ニカラグア	日本政府は、ニカラグア政府に対し、食糧増産に資することを目的として、3億7000万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
4・17	コロンビア	警視庁捜査三課と築地署は、コロンビア人の男女4人を窃盗などの疑いで逮捕した。(YU, AE)
4・21	グアテマラ	日本政府はグアテマラ政府に対し、4億円を限度とする額の無償資金協力(食糧増産援助)を行うこととし、このための書簡を交換した。(IL)
4・21	ハイチ	日本政府はハイチ政府に対し、「食糧援助」および「食糧増産援助」のため、総額5億8000万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡の交換が行われた。(IL)
4・23	ブラジル	ホンダがブラジルでスモールカー「フィット」の生産・販売を始めたと発表した。フィットの海外生産は初めて。(NK)
4・24	ブラジル	川崎重工業が、ブラジルの旅客機主翼組み立て工場が完成したと発表した。エンブラエルが開発中の小型機向けの主翼を生産する。(NS)
4・25	エクアドル	アドルフ・アルバレス・ビジャゴメス新駐日エクアドル大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
4・25	チリ	日本ユニパックホールディング傘下の日本製紙と住友商事は、両社がチリで整備してきた植林地から製紙原料用のチップの出荷を始めたと発表した。(NS)

4・29	中南米	政府が春の叙勲受章者を発表、中南米在住の邦人3名、ブラジル人1名、ベネズエラ人1名が受章した。(YU)
4・30	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジル政府との間で、ブラジル国家統合省が実施する「東北伯水資源開発事業」の所要資金として、総額35億9500万円限度の円借款貸付契約を調印した。(IL)
5・1	アルゼンチン	日本政府は、洪水により被害を受けたアルゼンチン政府に対し、約1600万円相当の緊急援助物資の供与を行うことを決定した。(IL)
5・1	アルゼンチン	別府で「第5回別府アルゲリッチ音楽祭」が開催された。総監督でもあるピアニスト、マルタ・アルゲリッチは7日に体調不良のため来日を取りやめる旨発表を行ったが、遅れて11日に来日した。(YU, YE)
5・2	コロンビア	国際協力銀行はコロンビア貿易銀行 (BANCOLDEX)との間で、総額5000万ドルを限度とするアンタイドローンの貸付条約に調印した。この融資は民間金融機関との協調融資である。(IL)
5・6	ベネズエラ	ソフト開発のACCESSが、ベネズエラの携帯電話会社テルセルベルサウスに、携帯電話によるネット接続サービスを実施するのに必要なソフトウェアを提供したと発表した。(NK)
5・8	ブラジル	王子製紙が、同社の大坪孝雄相談役がブラジルから同国最高クラスの国家勲章を受章したと発表した。ブラジルでの植林や製紙用パルプ生産などに携わった実績が評価された。(NS)
5・9	アルゼンチン	ドイツ証券投資保護協会 (DSW)は、2001年の経済危機に伴い債務不履行に陥っているアルゼンチン政府の外債について、ドイツを中心とする欧州と日本の個人投資家の借り換え交渉を一括代行する特別目的会社が設立されることを明らかにした。(AH)
5・9	ニカラグア	外務省人事。加賀美充洋日本貿易振興会理事をニカラグア大使に任命。(IL, YU)
5・9	ニカラグア	外務省人事。岩田達明国際労働財団理事をキューバ大使に任命。(IL, YU)
5・13	メキシコ	ワシントン条約で学術研究目的以外の取引が禁止されているメキシコウサギ12匹がメキシコ市のチャプルテペック動物園に寄贈された。メキシコウサギが公開されるのは世界で2番目。(YU)
5・14	ブラジル	ドトールコーヒーは、「ドトールコーヒーショップ」でブラジル産コーヒー豆「有機ブラジル」を限定販売する。(NK)
5・14	ベネズエラ	石川島播磨重工業が、受注したシンガポールの既設発電所の改造工事にあたり、燃料を重油からベネズエラ産の新燃料「オリマルジョン」に転換し、発電費用を引き下げる計画を発表した。(NS)

5・15	アルゼンチン	アルゼンチン・サンルイス州で、NECなど日本企業も参画した電子政府事業がスタートしたことが明らかになった。州内の公共施設などにパソコン端末を設置し、州の住民全員が電子戸籍や教育などのサービスを受けられるようにする計画。(NE)
5・21	パナマ	三菱商事はパナマ運河向けの船舶牽引用電機機関車54両を受注した。受注額は約130億円。(NK)
5・22	チリ	日本水産は、日水グループが全額出資するチリのサケ養殖・加工会社、サルモネス・アンタルティカ(SA)社の加工工場を増設し、スモークサーモンの生産設備を導入する。(NS)
5・28	ブラジル	三井物産がサンパウロ州中部ピラシカバにあるエタノール製造会社コザンと共同でエタノールの現地生産を始めた。対日輸出に向けた合弁会社の設立でも合意した。(NK)
5・29	チリ	2001年の約14億円にのぼる青森県住宅供給公社の巨額横領事件に関連して、横領金を送金されていた犯人のチリ人妻からの最終的な回収金額がわずか277万円であることが明らかになった。(YU)
5・29	ペルー	東京地検は、殺人容疑などで国際手配され、現在日本に滞在中のフジモリ元ペルー大統領から事情聴取を行なった。(YE)
5・30	メキシコ	日産自動車はメキシコ事業の強化を発表した。スポーツ・ユーティリティ・ビークル「ムラーノ」を8月を始めとして、2004年初めまでに新型車を計6車種発売する。(NK)
6・2	エクアドル	日本政府は、エクアドル政府に対し、「アスアイ州地下水開発計画」の実施に資することを目的として、6億5200万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
6・7	ブラジル	東京渋谷区のコインロッカーに覚せい剤を隠し持っていたとして、警視庁渋谷署は覚せい剤取締法違反などの現行犯で、自称ブラジル人を逮捕した。(NK)
6・8	アルゼンチン パラグアイ	大阪でサッカー・キリンカップ、日本対アルゼンチン戦が行われ、1対4でアルゼンチンが快勝した。11日には日本対パラグアイ戦が行われ、こちらは0対0の引き分けだった。(YU, YE)
6・13	ブラジル	富士フィルムフォトニクスが主力のデジタルカメラ増産のため、8月までに日系ブラジル人労働者を現在の2倍の約800人に増やすと発表した。(NS)
6・13	ホンデュラス	日本政府は、ホンデュラス政府に対し、「第三保健地域病院網強化計画」および「第七保健地域地下水開発計画」の実施に資することを目的として、総額8億8300万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)

6・14	ブラジル	東洋エンジニアリングは、ブラジル国営石油会社ペトロブラスから、同国内の天然ガスパイプラインの施設業務を受注したと発表した。受注総額は約400億円。(NS)
6・17	ニカラグア	矢崎総業がニカラグアで工場建設を始めたことが明らかとなった。すでに現地法人をメキシコ企業シグナスと折半出資で設立しており、米州自由貿易地域の発足をにらんで生産体制を強化しようというもの。(AH)
6・20	キューバ	川崎市の夢見ヶ崎動物公園に、キューバの森林地帯に住むげっ歯類のフチア5匹が登場した。(AH)
6・24	ブラジル	味の素がブラジルで飼料用アミノ酸リジン生産を増強することを発表した。(NK)
6・25	ブラジル	日本・ブラジル領事当局間協議が東京で開催された。(IL)
7・1	ボリビア	日本政府は、ボリビア政府に対し、「第三次地方地下水開発計画」の実施に資することを目的として、9億6500万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
7・2	ニカラグア	日本政府は、ニカラグア政府に対し、「マナグア県基礎教育施設整備計画」の実施に資することを目的として、5億4700万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
7・2	パナマ	ニチメンは、全額出資子会社であるパナマの船舶保有会社ラロックス SHIPPINGの清算を完了したと発表した。9月末までにパナマの船舶保有会社オーシャンチェイサーマリタイムも解散する。(NK)
7・4	ベネズエラ	前年11月に西部サンクリストバル市で夫と共に誘拐され(夫は死亡)、連れ去られていた現地在住の邦人女性が、8ヶ月ぶりに解放された。(YU, AH)
7・5	ブラジル	宇山厚元ブラジル大使が死去。享年91歳。(YE, NK)
7・6	中南米 アルゼンチン	東京・上野で世界の若手作家による「野間国際絵本原画コンクール」の入賞作33点の展示会が終了した。グランプリはアルゼンチンのクラウディオ・レニャツイさんの「わたしの家」だった。(YU)
7・8	ブラジル	JFEスチールはブラジルで鉄鉱石世界最大手のCVRDと新たな鉄鉱石鉱山を開発すると発表した。CVRDの持つミナス・ジェライス州の「ファブリカ・ノバ鉱山」の開発に向け、生産設備を持つMSG社に両社が折半出資する。(NS)
7・9	メキシコ	メキシコのNGO「メキシコ家族計画協会」のスタッフが練馬区役所を表敬訪問した。このNGOは練馬区から引き取り手のない放置自転車を贈られている。(YU)
7・14	アルゼンチン	アルゼンチンのフォルクローレ、チャマメの専門家でアコーディオンの名手、ラウル・バルポーサが東京で5年ぶりの公演を行なった。(YE, AE)

7・15	ガイアナ	日本政府は、ガイアナ政府に対し、「ニューアムステルダム病院再建計画」の実施に資することを目的として、総額7億5000万を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
7・15	中南米	慶應大学の医学部の学生たちが、中南米やアフリカの医療事情を学ぶ「国際医学研究会派遣団」として、現地に向け出発した。今回で26回目となる。(YU)
7・19	アルゼンチン	タンゴの巨匠、オスバルド・ブグリエーセの娘であるベバ・ブグリエーセが楽団を率いて東京で来日公演を行なった。(YE)
7・20	ブラジル	<東京の夏>音楽祭の一環として、ブラジルからモニカ・ミレット率いる本格的なカンドンプレのグループが公演を行なった。(AH)
7・21	ブラジル	日本で高い人気を誇るブラジルの歌手ジョイスが来日、東京で公演を行なった。(AE)
7・21	南米	2005年に愛知県で開催される「愛・地球博」(愛知万博)にコロンビア、ペルー、ボリビア、エクアドル、ベネズエラの5ヶ国が共同出展することが決まった。(YU)
7・22	ジャマイカ	外務省人事。桜井寛ハンブルク総領事をジャマイカ大使に任命。(IL, YU)
7・22	ドミニカ共和国	外務省人事。岡本治男セルビア・モンテネグロ公使をドミニカ共和国大使に任命。(IL, YU)
7・22	トリニダッド・トバゴ	外務省人事。加藤重信シドニー総領事をトリニダッド・トバゴ大使に任命。(IL, YU)
7・22	パラグアイ	外務省人事。高橋利弘リオデジャネイロ総領事をパラグアイ大使に任命。(IL, YU)
7・24	チリ	三菱マテリアルの非鉄2社と三菱商事は、豪英BHPビリトン、英豪リオ・テイントと共同で、チリ北部の銅鉱山開発に乗り出すことを発表した。2005年中に生産を開始し、生産量の4分の1を日鉱金属など日本企業が買い取り、銅製品に仕上げ、需要の拡大している中国市場などに振り向ける予定。(NK)
7・25	アルゼンチン	個性的なパフォーマンスで世界的に話題を呼んだアルゼンチン生まれのショウ、デ・ラ・グアルダによる「ビーシャ・ビーシャ」の長期日本公演が東京で始まった。(YE, AH)
7・25	コスタリカ	中部アラフエラ県で、つり橋が落ち、日本人7人が約15メートル下に落ちた。うち3人が病院に運ばれたが、命に別状はなかった。(YE)
7・26	ブラジル	サンパウロ州の州議会議事堂で戦後に日本からブラジルへの移民が始まって50周年を祝う式典が開催された。式典にはアウキミン同州知事や、広島、岩手、高知、宮城各県の知事も出席した。(NK)

7・31	中南米	ニチメン・日商岩井ホールディングが、ニチメンと日商岩井の管理業務子会社や海外子会社など合わせて7社を解散すると発表した。日商岩井チリ、日商岩井コロンビア、日商岩井エクアドルは2003年度末までに精算し、事業は日商岩井ブラジルと日商岩井ベネズエラが引き継ぐ。(NK)
8・1	アルゼンチン	アニバル・パヌッチョ&マグイ・ダニ・カンパニーによるタンゴ・ショウ「ブエノスアイレス・タンゴ」が初来日公演を行った。(YE, AH)
8・1	ブラジル	外務省人事。石田仁宏中南米局参事官をサンパウロ総領事に任命。(IL)
8・1	ブラジル	外務省人事。佐藤悟在アメリカ日本大使館公使を中南米局参事官に任命。(IL)
8・1	メキシコ	外務省人事。福嶋教輝中南米局中南米第一課課長を在メキシコ日本国大使館参事官に任命。(IL)
8・1	中南米	外務省人事。藤村和広を在メキシコ日本大使館参事官を、中南米局中南米第一課課長に任命。(IL)
8・5	中南米	技術コンサル最大手の日本工営が、中南米市場を開拓するための子会社「中南米工営」を設立したと発表した。スペイン語やポルトガル語に堪能な技術者を集め、グループの受注獲得を目指す。(NS)
8・7	ニカラグア	日本政府は、ニカラグア政府に対し、ニカラグア青年スポーツ庁がスポーツ器材を購入するため、2970万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
8・8	エクアドル	日本政府は、エクアドル政府に対し、「基礎サービス強化計画」の実施に資することを目的として、3億5900万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
8・9	コスタリカ	電源開発は、コスタリカ電力会社がサンホセの南約30キロの川に建設を予定している水力発電所の建設に関するコンサルティング業務を始めることを発表した。(NK)
8・11	ブラジル	南西部マトグロソドスル州の警察当局は同州コロンバで、日本人をコカイン所持容疑で逮捕したことを明らかにした。(YE)
8・12	ドミニカ共和国	日本政府は、ドミニカ政府に対し、「旧公営農場地下水開発」の実施に資することを目的として、4億4000万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、そのための書簡が交換された。(IL)
8・12	メキシコ	国際協力銀行は、メキシコ産業金融公社 (NAFIN)との間で、総額2億5000万米ドルを限度とするアンタイトローンの貸付契約に調印した。(IL)
8・12	メキシコ	住友金属鉱山はメキシコ中西部のマサラン市で進めていた銅鉱山開発プロジェクトを打ち切ると発表した。表面の地層で確認されていた銅の含有率が本体鉱床で確認できなかったため。(NS)

8・15	メキシコ	「日本・メキシコ経済連携強化のための協定」第4回首席代表レベル会合が東京で開催された。(IL)
8・16	南米	茂木敏充外務副大臣がチリ、アルゼンチン、ブラジルを訪問した。(-22日)(IL)
8・18	メキシコ	トヨタ自動車は、2004年に稼動するメキシコ工場の生産能力を当初計画より引き上げると発表した。小型トラックを年30000台、荷台も年18万台とした。(AH, NS)
8・20	ブラジル	日本政府は、ブラジル政府に対し、サンパウロ州沿岸部衛生改善計画を支援するため、216億3700万円の円借款を供与とすることとし、このための書簡が交換された。(IL)
8・21	キューバ	日本政府は、キューバ政府に対し、キューバ国立交響楽団が楽器を購入するため、3380万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
8・21	チリ	倉田寛之参議院議長がメキシコ、チリ訪問に出発した。首脳らとの会談を行なう。(AE)
8・21	ベネズエラ	帝国石油がベネズエラでの天然ガス生産を拡大すると発表した。同国の火力発電所での燃料需要が急増していることに対応したもの。(NK)
8・22	メキシコ	「日本・メキシコ経済連携強化のための協定」第5回首席代表レベル会合がメキシコで開催された。(IL)
8・25	ブラジル	ホンダが、ブラジルの子会社で生産している二輪車 XR125Lのヨーロッパでの販売を開始した。すでに米国では前年販売を開始している。(AH)
8・26	ベネズエラ	北部ヤラクイ州サンフェリーペで雑貨店経営の日本人が殺害されているのが発見された。(YE, AE)
8・27	セントビンセント・グレナディーン諸島	日本政府は、セントビンセント・グレナディーン諸島政府に対し、「キングスタウン魚市場改修計画」の実施に資することを目的として、7億5500万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
8・27	ブラジル	JFEスチールがブラジルの鉄鋼大手、ツバロン製鉄への出資を継続する方針を固めた。鉄鋼世界最大手のアルセロール(ルクセンブルク)からツバロン株式の買収提案を受け保有株式の売却を検討してきたが、金額などで合意できなかったもの。(NK)
8・28	エクアドル	日本政府は、エクアドル政府に対し、ピチンチャ州スポーツ連盟がスポーツ器材を購入するため、3780万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)

8・29	コスタリカ	日本政府は、コスタリカ政府に対し、コスタリカ大学がプラネタリウム機材を購入するため、5000万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
8・29	チリ	厚生労働省は、チリ産の冷凍切り身サケから、食品衛生法で定めた基準値を超える抗生物質オキシテトラサイクリンが検出され、検査命令を出した。(YU)
8・30	ブラジル	毎年の恒例の浅草サンバ・カーニバルが東京・浅草で行なわれた。本場ブラジルや国内各地から過去最高の4500人が参サンバ・チームとして加した。(NK)
9・1	チリ	日本政府は、チリに世界最高性能の電波望遠鏡を建設する国際共同計画に資金協力する方針を決めた。(NK)
9・4	ブラジル	厚生労働省は、ブラジル産生鮮コーヒー豆から基準を超える残留農薬ジクロロボスが検出され、食品衛生法に基づく検査命令を出した。(YU)
9・5	メキシコ	1968-69年に、芸術家の岡本太郎がメキシコ市の実業家の依頼を受け現地のアトリエで制作、その後ホテルのロビーに設置されたが開業前に倒産したため行方がわからなくなっていた壁画「明日の神話」が、メキシコ市近郊の町で発見され、岡本太郎記念館館長の岡本敏子さんによって確認された。(AE)
9・9	ベネズエラ	約50年前に移住した日本人女性が自宅から4人組に連れ去られた。22日に特殊部隊の救出作戦で無事救出された。(AH, AE)
9・10	キューバ	キューバの歌手、ハイラ・モンピエとチャランガ・アバネーラが東京で来日公演を行なった。(YE)
9・11	ブラジル	ボサノバを代表する歌手・ギタリストのジョアン・ジルベルトが初来日、東京と横浜で公演を行なった。(YE, AE)
9・12	メキシコ	群馬県伊勢崎市で、アパートの部屋でメキシコ国籍と見られる男性が拳銃で撃たれており、まもなく死亡した。(YE)
9・13	ペルー	ペルーのフジモリ政権下で起きた軍による民間人虐殺事件で、兄を殺されたヒセラ・オルティスさんが市民グループの招きで来日、都内で集会が開かれた。(AE)
9・14	ブラジル	西部ポンタポランに在住の、日本の宗教団体「霊友会」職員が殺されているのが発見された。強盗に遭ったものと思われる。(AE)
9・16	南米	日本ハムのヨーグルト事業子会社、日本ルナが南米原産のヤーコンを使った新製品を発売することを発表。(NS)
9・18	アルゼンチン	長野県の伊那食品工業が、高粘度の増粘剤「タラガム」について、アルゼンチンのインデュノール社と日本国内での販売総代理店契約を結んだ。(NS)

9・22	ブラジル	ブラジル・ポピュラー音楽界の重鎮、ミルトン・ナシメントが12年ぶりに来日公演を東京で行なった。(YE)
9・26	アルゼンチン	外務省人事。永井慎也国際交流基金専務理事をアルゼンチン大使に任命。(IL, YU, AE)
9・26	パナマ	外務省人事。下荒地脩二米国大使をパナマ大使に任命。(IL, YU, AE)
9・27	アルゼンチン	東京の立教大学で「第4回ボルヘス会」が行なわれ、「ボルヘス文学—絵画へのひとつの展開」などの講演が行なわれた。(YE, AE)
9・27	チリ	イサベル・アジェンデ下院議長が来日、小泉首相と会見した。(YU)
9・28	アルゼンチン	日本政府は11月9日に実施されるグアテマラ大統領・国会議員選挙に対し、グアテマラ最高裁判所からの要請に応え、選挙監視要員6名を派遣することを決定した。(IL)
9・30	ブラジル	食品販売のクプアスインターナショナルジャパンが首都圏中心に、ブラジルのアマゾン産果物専門のジュース店を本格展開することを発表した。(NK)
10・1	アルゼンチン	バンドネオン奏者のビクトル・ラバジェンが来日、日本の小松亮太との共演で東京で公演を行なった。(YE)
10・2	中南米	近鉄エクスプレスは中南米の現地法人5社(ブラジル、メキシコ、ベネズエラ、ペルー)を解散し、チリの現地法人のみを存続させることを決めた。(NS)
10・3	グアテマラ	日本政府は、11月9日に実施されるグアテマラ大統領・国会議員等選挙を支援するため、選挙監視を行う米州機構(OAS)に対し、約9万ドルの緊急無償資金協力を行うことを決定した。(IL)
10・3	メキシコ	サポテカ族の伝統工芸アルブリヘスを手がける作家、ハコボ・アンヘレス・オヘダの日本初の個展が開催された。(AE)
10・10	ブラジル	川崎重工業が、ブラジルの航空機メーカー、エンブラエルが開発中の小型旅客機向け主翼を初出荷すると発表した。(NS)
10・11	アルゼンチン	ギターの名手、フアンホ・ドミンガスが四重奏を率いて来日公演を行なった。(YE, AE)
10・13	グアテマラ	日本政府はグアテマラ政府に対し、国立サンカルロス大学西部校が視聴覚機材を購入するため、3880万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
10・13	中南米	Jパワー(電源開発)は中南米地域から二酸化炭素(CO2)の排出権を購入する。環境コンサルティングのMGMインターナショナルが実施する四つの事業が対象となる。(NK)

10・15	メキシコ	ホンダはメキシコで高級車販売店「ACURA(アキュラ)」を2004年後半から展開すると発表した。(NK)
10・16	アルゼンチン	債務不履行に陥ったアルゼンチン債の返済交渉で、債券管理会社である東京三菱銀行は、欧米の投資家グループと連携する方針を明らかにした。連携相手はイタリア銀行協会の関連団体(TFA)と、米国の機関投資家が参加する米国債券保有者協会(ABC)。(NK)
10・16	メキシコ	川口外務大臣とデルベス外務大臣は、小泉首相とフォックス大統領立会いのもと、「日・メキシコ・パートナーシップ・プログラム」に関する枠組み文書に署名を行った。(IL, YU)
10・16	メキシコ	三井物産はメキシコ電力庁(CFE)向けに電力卸事業を開始すると発表した。米国の独立系発電事業者(IPP)最大手のカルパインと共同で事業会社を設立し、発電所の建設、運転、保守管理を手がける。(NK)
10・17	コロンビア	厚生労働省は、コロンビア産の生鮮コーヒー豆から基準値を超える残留農薬ジクロロボスが検出されたことを受けて、食品衛生法に基づく検査命令を出した。(YE)
10・21	ジャマイカ	ポール・アンソニー・ロボサム新駐日ジャマイカ大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
10・23	ブラジル	三井物産が、ブラジルの鉄鉱石会社CVRD社(略称リオドセ)に900車両の鉄道貨車を納入する契約を結び、中国・上海の張貨浜港で船積みを開始した。三井物産は9月3日にリオドセを傘下にもつ持ち株会社パレパールへの出資を完了していた。(NK)
10・24	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴのフアン・ダリエソ楽団(カルロス・ラサリ指揮)が来日公演を行なった。(AH)
10・24	メキシコ	帝国石油は、日本企業として初めてメキシコで天然ガスの開発事業に参入すると発表した。ブラジルのペトロプラスとメキシコのデアバスとの三社共同プロジェクトで、メキシコの北東のクビエルト鉱区に生産設備を建設し、2005年にも出荷したい意向。(NS)
10・25	アルゼンチン	新生銀行が、アルゼンチン債の返済交渉で、アルゼンチン政府が組織した債権者取りまとめグループから脱退する方針を決めた。同国が示している債務再編計画が一方的な内容で、日本の投資家から誤解を招きかねないと判断したため。(NK)
10・28	メキシコ	筆記具メーカーのゼブラは、年末までにメキシコ工場でボールペンの組み立て生産を始め、中芯をのぞく一部の部品生産も開始する。(NS)
10・31	カリブ地域	外務省人事。加藤重信トリニダード・トバゴ大使兼アンティグア・バーブーダ兼セントクリストファー・ネイビス兼セントビンセント兼セントルシア兼ドミニカ国兼バルバドス大使は、グレナダ大使兼務を命ぜられた。(IL, YU)
10・31	ジャマイカ バハマ	外務省人事。桜井寛ジャマイカ大使は、バハマ大使兼務を命ぜられた。(IL)

11・1	チリ	三井金属と三井物産は、英アングロ・アメリカン、加ファルコンブリッジと共同でチリ北部で銅山開発に乗り出すことを発表した。2004年7月をメドに銅精鉱の生産を開始する。(NK)
11・1	ブラジル	ブラジルの日系2世で、日本サッカー界初の外国人選手として、ヤンマーディーゼルの黄金時代を築いたネルソン吉村氏が死去。享年56歳。(YU)
11・3	中南米	秋の叙勲受章者が発表され、中南米在住の邦人12名、中南米系外国人4名が受章した。(YU)
11・4	ブラジル	日本・メキシコ両政府は、自由貿易協定締結に向けた次官級協議を米国ロサンゼルスで開催した。(IL)
11・11	ドミニカ共和国	エミリオ・アルマンド・オリボ・ボンセ・デ・レオン新駐日ドミニカ共和国大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
11・13	ペルー	ジェーシービー(JCB)の海外業務を手がけるジェーシービー・インターナショナル(JCBI)が、ペルーのビザネット・ペルー(VP)とペルーでのJCBカード取り扱い加盟店獲得や売り上げ処理を含む加盟店業務のライセンス契約を締結した。(NS)
11・14	ウルグアイ ホンデュラス	紀宮内親王が、ウルグアイ、ホンデュラスへの公式訪問に出発した。前年予定されていた訪問が米国テロの影響で延期になっていたもの。(YU, YE, AE)
11・17	チリ	日本・チリ政策対話が東京で開催された。(IL)
11・17	ブラジル	トヨタ自動車が、2004年からブラジルで生産している乗用車「カローラ」を中南米20ヶ国に輸出することを発表した。(NK)
11・18	チリ	第1回日本・チリ二国間経済協議が東京で開催された。(IL)
11・19	ペルー	神奈川県警組織犯罪対策本部などは、銀行業の免許なく、計12回に渡り約40万円をペルーに送金し手数料を受けとった疑いで日本人の会社役員とペルー国籍の社員2名を逮捕した。過去8年間に約150億円を送金していたと見られている。(YU)
11・23	メキシコ	日本政府は難航しているメキシコとの自由貿易協定(FTA)交渉の打開に向けて、谷内官房副長官補を現地に派遣した。(NK)
11・24	コロンビア	国軍は、中部クンディナマルカ県サンファンデリオセコ付近で、2001年2月にボゴタ付近で誘拐された矢崎総業現地法人の村松副社長の遺体が発見されたと発表した。12月6日に殺害に関与したとされるコロンビア革命軍のメンバー2名、12月15日に司令官が逮捕された。(YU, YE, AE)

11・24	ボリビア	日本政府は、ボリビア政府に対し、ボリビア国営放送局が番組ソフトを購入するため、2950万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
11・25	ドミニカ共和国	日本政府はドミニカ共和国政府に対し、スポーツ・体育・余暇省が体育器材を購入するため、4840万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
11・25	ブラジル	パイオニアがブラジルにカーオーディオの生産・販売拠点を新設することを発表した。本社・生産拠点はマナウス市、販売拠点はサンパウロ市で、12月から現地生産の予定。(NK, NS)
11・26	ブラジル	三井物産がブラジルのサルバドール市交通公社から電車24両を受注した。受注額は約40億円。(NK)
11・26	メキシコ	帝国石油は、メキシコの陸上鉱区「フロンテリス」の天然ガス事業を落札したと発表した。同社は10月には隣接する鉱区も落札していた。(NS)
12・1	チリ	日本政府は、チリ政府に対し、国立保存修復センターが科学分析・写真機材を購入するため、4880万円を限度とする額の文化無償協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
12・3	メキシコ	メキシコ市のチャプルテペック動物園からジャイアントパンダの「シュアンシュアン」が、雄の「リンリン」との繁殖のため上野動物園に来園した。(YU, AE)
12・9	スリナム	日本政府は、スリナム政府に対し、「母子保健医療機材整備計画」の実施にすることを目的として、3億2700万円を限度とする額の無償資金協力を行うこととし、このための書簡が交換された。(IL)
12・12	メキシコ	日墨自由貿易協定締結に関する次官級協議がメキシコで開催された。(-14日)(IL)
12・13	ペルー	南部の観光都市クスコ近郊で日本人観光客21人と日本人の添乗員1人が乗った観光バスが横転、7人が負傷した。(YE, AE)
12・18	ブラジル	豊田自動織機が、ブラジルに全額出資のフォークリフト販売統括会社「トヨタ インダストリーズ メルコスール」を翌年1月に設立することを発表した。(NK, NS)
12・19	グアテマラ	日本政府が、グアテマラ大統領選挙決選投票に対する選挙監視団の派遣を決定した。(IL)
12・19	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジル・サンパウロ州で、ブラジル最大の商業銀行ブラデスコ銀行との間で、20億円および2000万ドルを限度とする円・ドル両建て輸出クレジットライン設定に係る貸付契約に調印した。(IL)
12・19	メキシコ	石川島播磨重工業は、メキシコで初めてとなる大型液化天然ガス受け入れ基地の建設事業を受注した。(NK)

12・20	メキシコ	メキシコ政府は翌年1月から、日本からの自動車輸入に原則50%の関税をかけることが明らかとなった。日本政府との間で進めていた自由貿易協定(FTA)の年内の締結ができなくなったため。(NK)
12・23	ブラジル	ぺんてるはブラジルに建設していたシャープペンシルと替え芯の工場を翌年1月から稼働することを発表した。(NK)
12・25	ブラジル	日本郵船が、ブラジルで現地法人「NYKロジスティクス・ド・ブラジル」を設立、2004年4月から本格的に物流事業に乗り出すことを明らかにした。(NS)
12・27	ブラジル	NTTドコモが、近くブラジルの携帯電話会社テレスデステ・セルラーから出資を引き上げることを発表した。(NK)
12・27	中南米	ラジオ番組のDJとして活躍、その後ソサヤ・トリオ、マリキータ&ジローなどでの活動でも知られた歌手帆足まり子さんが死去。享年71歳。(YU, AH)

(以上210項目)

以上の記事は日経ニュース・テレコンおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切抜きから選んだものである。日付は原則として現地時間に従っている。各新聞・雑誌の略号は以下の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE

雑誌名
ラテンアメリカ時報 IL

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌—2004年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 27(2)
Issue Date	2006-01-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9558
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－2004年－

月 日	国名	記事
1 . 16	グアテマラ	外務省人事。四之宮平佑ペルー参事官兼リマ総領事をグアテマラ大使に任命。(IL)
1 . 16	ボリビア	外務省人事。白川光徳バルセロナ総領事をボリビア大使に任命。(IL)
1 . 19	ブラジル	文部科学省は国内のブラジル人学校19校に対し、条件付で卒業生が自動的に大学受験資格を得られるよう告示を改定。19校はブラジル本国同様教育課程が11年になっており、日本の大学前に課される12年に比べて1年足りないことから、卒業生が日本語学校などで1年間、準備教育課程を修了することを条件とした。(NK)
1 . 20	中南米	外務省人事。杉山明経済局国際機関第一課世界貿易機関紛争処理室長を中南米局中南米第二課長に任命。(IL)
1 . 22	ブラジル	ブラジル農務省は22日までに、日本、韓国、ベトナムからの鶏肉や鶏肉関連製品の輸入を禁止した。鳥インフルエンザが発生しているのに対応した措置。(AH)
1 . 23	ブラジル	日系ブラジル人ら約120人を雇用する業務請負会社「エヌスタッフ」(東京)が、健康保険、厚生年金保険、雇用保険のいずれにも加入せず、大手自動車部品メーカーの工場などで日系人従業員らを働かせていたことがわかった。社会保険庁によると、これほど多数の従業員を抱えた事業者の未加入は例が無いという。(YU)
1 . 23	メキシコ	日本とメキシコとの自由貿易協定(FTA)締結に向けた次官級協議が22日から東京で行なわれたが、豚肉など農産物5品目の関税引き下げ問題で議論は平行線をたどり、合意には至らなかった。(NK)
1 . 28	ブラジル	ブラジルからの肉類の対日輸出拡大を目指す官民代表団(団長・タダノ農務次官)が東京都内の同国大使館で会見し、「日本向け鶏肉輸出を数10%規模で増やせる」との見通しを示した。(AH)
2 . 2	コロンビア ドミニカ共和国	昨年12月に川崎市で発生した現金輸送車襲撃事件で、神奈川県警はドミニカ共和国人、コロンビア人、日本人ら3人を強盗傷害容疑で逮捕し、横浜地検に送検した。また、16日には別のコロンビア人2人を同容疑で指名手配した。(AH, AE)
2 . 2	ブラジル	日本バレーボール協会の豊田博理事長は、ブラジル出身で日本国籍を取得したVリーグ男子・堺の杉山マルコス選手の日本代表入りが、国際バレーボール連盟から認められたことを明らかにした。(NK)
2 . 3	コロンビア	矢崎総業のコロンビア合弁会社副社長だった村松治夫さん殺害事件に絡み、同国中部クンディナマルカ県の裁判所は殺害を命じたとされる極左ゲリラ司令官に禁固40年の判決を言い渡した。(YU)
2 . 9	ブラジル	国際協力銀行は、ブラジルの政府系商業銀行であるブラジル銀行に円とドル両建ての融資枠を設定する契約を結んだ。枠は円建てが50億円、ドル建てが2000万ドル。ブラジル銀行を通じて地元企業に日本企業からの設備調達資金を供給、ブラジル向けの輸出の拡大を狙う。(NE)
2 . 17	ボリビア	日本政府は、国際協力銀行がボリビア政府に対して保有している円借款の債権約534億円を放棄すると発表した。(YU)

2 . 18	ハイチ	日本政府がハイチにおける「基礎保健医療サービス強化計画」の実施を援助するため2億9300万円を限度とする無償資金協力を行なう取り決めに関する書簡の交換が、二石昌人ハイチ臨時代理大使とジョゼフ・フィリップ・アントニオ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
2 . 20	ペルー	ペルーのマルタ・チャバリ外務次官は東京の大使館で記者会見し、日本に滞在中のフジモリ元大統領の身柄引き渡し問題について、法務省や外務省と3日間に渡って協議したことを明らかにした。(AH)
2 . 24	メキシコ	東京都は上野動物園のジャイアントパンダ「リンリン」(雄、18歳)と、メキシコから2003年末にパートナーとして来日した「シュアンシュアン」(雌、16歳)との間で人工授精を行なったと発表した。(YU)
2 . 29	ブラジル	サッカーのJリーグ1部・浦和のブラジル人FWエメルソン選手が、日本国籍取得に向け代理人を通じ申請書類の準備などを進めていることが明らかになった。(NK)
3 . 5	メキシコ	2月25日に再開した日本とメキシコ両政府の自由貿易協定(FTA)締結交渉は基本合意に至らず、継続協議となった。争点の農産物や自動車といった鉱工業品分野で溝が埋まらなかったため。(NK, NE)
3 . 10	ドミニカ共和国	小泉首相は予算委員会で、1950年代に日本政府の募集でドミニカ共和国へ移住した日本人が劣悪な生活を強いられたとして政府に対し損害賠償を請求している訴訟に関連し、「過去のこととはいえ、外務省として多々反省すべきことがあった」と述べ、外務省の落ち度を認め、移住者に対して救済措置を検討する方針を示した。(AE, NK)
3 . 10	メキシコ	国際協力銀行は、メキシコ石油公社(PEMEX)との間で、総額690億円を限度とするアンタイドローンの貸付契約に調印した。この融資は、民間金融機関との協調融資で、民間金融機関との協調融資部分に対して国際協力銀行が保証を行なう。(IL)
3 . 10	メキシコ	日本とメキシコが進めてきた自由貿易協定(FTA)交渉は、農産品、鉱工業品分野ともに基本合意に達した。12日には日本の川口外相、亀井農相、中川経産相と、メキシコのカナレス経済相、ウサビアガ農相がテレビ電話による閣僚会合を開き、FTAの締結について正式に合意した。日本の農産品を含めた包括的なFTA締結は、メキシコが初めて。(AH, AE, YE)
3 . 10	中南米	国際協力銀行はアンデス開発公社(CAF)との間で、日本とラ米・カリブ地域の貿易拡大、同地域への日本企業の投資促進および経済社会開発のための情報交換を目的とした業務協力協定を提携した。(IL)
3 . 12	ブラジル	ブラジルの大手航空機メーカー、エンブラエルは、新型旅客機「エンブラエル170」を日本で初公開、顧客に見込む航空会社の関係者などを招き東京・羽田と大島を往復するデモ飛行を行なった。(NK)
3 . 17	南米	静岡県は南米系外国人学校を各種学校に認可するため、審査基準を緩和する方針を固めた。新年度の施行を目指しており、現在は「私塾」扱いの外国人学校が各種学校になれば、自治体の助成を受けられるなどのメリットがある。(AH)
3 . 18	ニカラグア	日本政府がニカラグア政府に対して、5億円のノンプロジェクト無償資金協力和、5億1500万円を限度とする食糧増産計画のための無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、加賀美充洋ニカラグア大使とセルヒオ・マリオ・ブランドン・ランサス外務大臣代理との間で行なわれた。(IL)
3 . 18	パラグアイ	日本政府がパラグアイ政府に対して、国立音楽学校における楽器購入のために4970万円の文化無償協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、川口順子外務大臣とレイラ・ラチド外務大臣との間で東京において行なわれた。(IL)

3 . 18	ボリビア	日本政府がボリビア政府に対して5億円のノンプロジェクト無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、白川光徳ボリビア大使とフアン・イグナシオ・シーレス・デル・バジェ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
3 . 18	ホンデュラス	日本政府がホンデュラス政府に対して、5億円のノンプロジェクト無償資金協力と、5億5000万円を限度とする食糧増産援助のための無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、竹元正美ホンデュラス大使とレオニダス・ロサ・パウティスタ外務大臣の間で行なわれた。(IL)
3 . 19	ブラジル	三井物産がブラジルで電車80両を受注したと報じられた。金額は90億円。東芝と韓国最大の電車メーカー、ロテムの2社と組み、リオデジャネイロ州立近郊鉄道公社に納入する。三井物産は昨年11月にもブラジル・サルバドール市で電車24両(約40億円)を受注しており、それに続く連続受注となる。(NK)
3 . 22	ブラジル	Jパワー(電源開発)がブラジルでの水力発電事業で得られる二酸化炭素排出権を購入する契約を、国際環境コンサルティング会社、MGMインターナショナルとの間で結んだと報じられた。京都議定書の排出権取得制度「クリーン開発メカニズム」の利用を前提にした事業。(NS)
3 . 22	メキシコ	中部電力は三井物産と組みメキシコで発電事業を始めると発表した。米国のカルパイン社(カリフォルニア州)と共同で天然ガスを燃料とする火力発電所を建設、2006年6月から電力を卸売りする。事業費は約300億円。銀行融資を除いた約90億円のうち中部電力と三井物産がそれぞれ27.5%を負担する。(NS)
3 . 24	エクアドル	日本政府がエクアドル政府に対して、食糧増産援助のため5億2000万円を限度とする無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、平松弘行エクアドル大使とパトリシオ・スキランダ・ドゥケ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
3 . 25	ブラジル	川口順子外相とブラジルのセルソ・アモリン外相は都内で会談し、難航している世界貿易機関(WTO)の新多角的貿易交渉(新ラウンド)について、2004年半ばまでに農業分野などの枠組み合意を目指すことで意見が一致した。(YU)
3 . 27	ペルー	日本政府がペルー政府に対して、ペルー国立考古・人類・歴史学博物館の活動援助のため4920万円を限度とした文化無償協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、成田右文ペルー大使とルイス・ソラリ・トゥデラ外務次官の間で行なわれた。(IL)
3 . 30	メキシコ	三菱重工業は、メキシコに営業・サービスを手掛ける現地法人「メキシコ三菱重工業」(メキシコ市)を4月下旬に設立すると発表した。資本金は9400万円。日本とメキシコの自由貿易協定(FTA)交渉合意を受け、発電設備、プラント、産業機械などの受注を増やす狙い。(NK)
4 . 2	ブラジル	外務省人事。堀村隆彦アフガニスタン支援調整兼国際テロ担当大使をブラジル大使に任命。(IL)
4 . 5	メキシコ	日本ビクターがメキシコ・ティファナにある製造子会社「JVCインダストリアル・デ・メヒコ」で、薄型テレビの量産を開始したと報じられた。これまでメキシコではブラウン管テレビを生産していたが、今後は米国でもプラズマテレビなど薄型テレビの需要増を見込めることから、より低コストで生産・供給できるメキシコでの生産に踏み切った。(NS)
4 . 5	中南米	外務省人事。坂場三男シカゴ総領事を中南米局長に任命。(IL)
4 . 13	ボリビア	日本政府がボリビア政府に対して、食糧増産援助のため4億円の無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、白川光徳ボリビア大使とフアン・イグナシオ・シーレス・デル・バジェ外務大臣との間で行なわれた。(IL)

4 . 13	メキシコ コロンビア	警視庁はメキシコ人1人とコロンビア人3人を窃盗容疑などで逮捕した。今年2月以降、都内や関東地方で約50件の空き巣を重ね、被害総額は約2500万円に上るとみられる。(NE, YU)
4 . 16	ドミニカ共和国 ホンデュラス	日米欧などの19カ国で構成する主要債権国会議(パリクラブ)は、ホンデュラスの公的な対外債務の削減と、ドミニカ共和国の公的な対外債務の繰り延べで両国政府と合意した。ともに日本に対する債務が対象。(NE)
4 . 22	メキシコ	国際協力銀行が、メキシコ政府と京都議定書の二酸化炭素排出権取得制度「グリーン開発メカニズム(CDM)」事業の実施に関する業務協力協定を締結したと報じられた。メキシコにおける日本企業の排出権取得を促進する狙い。(NS)
4 . 25	中南米	三塚博ラテン・アメリカ協会副会長が死去。(IL)
5 . 11	ホンデュラス	9日から来日していたホンデュラスのリカルド・マドゥーロ大統領は、天皇陛下と皇居・宮殿で会見した。(AH)
5 . 12	メキシコ	メキシコのカナレス経済相は、都内で開催された「第6回日本・中南米経済交流シンポジウム」で講演し、3月に合意した日本との自由貿易協定(FTA)について「8月には締結できる」との見通しを示した。(NK)
5 . 19	アルゼンチン	渡辺俊夫前アルゼンチン大使が死去。60歳。(YU)
5 . 19	ブラジル	日本経団連はブラジルとの自由貿易協定(FTA)を含めた経済連携協定(EPA)の締結に向けて、政府間で早急に検討を始めるべきだとの報告書をまとめた。(NK)
5 . 20	パラグアイ	自民党は選挙対策小委員会で、パラグアイの日本語紙「日系ジャーナル」社長の高倉道男氏を参院比例公認候補に内定した。(YU)
5 . 24	コロンビア	日本政府と国連は、国連難民高等弁務官事務所がコロンビアにおいて実施する「コロンビアにおける国内避難民コミュニティに対する支援」プロジェクトに対し、人間の安全保障基金を通じ総額約110万ドルの支援を行なうことを決定した。(IL)
6 . 8	ウルグアイ	馬淵晴之元ウルグアイ大使が死去。75歳。(YU)
6 . 9	ブラジル アルゼンチン	電通は、ブラジルの広告会社DPZ(サンパウロ)と合弁会社「電通ラテンアメリカ(同)」を設立したと発表した。南米に関連会社を設けるのは初めて。経済成長が見込めるブラジルで日系や現地企業の広告需要を開拓するとともに、アルゼンチンでも事業展開する。(NK)
6 . 14	ブラジル	東洋エンジニアリングは、ブラジル国営石油会社ペトロプラスから同国内の天然ガスパイプラインの敷設業務を受注したと発表した。北東部の沿岸地域約500キロメートルを結ぶ計画で、受注総額は400億円。完成は2006年下期の予定。(NS)
6 . 15	コロンビア	警視庁は神奈川県内の住居に盗みの目的で侵入したとして、コロンビア人4人を窃盗未遂などの容疑で逮捕した。容疑者らはメキシコ発行のパスポートを所持していたが、捜査員が「メキシコ国家を歌ってみろ」と追求したところ、歌えなかったことで偽造であることが判明したという。(NE)
6 . 15	メキシコ	トヨタ自動車系部品メーカー大手のアイシン精機が、メキシコにある日産自動車の工場向けにドアフレームなどを生産する部品工場を新設することが明らかになった。アイシン精機が海外でトヨタグループ向け以外の専用工場を設けるのは初めて。2005年度に生産を始める予定。(NK)
6 . 17	ニカラグア	日本政府がニカラグアに対して、社会福祉事業に対して13億4300万円を限度とする無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、川口順子外務大臣とノルマン・カルデラ・カルデナル外務大臣との間で東京で行なわれた。(IL)

6.20	ブラジル	サンパウロ日本総領事館などによると、サンパウロ近郊のサンベルナルド・ド・カンポで農園経営をしていた日系1世2人が、盗み目的で自宅に押し入った4人組の男に殺害された。(NE, YE)
6.23	ブラジル	リオデジャネイロに駐在する日本企業の男性社員の日本国内の実家に、「ブラジルにいる息子を誘拐した」と電話があり、家族が身代金として振り込んだ150万円をだまし取られる事件があった。男性は実際には誘拐されておらず、ブラジルと日本の警察当局が恐喝事件として捜査している。(AE)
6.25	アルゼンチン	ダニエル・アダン・シュベソ・ポルスキ新駐日アルゼンチン大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
6.27	ブラジル	栃木県真岡市で北関東の日系ブラジル人たちが集まり、「フェスタ・ジュニーナ(6月祭)」が行なわれた。参加者が田舎風の衣装を着て集う祭りで、いまではサンバカーニバルに並ぶ国民的行事として親しまれている。(AH)
6.29	ブラジル	東京・六本木で外国人を含む11人がヘロインなどの薬物が原因でこん睡状態に陥り4人が死亡した事件で、警視庁は飲食店従業員の日系ブラジル人の男を麻薬及び向精神薬取締法違反の疑いで逮捕した。(AE)
7.1	ブラジル	外務省人事。山口英一ストラスブール総領事をブラジル公使に任命。(IL)
7.7	ブラジル	千葉県サッカー協会が秋の国体出場を目指す男子サッカーチームの監督に私立渋谷幕張中学・高校(千葉市)サッカー部監督の宗像マルコス望さん(45)を起用したところ、日本体育協会からブラジル国籍を理由に監督としての国体参加を拒否されていたことが分かった。(YU)
7.8	メキシコ	メキシコ農務省は、日本との間で2億5000万ドル相当の牛肉を輸出する契約を締結したことを明らかにした。メキシコ産牛肉の対日輸出は初めて。(NE)
7.9	キューバ	アテネ五輪野球に出場するキューバ代表候補と社会人のシダックスとの親善試合が神宮球場で行なわれ、キューバが1-3で敗れた。(NK)
7.12	チリ	チリ政府は、パブロ・ネルーダ生誕100年を記念して、ゆかりのある世界の文化人・芸術家100人を選びリカルド・ラゴス大統領賞を授与した。日本からは、立教大学の野谷文昭教授と、詩人の田村さと子氏の2人が選ばれた。(AE)
7.13	キューバ	アテネ五輪に出場する野球日本代表は、東京ドームでの壮行試合でキューバ代表と対戦し、第1戦は1-1で引き分けた。また14日に行なわれた第2戦で日本は5-6で破れた。(NK)
7.22	ブラジル	サンパウロ中心部の東洋人街・リベルダージのアパートで日本国籍を持つ女性の遺体が見つかった。首に絞められた跡があることから、地元警察は殺人事件として調べている。(AE)
7.24	ニカラグア	日本政府とニカラグア政府が、国際協力銀行からニカラグア政府への全ての円借款(約129億円)の免除を取り決めた書簡の交換が加賀美充洋ニカラグア大使とノルマン・カルデラ・カルデナル外務大臣との間で行なわれた。(IL)
7.24	メキシコ	花の万博記念「コスモス国際賞」委員会(有馬朗人委員長)が、今年の受賞者にメキシコ国立自治大学のフーリャ・カラビアス・リジョ教授を選んだと報じられた。生物学者であるカラビアス教授は経済学者らと協力して、メキシコ州で最も貧しいゲレロ州で自然資源を枯渇させずに住民の生活を向上させるプロジェクトを成功させたなどの功績が評価された。(YE)
7.27	アルゼンチン	サッカーのJリーグ1部勢と、来日した各国強豪クラブとの国際親善試合が各地で行なわれ、アルゼンチンのボカ・ジュニアーズと対戦した新潟は2-1で勝利した。(NK)
7.29	中米	国際協力銀行は中米経済統合銀行との間で、総額1億ドル相当を限度とする円・ドル両建てクレジットライン設定に係わる融資契約に調印した。(IL)

7.30	コスタリカ	外務省人事。鷲見良彦経済産業省官房審議官をコスタリカ大使に任命。(IL)
7.30	ホンデュラス	外務省人事。肥塚隆トロント総領事をホンデュラス大使に任命。(IL)
8.1	ブラジル	外務省人事。大竹茂東京三菱銀行スペイン総支配人をブラジル公使に任命。(IL)
8.3	アルゼンチン	イギリスで行なわれたサッカーの国際親善試合で、Jリーグ1部の浦和がアルゼンチンのボカ・ジュニアーズと対戦し2-5で敗れた。(NE)
8.3	パラグアイ	日本政府は、8月1日にアスンシオンで発生した大規模火災により大量の死傷者が発生しているパラグアイに対し、医療器材などの緊急援助物資の供与を行なうことを決定した。(IL)
8.5	ブラジル	国際協力銀行は、三井住友銀行を幹事とする邦銀など9金融機関がブラジル・サンパウロ州政府へ行なう総額286億円の協調融資を保証することを明らかにした。ブラジルの政府や州政府に邦銀主体の協調融資が行なわれるのは初めてで、国際協力銀行の保証を付けることで実現した。(YU)
8.6	パラグアイ	パラグアイの次期駐日大使に日系1世の田岡功さん(60)＝徳島県三野町出身＝が任命されたことが分かった。パラグアイの日本大使館関係者によると、日系1世が大使として日本に赴任するのはおそらく初めてだという。(AH)
8.10	ベネズエラ	日本政府は、ベネズエラにおいて8月15日に行なわれる大統領罷免国民投票に対し、選挙監視要員2人を派遣することを決定した。日本の監視要員は、米州機構投票監視団の一員として、投票の監視などに参加。(IL)
8.12	グアテマラ	日本政府がグアテマラ政府に対し、「ケツアルテナンゴ市給水施設改善計画」実施を支援するために7億1100万円を限度とする無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、四之宮平佑グアテマラ大使とホルヘ・ブリッツ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
8.12	パナマ	松津光威前パナマ大使が死去。65歳。(YE)
8.14	南米	大阪市の第三セクター「大阪埠頭ターミナル」(大阪市)が、南米産バナナの入荷日を偽装し、在庫を1-2週間新しく表示していたことが分かった。荷主の輸入作物販売会社(本社・東京)から頼まれ3年前に始まり、ブロッコリーの産地偽装が報道された7月下旬、両者が話し合ってやめたという。(AE)
8.19	メキシコ	三菱重工業はメキシコ沿岸部トゥクスパン地区に新設される火力発電プラントの建設を受注したと発表した。受注額は300億円前後と見られる。運転開始は2006年9月。(NS)
8.24	チリ	東京電力はチリの食品加工会社アグロスーパー(ランカグア市)から二酸化炭素排出権を購入すると発表した。2012年までの9年間で、アグロ社が削減する約360万トン(CO2換算)のうち200万トン(同)を購入する。東京電力がCO2削減を実施する途上国から排出権を直接購入するのは初めて。(NK)
8.25	ニカラグア	日本政府がニカラグア政府に対し、「農道建設機材整備計画」を支援するため8億1200万円を限度とした無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、加賀美充洋ニカラグア大使とノルマン・カルデラ・カルデナル外務大臣との間で行なわれた。(IL)
8.30	ペルー	海洋研究開発機構と静岡大学が、東太平洋ペルー沖の中央海嶺から数キロメートル離れた海底で世界最大級の溶岩流を発見したと報じられた。南北40キロ、東西15キロ、体積は東京ドームの10万杯分。2-3万年前の海底火山の噴火で流れ出たものと見られる。同機構の有人潜水調査船「しんかい6500」による海底探査や海上からの音波探査などで発見した。(NK)

8 . 31	ブラジル	サッカーのJ1浦和はブラジル人DFネネ(29)を、同国のビトリアから獲得したと発表した。ネネはブラジルの強豪コリンチャンスやグレミオ、ポルトガルとドイツの1部リーグでもプレーした経験があるセンターバック。(NK)
8 . 31	エクアドル	日本政府がエクアドル政府に対して、「チンボラソ州地下水開発計画」を支援するため5億2000万円を限度とした無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、平松弘行エクアドル大使とパトリシオ・スキランダ・ドゥケ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
9 . 3	ボリビア	ホアキン・ラファエル・ダブドゥブ・アルバレス新駐日ボリビア大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
9 . 3	メキシコ	ミゲル・ルイス・カバリーニャス・イスキエルド新駐日メキシコ大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
9 . 6	メキシコ	京都放送(KBS京都、京都市)とメキシコの放送局テレビサが、両社が保有するコンテンツの相互独占配給契約を結んだと報じられた。第一弾としてKBS京都は10月4日から、テレビサが製作したドラマの放送を始める。(NS)
9 . 7	ブラジル	金融庁は、ブラジル第3位の資産規模を持つバンコ・イタウ・エッセ・アー(サンパウロ市)東京支店に銀行業の免許を交付したと発表した。ブラジル国内に本拠を持つ銀行に対する銀行免許の交付は、国営ブラジル銀行などに次いで3件目となる。(YU)
9 . 8	ブラジル	ブラジルの大手邦字紙「サンパウロ新聞」編集主幹の内山勝男氏が死去。94歳。ブラジル日系人社会で戦前から活動する唯一の現役記者だった。(AE)
9 . 8	メキシコ	米国調査会社のJ.D.パワー・アンド・アソシエイツ(カリフォルニア州)がメキシコで実施した自動車顧客満足度調査で、トヨタ自動車が高評価を獲得したほか、第2位にホンダが入るなど、米ゼネラル・モーターズなど米国メーカーを抑え日本勢が上位を占めたことが報じられた。(NS)
9 . 10	ベネズエラ	外務省人事。松井靖夫国際協力機構理事をベネズエラ大使に任命。(IL)
9 . 12	キューバ	台湾で行なわれていた第21回AAA世界野球選手権大会の決勝戦が行なわれ、全日本高校選抜はキューバに0-4で敗れ、第2位に終わった。キューバは2大会連続、11度目の優勝。(NK)
9 . 14	パラグアイ	イサオ・タオカ新駐日パラグアイ大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)
9 . 14	メキシコ	東京ガスは、メキシコの天然ガス火力発電事業に参加すると発表した。プロジェクトの4分の1の権益を米大手電力会社から買収。研究生の派遣などを通じて、発電事業の技術情報を蓄積するとともに、ガス導管の管理やエンジニアリング事業の拡大につなげる狙いがある。東京ガスが海外で発電所を手掛けるのは初めて。(NS)
9 . 15	ブラジル	14日からブラジルを訪問している小泉首相は、サンパウロ州知事主催の昼食会で演説し、日本と中南米諸国との包括的な関係強化を目指す「日・中南米新パートナーシップ構想」を明らかにした。首相は、日・中南米間の経済関係の再活性化、国連改革など国際社会の諸課題での協力を表明するとともに、人的交流の促進を訴えた。(AH, YU)
9 . 16	ブラジル	小泉首相はブラジルのルラ大統領とブラジリアの大統領府で会談した。両首脳は、経済関係の再活性化や国際社会での両国の協力などを盛り込んだ共同声明を出した。その中で、国連改革について安全保障理事会の常任理事国枠が拡大した場合、互いの国を常任理事国候補として支持する考えで一致したことをうたっている。(AH)

9 . 17	メキシコ	16日からメキシコを訪問している小泉首相は、フォックス大統領とメキシコ市の国立宮殿で会談した。両首脳は会談後、両国間の物品、人、サービス、資本の国境を越えた自由な移動を促進する日本・メキシコ経済連携協定(EPA)に署名した。EPAは自由貿易協定(FTA)を核とする包括的な経済連携協定で、投資や政府調達での優遇措置、農業、観光など9分野での協力を盛り込んでいる。(AE)
9 . 21	メキシコ	トヨタ自動車は、建設を進めてきたメキシコ工場が稼働を始めたと発表した。投資額は1億4000万ドル。米ゼネラル・モーターズとの合弁工場生産するピックアップトラックの荷台を生産するほか、12月からはピックアップトラック本体を生産する。従業員数は年末に700人となる。(NE)
9 . 22	メキシコ	京セラは太陽電池のモジュールの組み立てをメキシコで10月以降開始すると発表した。米国への製品出荷を迅速にする。メキシコ・ティファナの同社の工場に、2億円でセルモジュール組み立てラインを新設する。(NS)
9 . 24	コスタリカ	コスタリカへの政府開発援助(ODA)事業で、同国政府機関への下請け委託料として日本の大手コンサルタント会社「パシフィックコンサルタンツインターナショナル」(東京)に支払われた23万ドルのうち、20万ドル前後が政府機関の口座に入金されないまま使途不明になっていることが、国際協力機構(JICA)の調べで明らかになった。JICAは9月15日、政府機関への委託料の支払い経緯に問題があったとして、同社を2ヵ月間の指名停止処分とした。(YU)
9 . 30	コロンビア ペルー	警視庁はコロンビア人とペルー人の男女4人を窃盗容疑などで逮捕したと発表した。4人は、東京、神奈川、千葉、長野の1都3県で約200件(被害総額約1億5000万円)の空き巣を繰り返していたと見られる。(YE)
10 . 8	メキシコ	日本電気硝子は、メキシコ子会社「ニッポン・エレクトリック・グラス・メキシコ」のブラウン管用ガラス加工工場で火災が発生し、約1万平方メートルの工場棟が全焼、生産を休止していると発表した。復旧の見通しや損失額などについて調査中。(NK)
10 . 12	ペルー	住友金属鉱山と住友商事は、ペルーのセロ・ベルデ銅鉱山を保有するセロ・ベルデ社(アレキパ州)に資本参加すると発表した。セロ・ベルデ社への住友グループの出資比率は21-25%で、出資金額は約292億円から367億円になる見通し。(NS)
10 . 13	ベネズエラ	石油公団は出資先であるベネズエラ石油(東京)と帝石コンゴ石油(同)の株式を入札方式で民間に売却すると発表した。2005年春の公団廃止に伴う資産処分の一環。(NS)
10 . 14	ブラジル	ブラジル在住の日本人被爆者3人が、時効を理由に被爆者援護法に基づく健康管理手当を支払わないのは不当として、広島県に計約290万円の支払いを求めた訴訟で、広島地裁は原告の訴えを棄却した。(AE)
10 . 15	ブラジル	JFEスチールは鉄鋼世界最大手のアルセロール(ルクセンブルク)との間で、JFEが持つブラジルの製鉄会社、ツパロンの株式を売却するオプション契約を結んだと発表した。2005年5月の株主間協定終了を待って売る方向で検討しており、売却額は100億円前後とみられる。(NK)
10 . 28	ブラジル	国際協力銀行は、世界最大のブラジルの鉄鉱石供給会社リオドセと業務協力協定を結んだ。(IL)
10 . 30	ハイチ	日本政府がハイチ政府に対して、「予防接種強化計画」を支援するため総額2億4100万円の無償資金協力を国連児童基金計画(UNICEF)を通じて行なうことを取り決めた書簡の交換が、二石昌人ハイチ臨時大使とフランソワーズ・グルロス＝アッケルマン在ハイチ・UNICEF代表との間で行なわれた。(IL)

10 . 30	ベネズエラ	世界ボクシング協会(WBA)ミニマム級王座統一戦12回戦が東京・国技館であり、同級王者の新井田豊選手が、同級暫定王者のファン・ランダエダ選手(ベネズエラ)を2-1の判定で破り、初防衛に成功した。(AH)
10 . 31	ウルグアイ	第17回東京国際映画祭で、コンペティション部門の最高賞「東京グランプリ」に、ウルグアイの「ウィスキー」が選ばれた。また、主演のミレージャ・パスクアルさんが最優秀主演女優賞に選ばれた。(AH)
11 . 10	メキシコ	日本とメキシコが自由貿易協定(FTA)を柱とする日本・メキシコ経済連携協定(EPA)を締結することが、参院本会議で可決された。(YU)
11 . 12	ブラジル	ブラジル・リオデジャネイロのコパカバーナ海岸で、日本人観光客の女性が強盗に襲われ腹部をナイフで刺され入院した。(YU)
11 . 12	ペルー	警視庁は、ペルー人の男女3人を窃盗などの容疑で逮捕したと発表した。警視庁は3人が昨年2月から都内、神奈川県など1都4県で約150件の空き巣などを繰り返し、約1億円の被害があると見て調べている。(AH)
11 . 15	メキシコ	メキシコ市郊外にあるティオティワカン遺跡の「月のピラミッド」を調査したメキシコ国立人類学歴史研究所と愛知県立大学の杉山三郎教授らの発掘チームが記者会見し、ピラミッド中腹の墳墓から中米地域では出土例が無い精巧なひすいの人形が、いけにえの人骨とともに見つかったと発表した。(AH)
11 . 17	チリ	チリ訪問中の中川経済産業相は、チリのロドリゲス経済エネルギー相とサンティアゴ市内で会談し、両国の自由貿易協定(FTA)交渉開始を検討することで合意した。また、町村外相はチリのウォーケル外相とサンティアゴ市内で会談し、FTA交渉開始に向けて共同研究会を近く立ち上げることで合意した。(AH, NK)
11 . 22	チリ	チリ訪問中の小泉首相はラゴス大統領と大統領府で会談し、両国間で経済連携協定(EPA)と自由貿易協定(FTA)を締結する可能性を検討するため、産官学による共同研究会を発足させることで合意した。(AH)
11 . 23	グアテマラ	日本政府がグアテマラ政府に対して、「地方地下水開発計画」の実施を支援するため5億3700万円を限度とした無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、四之宮平佑グアテマラ大使とホルヘ・ブリッツ・アブララチ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
11 . 26	ガイアナ スリナム	外務省人事。松井靖夫ベネズエラ大使にガイアナ兼スリナム大使兼任を命じた。(IL)
11 . 26	ブラジル	警視庁は、女性を酔わせて性的暴行をしようとしたとして、Jリーグ1部・ジェフユナイテッド市原のブラジル人FW、サンドロ・カルドゾ・ドスサントス容疑者を準性的暴行未遂容疑で逮捕した。(NE)
11 . 30	エクアドル	日本政府がエクアドル政府に対して、「職業訓練改善計画」の実施を支援するため8億900万円を限度とした無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、平松弘行エクアドル大使とパトリシオ・スキランダ・ドゥケ外務大臣との間で行なわれた。(IL)
11 . 30	ニカラグア	日本政府がニカラグア政府に対して、「看護教育機材整備計画」の実施を支援するため2億4200万円を限度とした無償資金協力を行なうことを取り決めた書簡の交換が、加賀美充洋ニカラグア大使とノルマン・カルデラ・カルデナル外務大臣との間で行なわれた。(IL)
12 . 1	チリ	ダニエル・カバージェ新駐日チリ大使が、天皇陛下に信任状を捧呈した。(IL)

12. 2	メキシコ	環境機器開発のマリン技研(長崎市)が、世界文化遺産に登録されているメキシコ市南部の水郷、ソチミルコの運河浄化向けに、同社が開発した水域浄化装置を供給する契約を結んだと報じられた。ソチミルコにある200本以上の運河は近年水質汚染がひどく、世界遺産を指定するユネスコから水質改善を求められていた。(NS)
12. 6	メキシコ	マツダはメキシコ市に自動車販売会社「マツダモーターメキシコ」を設立した。2005年4月に自由貿易協定(FTA)が発行することで関税が段階的に引き下げられるなど、市場参入する条件が整ったと判断したため、2005年半ばをめどに乗用車の販売を開始するという。(NK)
12. 9	ベネズエラ	帝国石油は、石油公団が保有する石油開発会社3社の株式を24日付で取得すると発表した。帝石は3社合計で59億6000万円で落札した。対象はベネズエラで操業するサンピ・グエレ石油(東京)、ベネズエラ石油(同)と、コンゴに鉱区を持つ帝石コンゴ石油(同)。(NS)
12. 9	メキシコ	東京・上野動物園は、ジャイアントパンダのリンリン(雄、19歳)と7月に人工授精したシュアンシュアン(雌、17歳)について、出産の可能性はないと発表した。シュアンシュアンは繁殖を目的にメキシコ・チャプルテペック動物園から来日。来年春ごろ人工授精に再挑戦するという。(NE)
12. 12	コロンビア 南米	サッカーのクラブチーム世界一を決める第25回トヨタカップが横浜国際競技場で開かれ、欧州王者のポルト(ポルトガル)が南米王者のオンセ・カルダス(コロンビア)を0-0からのPK戦の末に制し、17年ぶり2度目の優勝を果たした。トヨタカップは今回が最後で、来年からは大陸王者6チームが参加する世界クラブ選手権が日本で開催される。(AE)
12. 14	ブラジル	ブラジルの政府系商業銀行であるブラジル銀行が、三井住友銀行と提携する日本国内の現金自動預け払い機(ATM)計6500台で、ブラジル銀行口座からの現金引き落としや海外送金サービスを来年初めから開始する協定を結んだことを明らかにした。(NE)
12. 14	ブラジル	昭和電工は、アルミニウム事業の再建策の一環として、ブラジルのアルミ精錬合弁会社に参加している日本アマゾンアルミニウム(東京)の保有株式を売却する方針を明らかにした。(NK)
12. 14	メキシコ	ニフコは2005年1月にメキシコで自動車用樹脂部品などの組立工場を設立すると発表した。米国オハイオ州のキャナルポイント工場生産する部品を人件費の安いメキシコ工場で組み立てることで、コストを削減する狙い。(NS)
12. 15	中南米	前田正裕ラテン・アメリカ協会前理事長が死去。(IL)
12. 16	ブラジル	不法滞在者らの海外送金を違法に代行する「地下銀行」から持ち込まれる取引を受け付けるなど多数の法令違反をしていたとして、金融庁は中南米最大の銀行でブラジル国有のブラジル銀行在日支店に対し、外国為替送金を伴う法人顧客との新規取引業務を24日から無期限停止させるなどの行政処分を出した。(AH)
12. 16	ブラジル	ブリヂストンは、ブラジルに2か所目となるタイヤ工場を設けると発表した。乗用車用タイヤと小型トラック用タイヤを2006年下期から生産する。投資額は1億6000万ドル。(NS)
12. 16	ペルー	静岡県私学審議会は、これまで「私塾」扱いだった浜松市のペルー人学校「ムンド・デ・アレグリア」を来春から各種学校とすることを承認した。(AH)
12. 18	ブラジル	第2次世界大戦後約30年間フィリピンのジャングルに潜伏し、日本に帰国後ブラジルに移住した元陸軍少尉、小野田寛郎さん(82)に、ブラジル空軍が「サントス・ドゥモン勲章」を授与したことが分かった。民間人に与えられる勲章の最高位で、日本人が受章するのは初めて。ブラジル空軍は、小野田さんの軍人としての経歴やブラジルへの貢献をたたえて授与した。(NE)

12. 20	ブラジル	UFJ銀行は、ブラジル民間最大手のブラデスコ銀行(サンパウロ市)との業務提携により、支店機能はあるが実際の拠点は持たないバーチャル店舗、UFJブラデスコ支店(東京・新宿)を開設した。同時に、東海地区の10店舗にテレビ窓口を設置し、海外送金などを含めポルトガル語によるサービスを始めた。(NK)
12. 21	コスタリカ	国際協力機構(JICA)は中米コスタリカでの日本政府の途上国援助(ODA)事業を請け負ったパシフィックコンサルタンツインターナショナル社(東京)に不正行為があり、約17万3000ドルの使途不明金が出ていると発表した。JICAは同社に不明金全額の返還を求め、6ヵ月間の指名停止の追加処分を決めた。また、この事件に関連し、コスタリカ国土地理院の長官と担当者が罷免されていることも明らかとなった。(AH, YE)
12. 22	メキシコ	大阪市の第3セクター「大阪港埠頭ターミナル」をめぐる野菜産地偽装事件で、不正競争防止法違反などの罪に問われた、同社の荷主の青果輸入販売会社ローヤル(京都市)の社員2人に対する初公判が大阪地裁で開かれた。両被告は、トンガ産カボチャ約15.1トンにメキシコ産に偽ったとされる起訴事実について全面的に認めた。(AE)
12. 24	メキシコ	みずほコーポレート銀行が国際協力銀行などと連携し、メキシコでの電力発電事業に対して総額約2億ドルの協調融資を実施すると報じられた。事業は米電力大手のカルパイン、三井物産、中部電力が共同で進める。(NK)
12. 28	中南米	日本で直接雇用された外国人のうち、中国、韓国の「東アジア」出身者が、日系人が大半を占める「中南米」を初めて上回り、地域別で最も多くなったことが、厚生労働省の「外国人雇用状況報告」で分かった。(AH)

以上の記事は日経ニュース・テレコンおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切抜きから選んだものである。日付は原則として現地時間に従っている。各新聞・雑誌の略語は以下のとおりである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE
雑誌名		
ラテンアメリカ時報	IL	